

## 第3節 石器・石製品

石器・石製品に関しては以下の器種を確認した。以下に、器種名・【出土総点数】・該当する登録番号の順に掲載する。

打製石器に関して、大型および小型という分類を使用している。大型は、打製石斧・礫器・刃器に対応する打製石器群で、それに対応する剥片石核類も含まれる。小型は石鏃などに対応する打製石器群で、それに対応する剥片石核類も含まれる。本遺跡から出土する打製石器は、後述するように安山岩主体となっており、大型を主体として一部小型にも使用されている。従って、石鏃に対応する石器群のみ小型と称して、安山岩主体とする石器群に関しては、大型・小型の区別なく提示することとする。

なお、安山岩の石材分類（A～F）は、『西地・東地遺跡報告書』掲載の堀木分類に準じるものである（堀木 2019）。

### 1 石器

#### (1) 石鏃【総計 37】

【無茎鏃 27】 30・62～64・86・88・90・94・95・119～121・150～152・219・253・254・276～282

【有茎鏃 6】 65・149・255・283～285

【基部形態不明 4】

無茎鏃のうち、下呂石あるいはその可能性のあるものは15点（計11.6g）、黒曜石8点（計4.2g）、溶結凝灰岩2点（0.9g）、サヌカイト1点（0.7g）、メノウ1点（0.1g）である。

一方、有茎鏃では、下呂石1点（1.1g）、溶結凝灰岩1点（2.4g）のほか、安山岩B3点（6.7g）、安山岩D1点（3.7g）と、使用石材の様相が異なる。有茎鏃では全長4cmを越える長身鏃があることなど、弥生時代に属する資料が含まれることも一因であろう。

#### (2) 石錐【21】

31・66・96・122・286～294

使用石材は、下呂石6点（計12.3g）、黒曜石3点（計5.5g）、サヌカイト1点（1.3g）、メノウ1点（15.7g）、溶結凝灰岩1点（2.2g）、安山岩B8点（308.5g）、安山岩D1点（8.2g）である。

#### (3) 石匙【6】

38・97・222・256・295・296

石匙の形態はいわゆる横長が主体である。使用石材は、安山岩B5点（175.5g）、安山岩D1点（32.8g）である。

#### (4) 異形石器【2】

91・92

使用石材はいずれも泥質凝灰岩で、計4.3gである。

#### (5) 使用痕のある剥片（小型）【8】

87・321・322～324・325

使用石材は、下呂石2点（17.3g）、黒曜石2点（4.9g）、溶結凝灰岩3点（40.3g）、泥質凝灰岩1点（18.7g）、チャート1点（3.1g）である。下呂石のうち1点は角礫である。

#### (6) 二次加工のある剥片（小型）【19】

67～69・326～334

石鏃（特に無茎鏃）などに対応すると考えられる剥片である。下呂石9点（計17.0g）、黒曜石3点（3.8g）、溶結凝灰岩4点（計8.8g）、凝灰質泥岩1点（6.1g）、サヌカイト1点（3.5g）、安山岩B2点（5.7g）である。

#### (7) 剥片（小型）【514】

1～6・8・17～20・29・70・103・125・158～173・259・335～367

石鏃などに対応する剥片と考えられる。下呂石225点（計487.6g）、黒曜石105点（計123.5g）、凝灰岩9点（計56.7g）、凝灰質泥岩2点（計10.7g）、泥岩9点（25.4g）、泥質凝灰岩14点（222.9g）、砂質凝灰岩6点（52.7g）、頁岩1点（0.4g）、チャート1点（4.1g）、メノウ1点（4.1g）、溶結凝灰岩110点（1140.5g）、溶結凝灰岩もしくはチャートと思われるもの6点（計11.6g）、サヌカイト14点（計20.5g）、安山岩B4点（計55.6g）安山岩D7点（52.0g）、安山岩Dもしくは下呂石1点（0.2g）、その他安山岩1点（0.3g）、松脂岩2点（14.4g）、片麻岩1点（8.8g）、である。

上記のなかで下呂石は、角礫由来と円礫由来の剥片がある。角礫は9点（計19.8g）に対して、円礫は2点（19.3g）である。

#### (8) 石核（小型）【56】

9・32・40・78・99・174・368～377

石材は、下呂石12点（計74.5g）、黒曜石24点（計85.6g）、溶結凝灰岩15点（計993.4g）、凝灰岩1点（65.7g）、泥質凝灰岩3点（計300.2g）、泥岩1点（1.4g）で、下呂石8点の中には、角礫由来の資料が2点（計9.2g）が含まれている。

#### (9) 微細剥片（小型）

径1cm未満を主体とする剥片である。今回の調査では、黒曜石のみが確認された。

#### (10) 楔形石器【3】

378

対向する二辺に階段状剥離が認められるものである。チャート1点（17.3g）、泥質凝灰岩1点（38.1g）、安山岩B1点（5.3g）である。

#### (11) スクレイパー【83】

7・39・81・98・101・102・123・124・153～157・224・229・240・245・257・258・297

～ 320

使用石材は、黒曜石 1 点 (2.5g)、下呂石 2 点 (計 36.1g)、サヌカイト 1 (51.9g)、安山岩 B 46 点 (計 2103.9g)、安山岩 D 8 点 (472.2g)、安山岩 E 2 点 (計 170.0g)、その他安山岩 1 点 (22.6g)、泥質凝灰岩 10 点 (計 373.3g)、砂質凝灰岩 1 点 (23.1g)、溶結凝灰岩 7 点 (計 126.0g)、凝灰質泥岩 2 点 (38.6g)、片麻岩 1 点 (53.3g)、である。このうち下呂石には角礫素材が 1 点 (34.0g) 含まれている。

#### (12) 打製石斧【134】

10・16・21・41・42・104・105・126・148・175～188・22・249・251・260～263・379～411

打製石斧は、短冊形をしたものが圧倒的多数である。その中でも、21 は長さ 10cm を越える撥形を呈するもので、欠損などはない。風化しやすい石材であるため、器面の状況では断言できないものの、使用の程度は低かったのではないかと推察される。15A 区集石の中から出土したものであり、何か象徴的な意味合いを有していたものの可能性もある。

使用石材は、安山岩 B 67 点 (計 4911.7g)、安山岩 D 30 点 (計 2733.3g)、安山岩 E 10 点 (計 1176.5g)、その他安山岩 2 点 (計 176.4g) 泥質凝灰岩 7 点 (計 488.6g)、砂質凝灰岩 5 点 (415.6g)、凝灰岩 1 点 (39.5g)、凝灰質泥岩 1 点 (30.9g)、玄武岩 2 点 (計 223.4g)、泥岩 1 点 (21.9g)、溶結凝灰岩 1 点 (51.9g)、片麻岩 1 点 (141.2g)、黒色片岩 1 点 (11.5g)、緑色片岩 3 点 (400.1g)、結晶片岩 2 点 (計 58.0g) である。

#### (13) 礫器【215】

35・50・51・77・110～112・127・223・225・235・496～504

使用石材は、安山岩 A 1 点 (156.8g)、安山岩 B 89 点 (32648.9g)、安山岩 D 75 点 (42107.6g)、安山岩 E 11 点 (4917.9g)、安山岩 F 1 点 (144.0g)、その他安山岩 8 点 (計 4709.3g)、凝灰岩 4 点 (2072.6g)、凝灰質砂岩 7 点 (計 7298.1g)、泥質凝灰岩 17 点 (3693.4g)、泥岩 1 点 (87.9g)、片麻岩 1 点 (199.5g)、である。

#### (14) 刃器【126】

22・23・43～48・61・72・74・79・93・106～108・128・129・189～193・226・230・234・241・242・246・264・265・412～445

使用石材は、安山岩 B 69 点 (計 1311.4g)、安山岩 D 31 点 (計 3910.4g)、安山岩 E 5 点 (計 659.3g)、その他安山岩 1 点 (59.1g)、凝灰質砂岩 3 点 (計 562.1g)、泥質凝灰岩 7 点 (計 1021.2g)、砂質凝灰岩 6 点 (計 598.2g)、溶結凝灰岩 1 点 (78.5g)、緑色片岩 1 点 (51.3g)、片麻岩 1 点 (274.0g)、である。

#### (15) 使用痕のある剥片【36】

24・33・82・89・194～197・231・233・266・267・447～461

刃器よりもやや不定形のものを集めたが、機能としては刃器と同一である。

使用石材は、安山岩 B 24 点 (計 1086.3g)、安山岩 D 4 点 (計 220.8g)、安山岩 E 1 点 (70.7g)、その他安山岩 1 点 (36.6g)、泥質凝灰岩 5 点 (計 164.4g)、砂質凝灰岩 1 点 (55.9g)、である。

#### (16) その他剥片石器【15】

446・479～482

使用石材は、安山岩 B 10 点 (計 1081.6g)、安山岩 D 4 点 (計 250.8g)、その他安山岩 1 点 (37.5g) である。

#### (17) 二次加工のある剥片 (打製石斧などに対応)【113】

11～13・28・73・130・131・198～208・247・252・268～271・462～478

打製石斧・刃器などの製作途上に対応する器種である。石材は、安山岩 B 79 点 (計 7487.2g)、安山岩 D 12 点 (計 1130.0g)、安山岩 E 1 点 (146.9g)、その他安山岩 1 (68.6g)、泥質凝灰岩 13 点 (計 847.7g)、片麻岩 1 点 (5.8g)、結晶片岩 2 点 (計 40.3g)、砂質凝灰岩 1 点 (18.1g)、である。

#### (18) 剥片【8133】

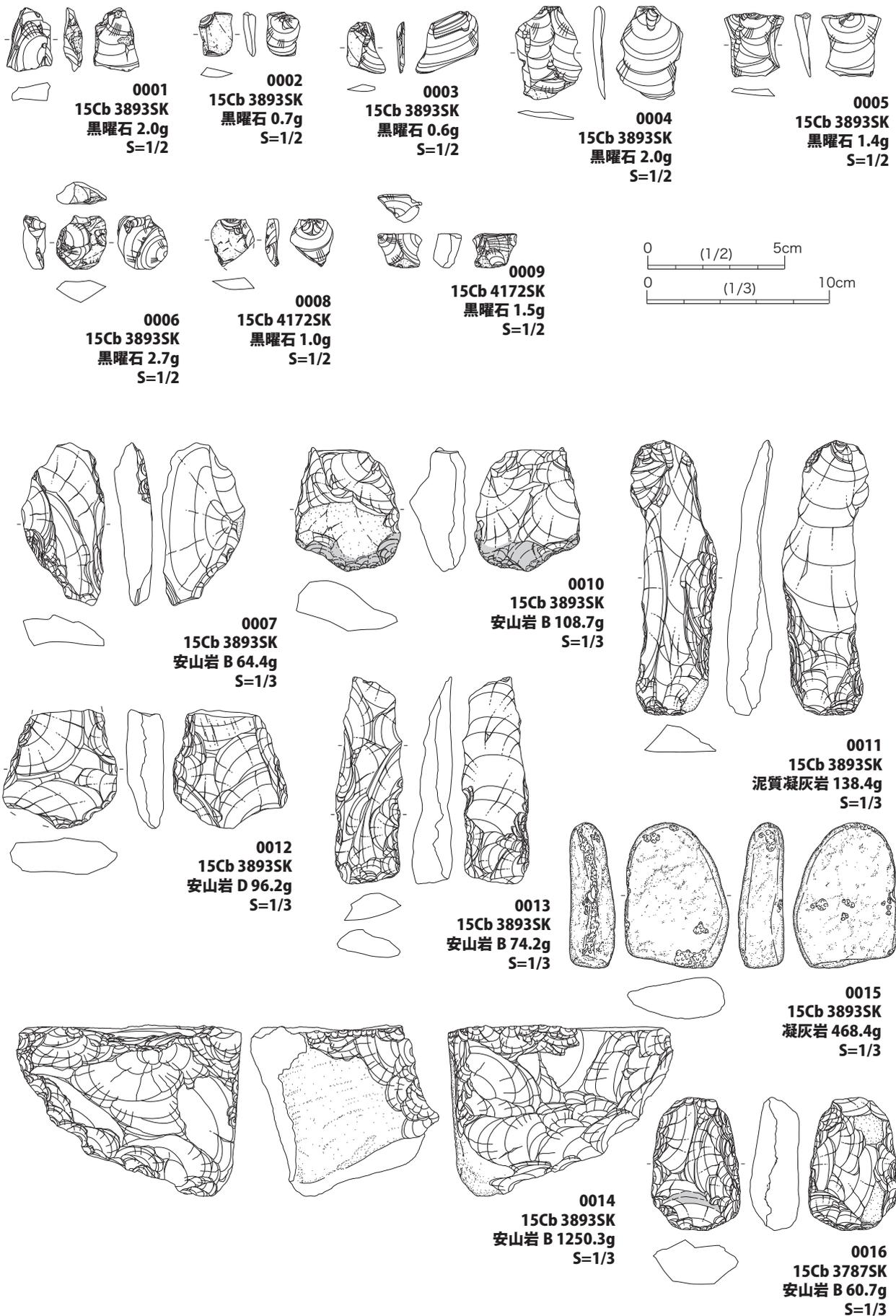
25・26・34・49・83・109・209～213・220・221・227・232・250・272・483～495・555

石材は、安山岩 A 14 点 (計 479.5g)、安山岩 B 3910 点 (計 113300.1g)、安山岩 C 1 点 (10.6g)、安山岩 D 1695 点 (計 70999.2g)、安山岩 E 354 点 (計 20688.6g)、安山岩 F 4 点 (計 51.5g)、その他安山岩 155 (6496.6g)、泥質凝灰岩 953 点 (17463.2g)、砂質凝灰岩 650 点 (10747.5g)、凝灰岩 180 点 (計 2385.8g)、凝灰質砂岩 53 点 (計 1178.0g)、凝灰質泥岩 60 点 (計 1073.4g)、泥岩 10 点 (144.8g)、玄武岩 16 点 (計 491.5g)、珪質岩 1 (1.6g)、塩基性岩 3 点 (計 62.9g)、結晶片岩 9 点 (計 165.8g)、黒色片岩 1 点 (8.1g)、緑色片岩 13 点 (111.2) g、緑色岩 1 点 (82.8g)、流紋岩 1 点 (12.9g)、花こう岩 2 点 (計 111.1g)、片麻岩 47 点 (計 765.1g) である。

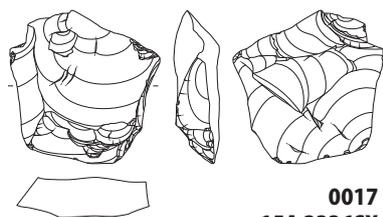
#### (19) 石核【260】

14・214・215・273・505～510・1072

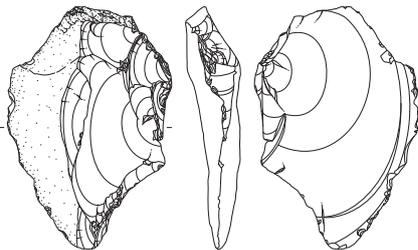
一部、礫器に含まれている可能性がある。石材は、安山岩 A 1 点 (1216.5g)、安山岩 B 149 点 (計 33409.3g)、安山岩 D 56 点 (計 31836.5g)、安山岩 E 12 点 (計 3411.8g)、その他安山岩 6 点 (計 21800.9g)、凝灰岩 3 点 (計 203.0g)、凝灰質砂岩 2 点 (計 2746.6g)、凝灰質泥岩 1 点 (346.3g)、砂



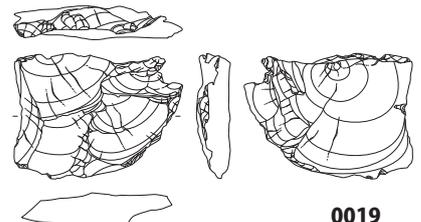
第 247 圖 3893SI 出土石器



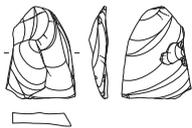
0017  
15A 2336SX  
下呂石 26.7g  
S=1/2



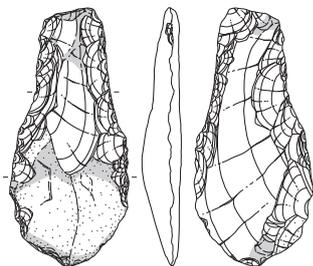
0018  
15A 2336SX  
泥質凝灰岩 33.7g  
S=1/2



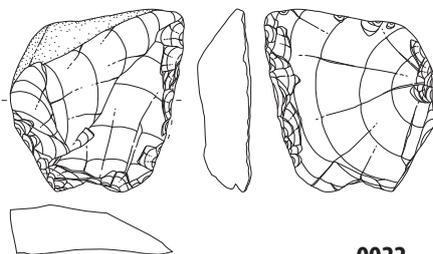
0019  
15A 2336SX  
溶結凝灰岩 17.3g  
S=1/2



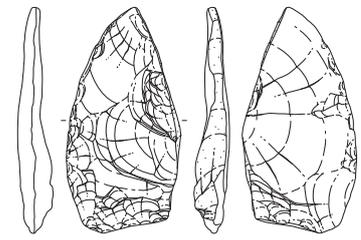
0020  
15A 2336SX  
下呂石 2.4g  
S=1/4



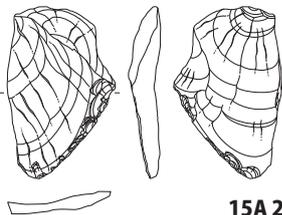
0021  
15A 2336SX  
安山岩 B 67.5g  
S=1/3



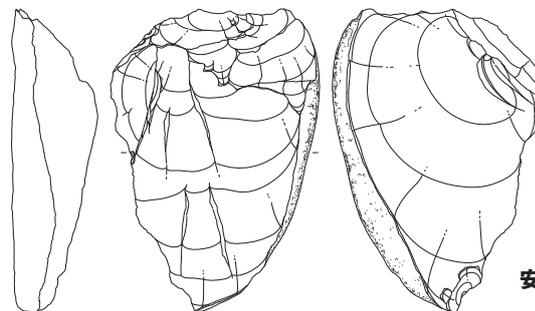
0022  
15A 2336SX  
安山岩 B 100.9g  
S=1/3



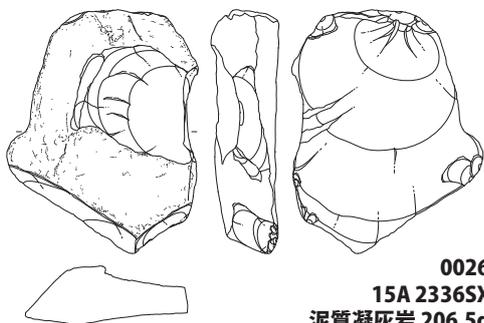
0023  
15A 2336SX  
安山岩 E 49.2g  
S=1/3



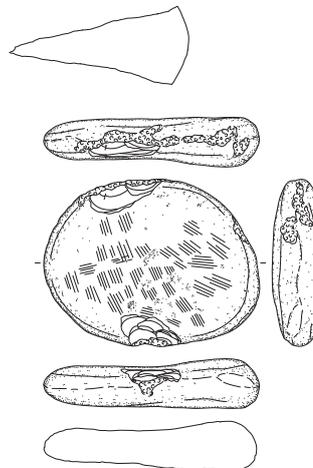
0024  
15A 2336SX  
安山岩 B 21.6g  
S=1/3



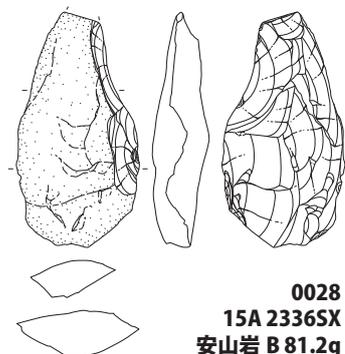
0025  
15A 2336SX  
安山岩 B 262.8g  
S=1/3



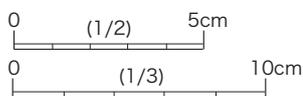
0026  
15A 2336SX  
泥質凝灰岩 206.5g  
S=1/3



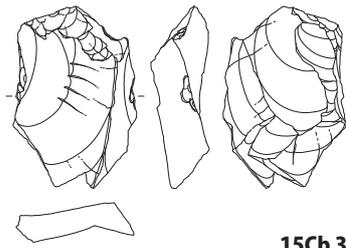
0027  
15A 2336SX  
安山岩 E 119.9g  
S=1/3



0028  
15A 2336SX  
安山岩 B 81.2g  
S=1/3



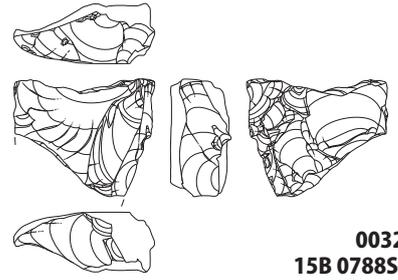
第 248 圖 2336SXI 出土石器



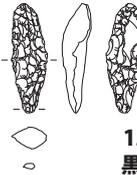
0029  
15Cb 3303SL  
溶結凝灰岩 16.6g  
S=1/2



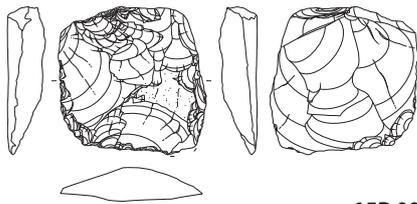
0030  
15B 0788SI  
黑曜石 0.2g  
S=1/2



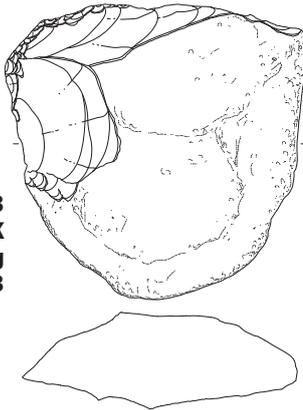
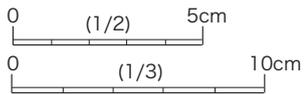
0032  
15B 0788SI  
溶結凝灰岩 15.8g  
S=1/2



0031  
15B 0788SI  
黑曜石 1.4g  
S=1/2



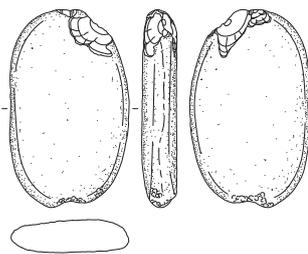
0033  
15B 0906SK  
安山岩 B 55.8g  
S=1/3



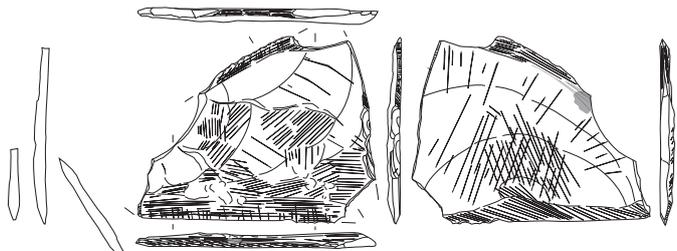
0034  
15B 0788SI  
泥質凝灰岩 630.7g  
S=1/3



0035  
15B 0788SI  
安山岩 D 2350.5g  
S=1/3

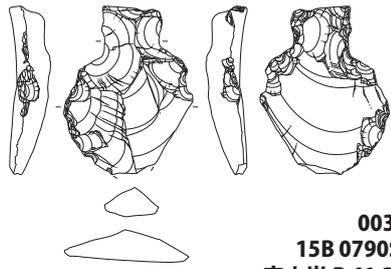


0036  
15B 0906SK  
片麻岩 84.9g  
S=1/3

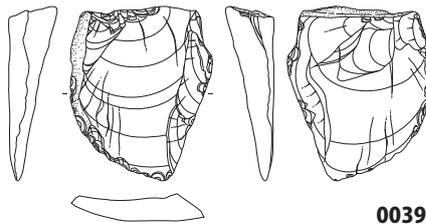


0037  
15B 0788SK  
砂質凝灰岩 D 41.4g  
S=1/3

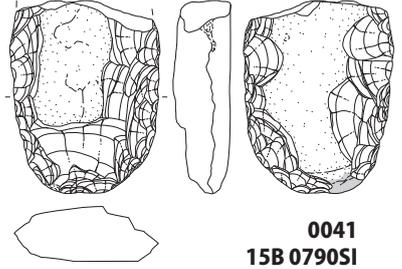
第 249 圖 788SI 他出土石器



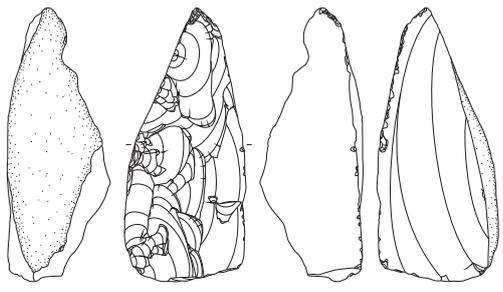
0038  
15B 0790SI  
安山岩 B 41.2g  
S=1/3



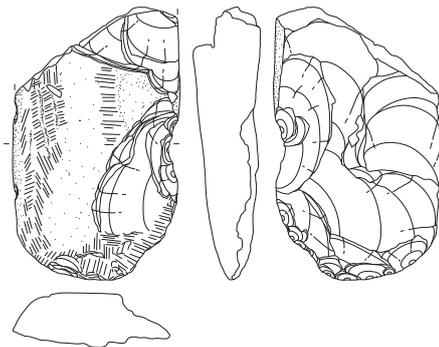
0039  
15B 0790SI  
安山岩 D 49.0g  
S=1/3



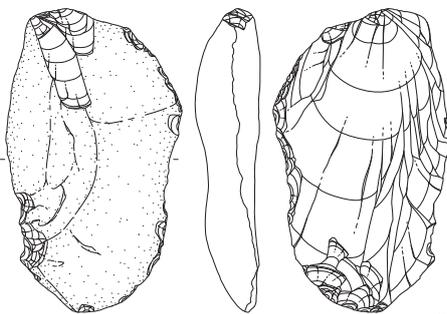
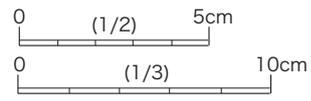
0041  
15B 0790SI  
片麻岩 141.2g  
S=1/3



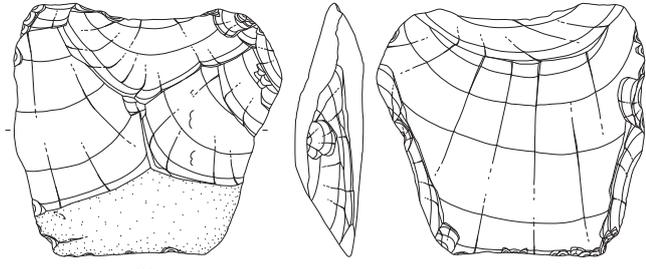
0040  
15B 0790SI  
溶結凝灰岩 74.7g  
S=1/3



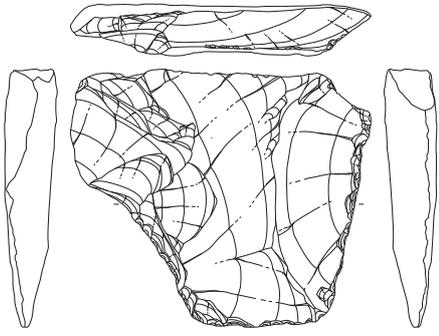
0042  
15B 0790SI  
安山岩 D 210.2g  
S=1/3



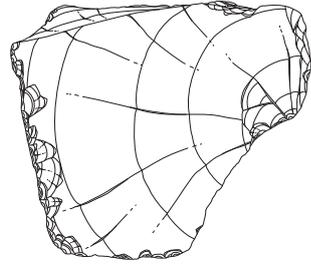
0043  
15B 0790SI  
安山岩 B 205.2g  
S=1/3



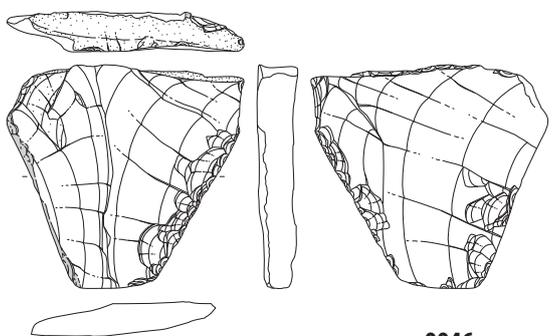
0044  
15B 0790SI  
安山岩 D 319.6g  
S=1/3



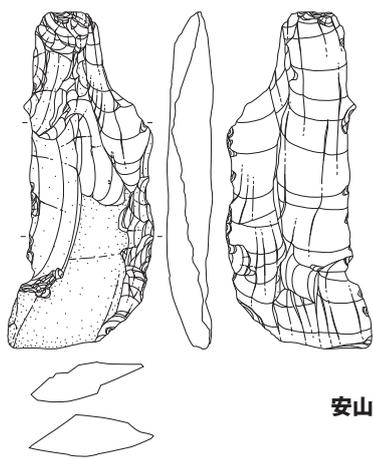
0045  
15B 0790SI  
安山岩 D 250.2g  
S=1/3



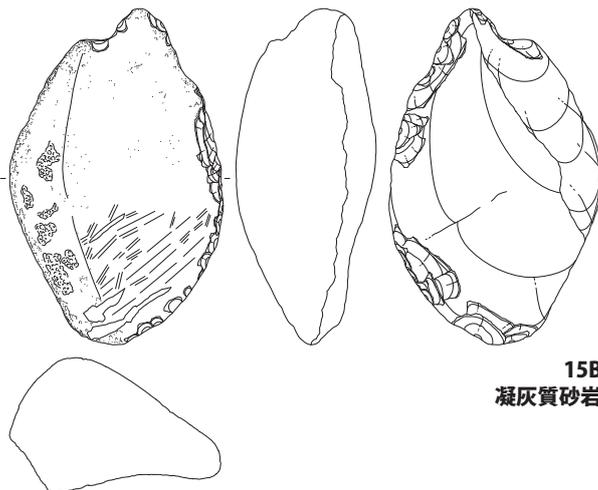
0046  
15B 0790SI  
安山岩 B 123.5g  
S=1/3



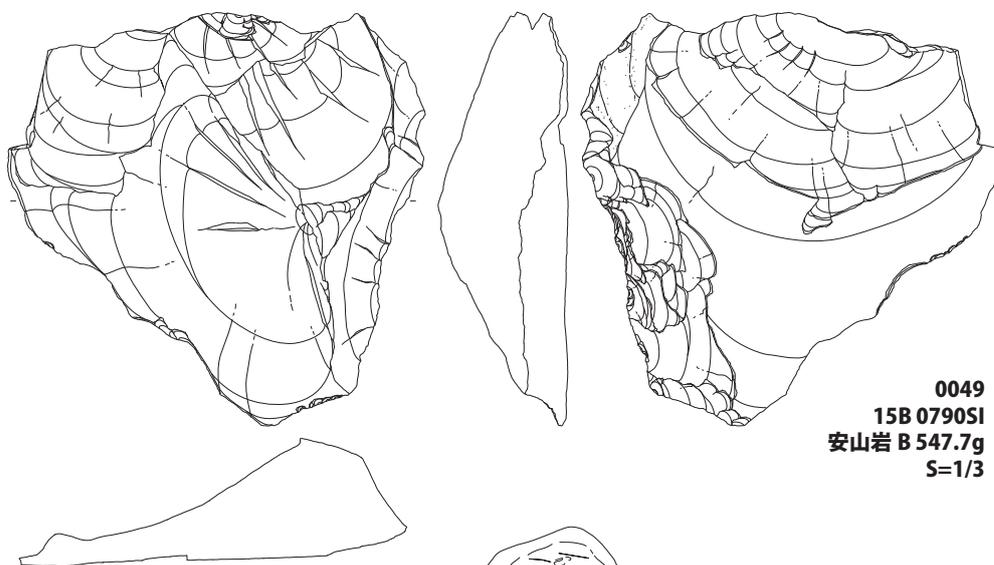
第 250 圖 790SI 出土石器 (1)



0047  
15B 0790SI  
安山岩 B 110.5g  
S=1/3



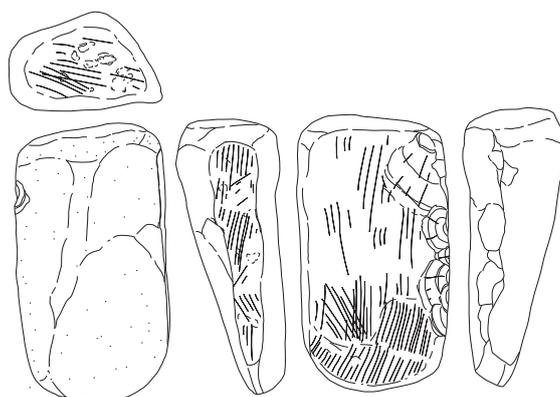
0048  
15B 0790SI  
凝灰質砂岩 437.8g  
S=1/3



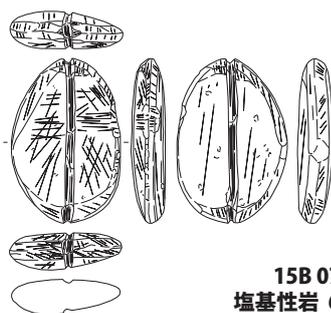
0049  
15B 0790SI  
安山岩 B 547.7g  
S=1/3



0050  
15B 0790SI  
安山岩 B 175.9g  
S=1/3



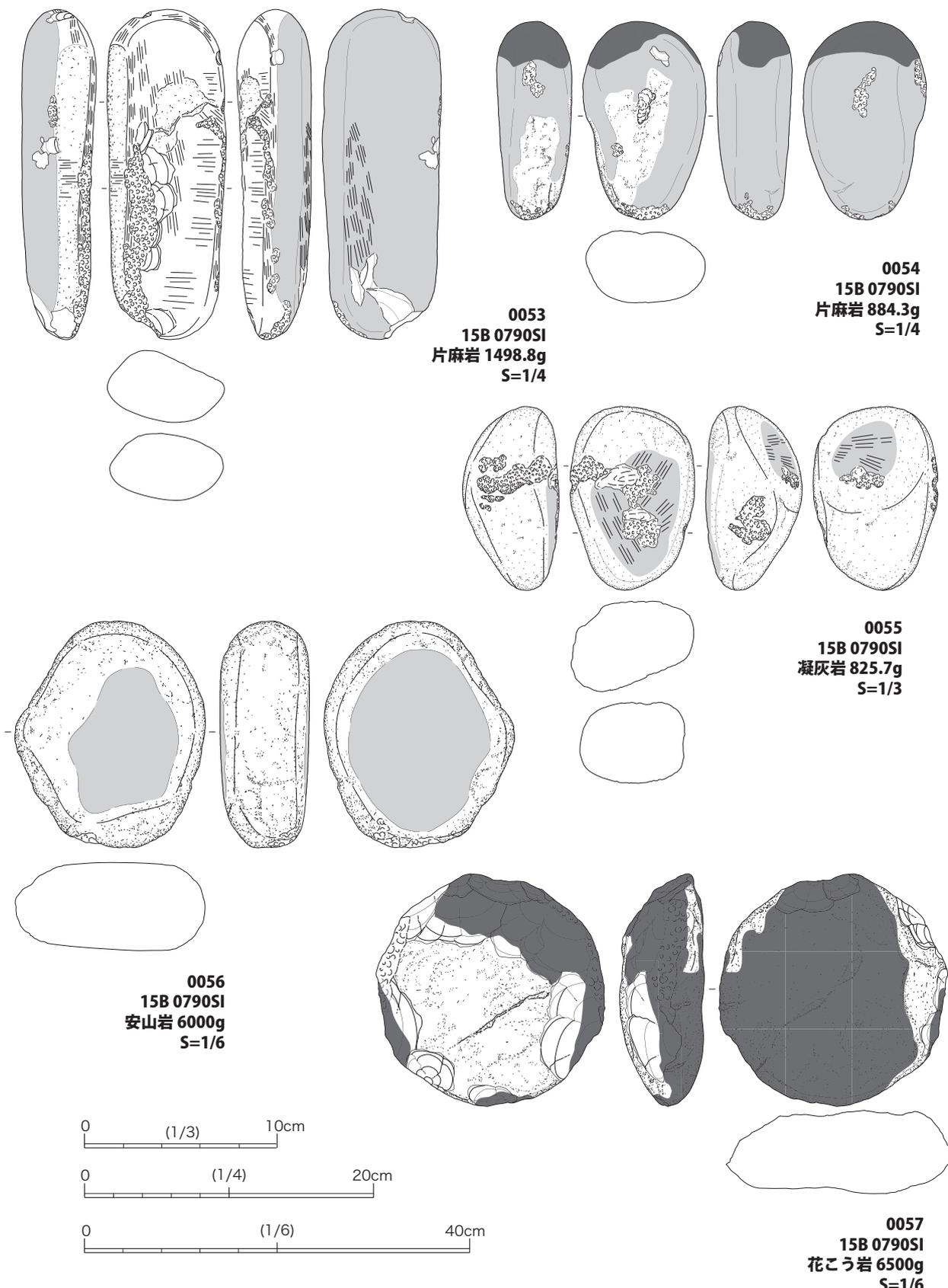
0051  
15B 0790SI  
凝灰岩 294.4g  
S=1/3



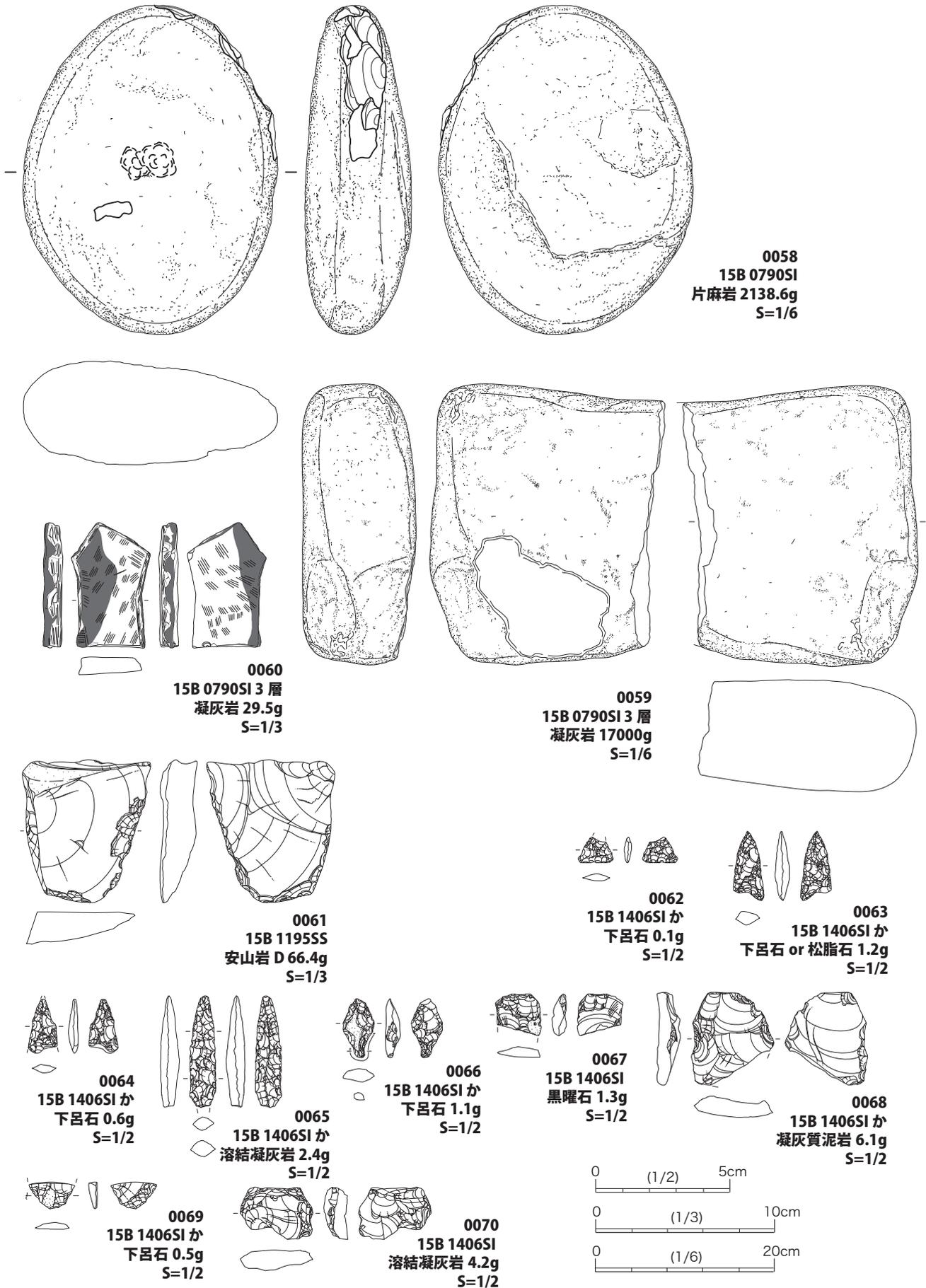
0052  
15B 0790SI  
塩基性岩 61.0g  
S=1/3



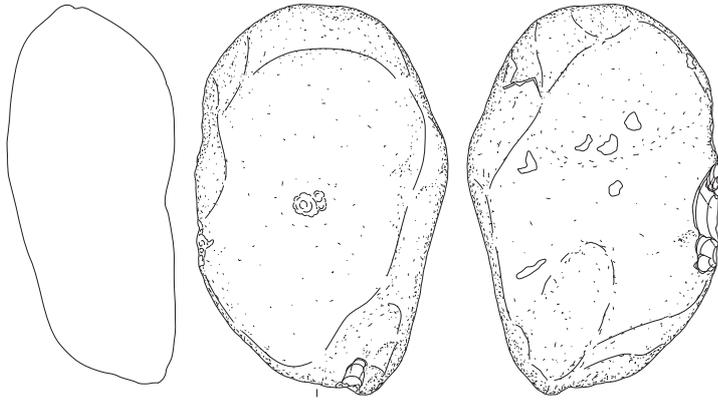
第 251 図 790SI 出土石器 (2)



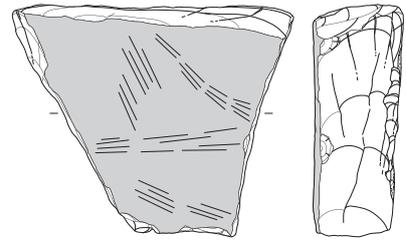
第 252 図 790SI 出土石器 (3)



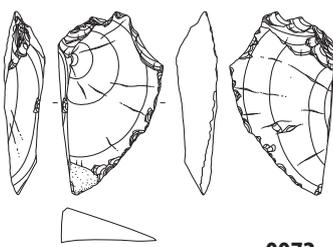
第 253 図 1406SI 他出土石器



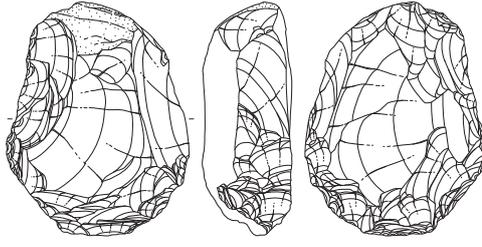
0071  
15B 1406SI  
凝灰岩 11000g  
S=1/6



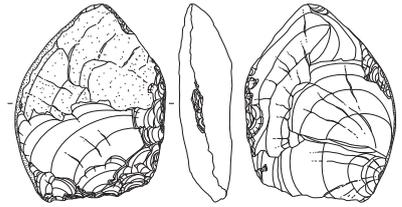
0075  
15B 2346SL  
花こう岩 3818.1g  
S=1/6



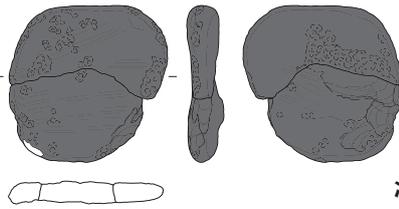
0072  
15B 1559SI  
安山岩 B 35.2g  
S=1/3



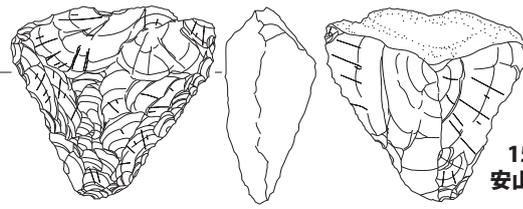
0073  
15Cb 2215SK  
安山岩 B 266.1g  
S=1/3



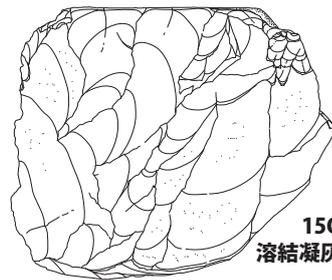
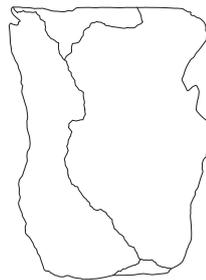
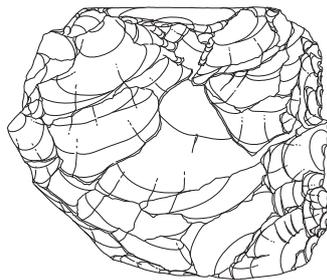
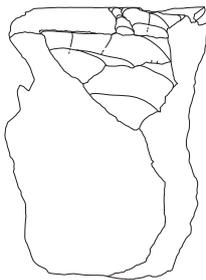
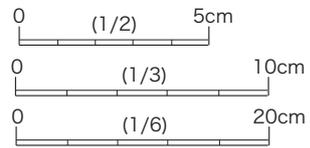
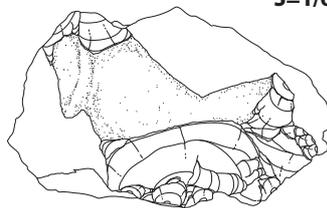
0074  
15B 2216SK  
安山岩 B 114.9g  
S=1/3



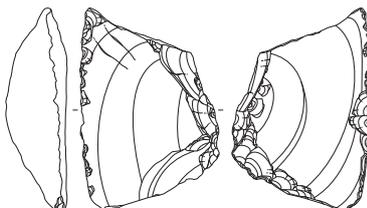
0076  
15Cb 3947SI  
凝灰質砂岩 390.0g  
S=1/6



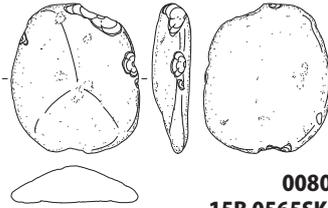
0077  
15Cb 3302SK  
安山岩 B 161.2g  
S=1/3



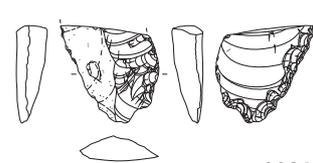
0078  
15Cb 3671SK  
溶結凝灰岩 329.9g  
S=1/2



0079  
15Cb 3671SK  
安山岩 B 89.2g  
S=1/3

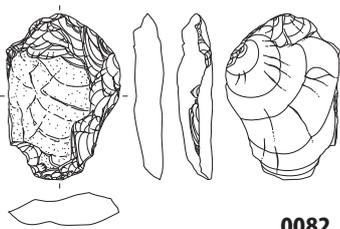


0080  
15B 0565SK  
砂質凝灰岩 45.9g  
S=1/3

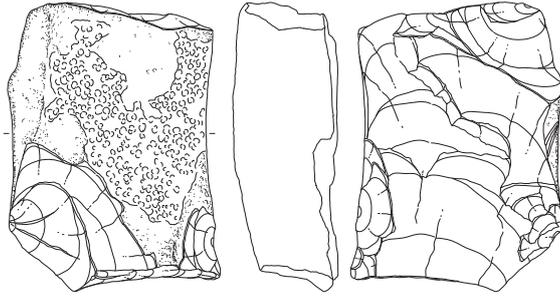


0081  
15Cb 4291SK  
溶結凝灰岩 13.6g  
S=1/3

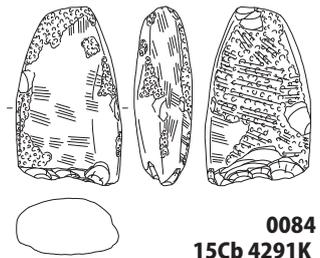
第 254 図 3671SK 他出土石器



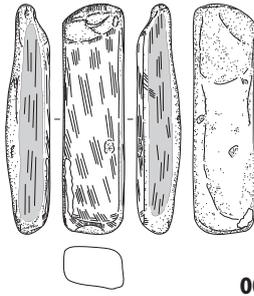
0082  
15Cb 4291SK  
安山岩 B 40.1g  
S=1/3



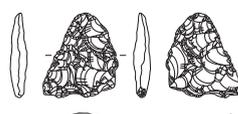
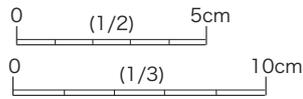
0083  
15Cb 4255K  
安山岩 D 528.7g  
S=1/3



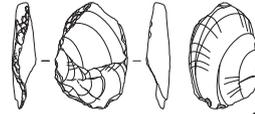
0084  
15Cb 4291K  
塩基性岩 105.1g  
S=1/3



0085  
15Cb 4255K  
凝灰質泥岩 63.1g  
S=1/3



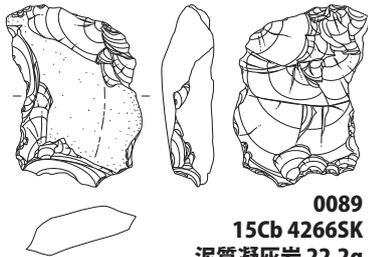
0086  
15B 813SK 1層  
黒曜石 1.5g  
S=1/2



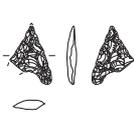
0087  
15B 813SK 3層  
黒曜石 2.7g  
S=1/2



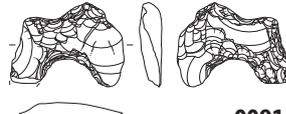
0088  
15B 2258SK  
黒曜石 0.1g  
S=1/2



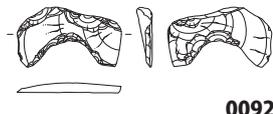
0089  
15Cb 4266SK  
泥質凝灰岩 22.2g  
S=1/2



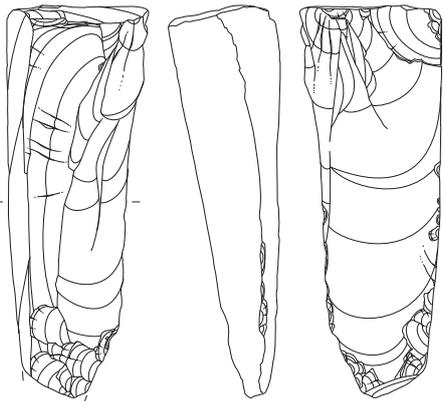
0090  
15Cb 3823SK  
黒曜石 0.3g  
S=1/2



0091  
15Cb 3823SK  
泥質凝灰岩 3.1g  
S=1/2



0092  
15Cb 3823SK  
泥質凝灰岩 1.2g  
S=1/2



0093  
15Cb 3823SK  
安山岩 B 107.6g  
S=1/2



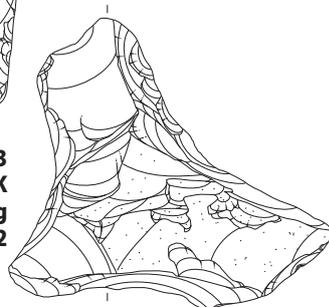
0094  
15Cb 3633SK  
下呂石 0.7g  
S=1/2



0095  
15Cb 3633SK  
メノウ? 0.1g  
S=1/2

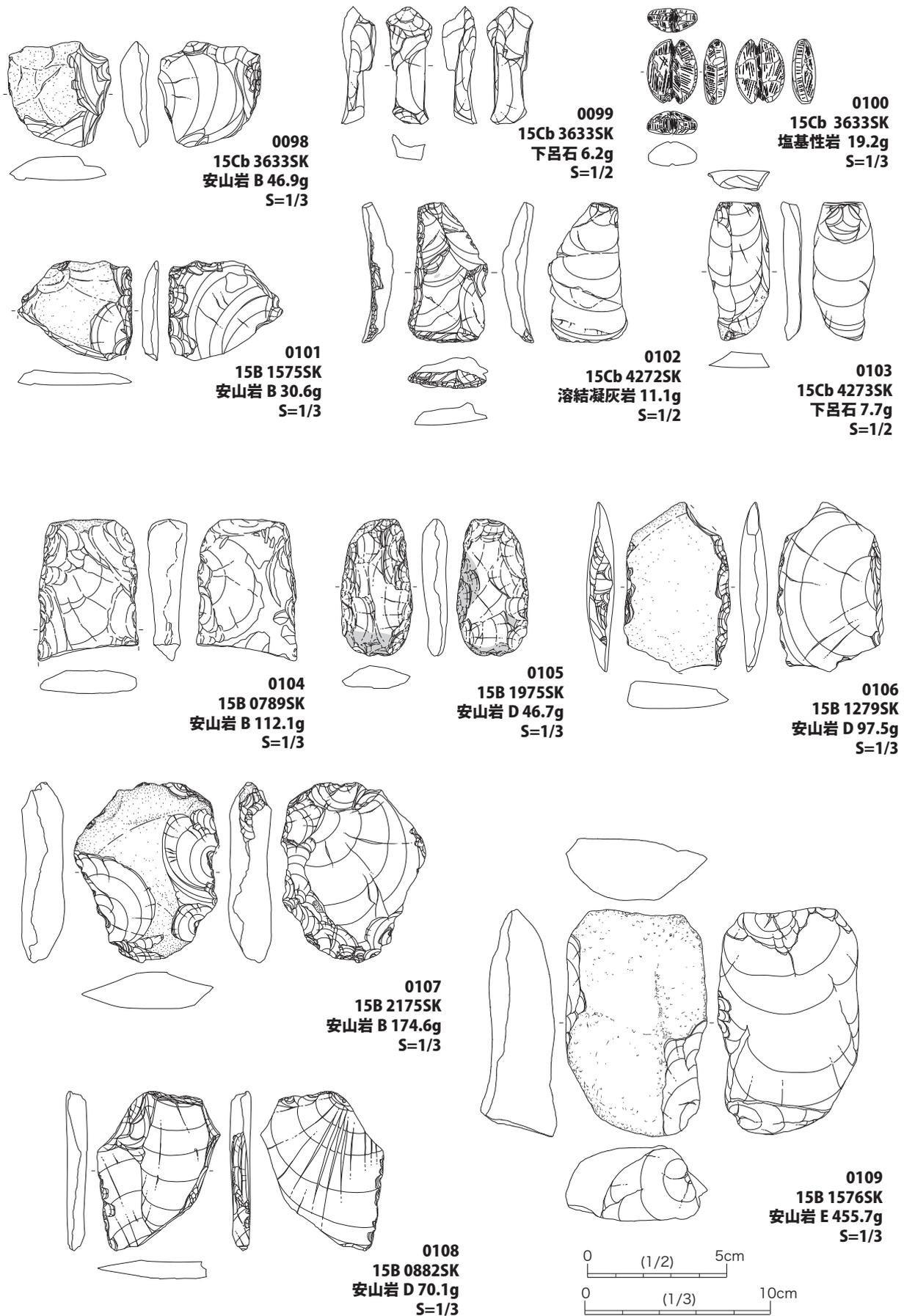


0096  
15Cb 3633SK  
下呂石 1.0g  
S=1/2

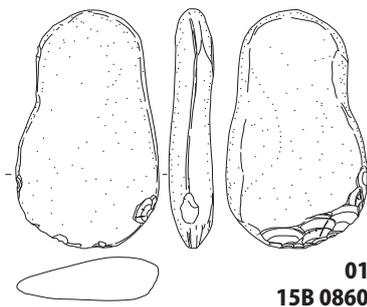


0097  
15Cb 3633SK  
安山岩 B 84.4g  
S=1/2

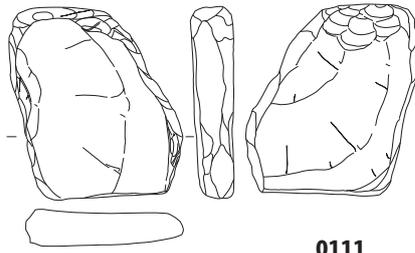
第 255 図 4255SK 他出土石器



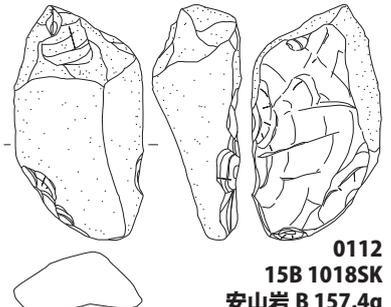
第 256 图 3633SK 他出土石器



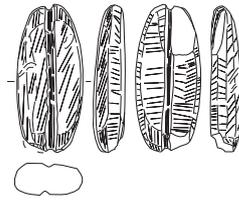
0110  
15B 0860SK  
泥質凝灰岩 93.5g  
S=1/3



0111  
15B 0861SK  
安山岩 B 144.2g  
S=1/3



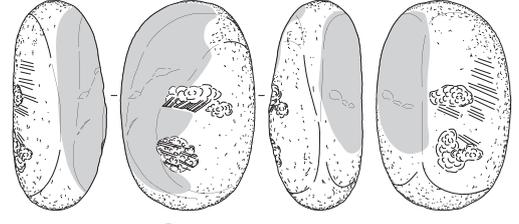
0112  
15B 1018SK  
安山岩 B 157.4g  
S=1/2



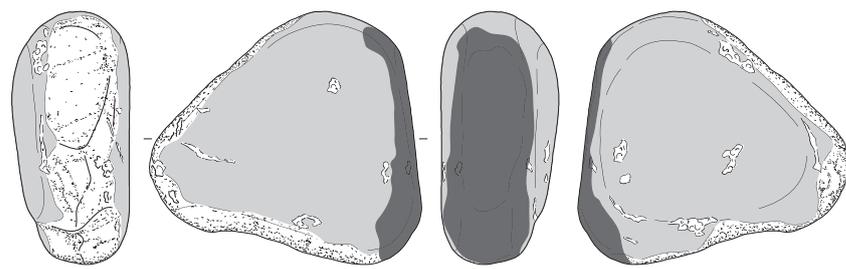
0113  
15B 0855SK  
黒色片岩 ? 32.3g  
S=1/3



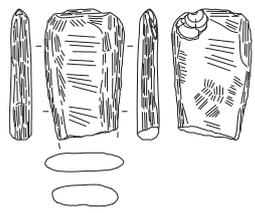
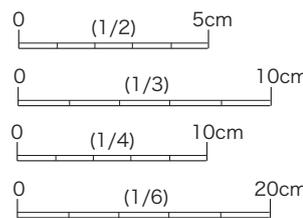
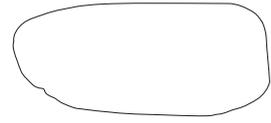
0114  
15B 0857SK  
塩基性片岩 13.9g  
S=1/3



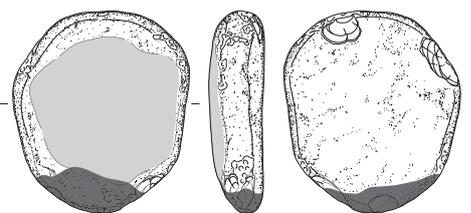
0115  
15B 0722SK  
片麻岩 439.3g  
S=1/4



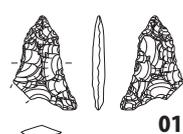
0116  
1236SK  
片麻岩 6000g  
S=1/6



0118  
15Cb 4273SK  
凝灰質砂岩 18.3g  
S=1/3



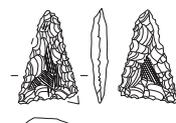
0117  
15B 0927SK  
花こう岩 927g  
S=1/6



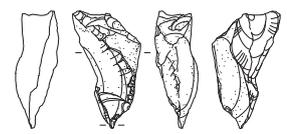
0119  
15Cb 4059SK  
下呂石 0.9g  
S=1/2



0120  
15B 1022SK  
1層 (炉内)  
黒曜石 0.1g  
S=1/2

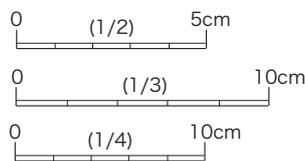
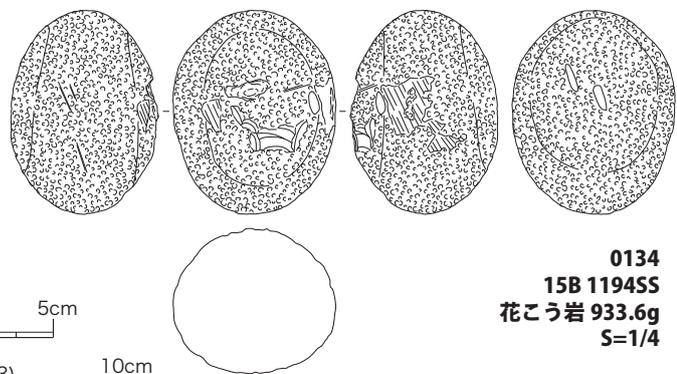
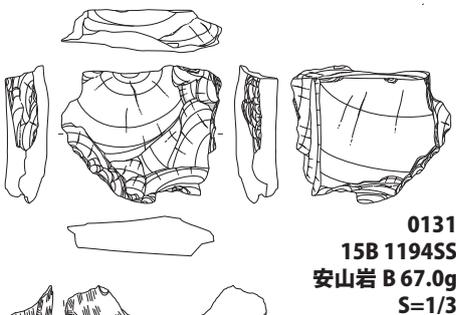
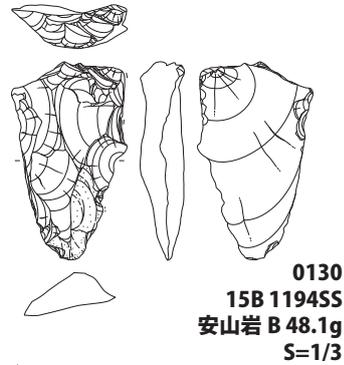
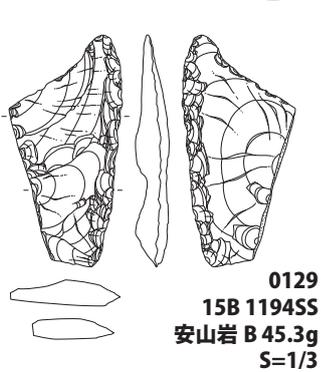
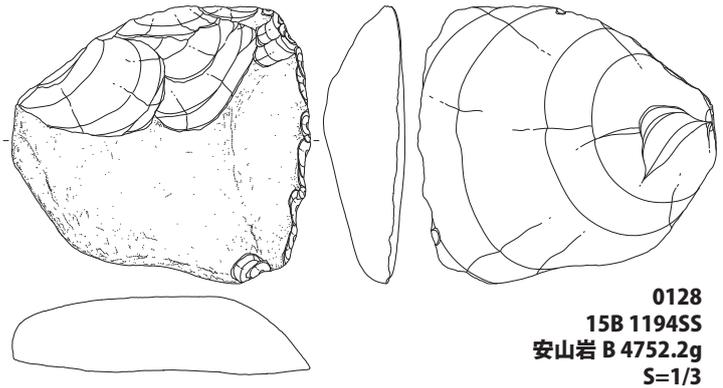
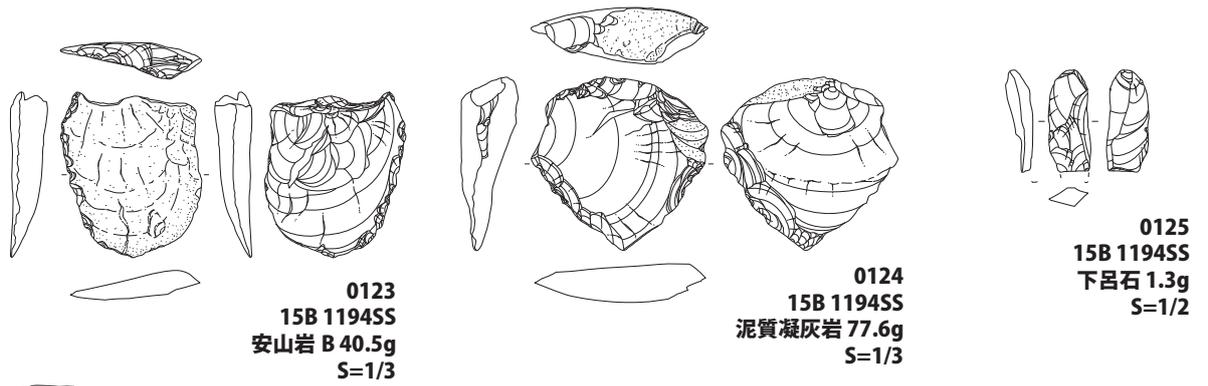


0121  
15Cb 4059SK  
下呂石 1.3g  
S=1/2

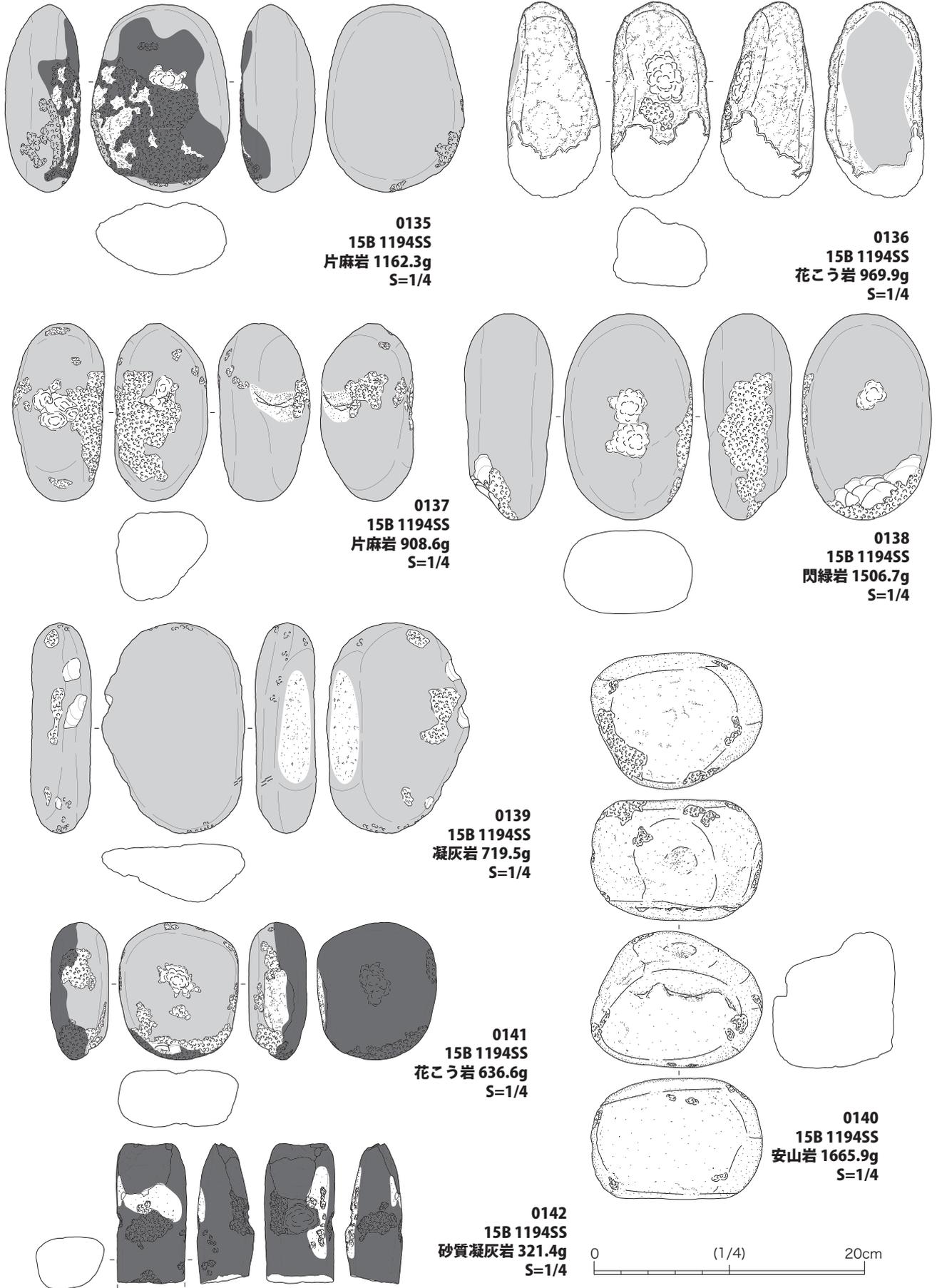


0122  
15B 1194SS  
黒曜石 3.5g  
S=1/2

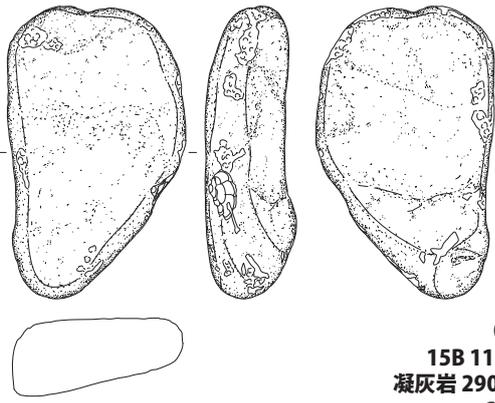
第 257 図 4059SK 他出土石器



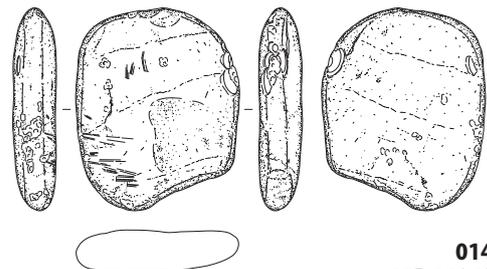
第 258 図 1194SS 出土石器 (1)



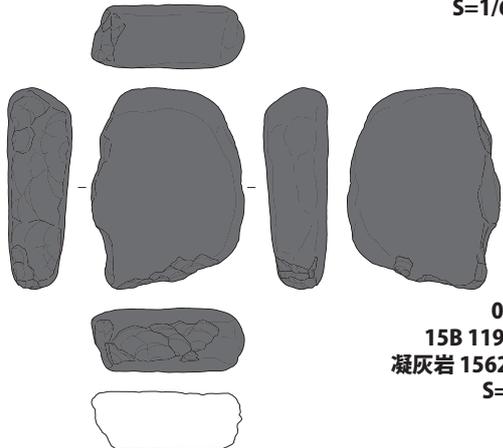
第 259 図 1194SS 出土石器 (2)



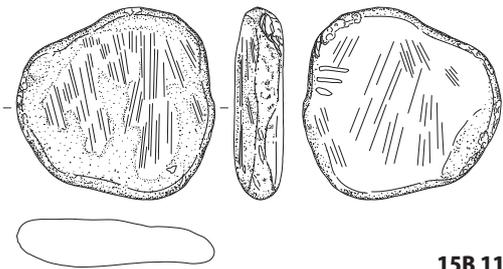
0143  
15B 1194SS  
凝灰岩 2904.8g  
S=1/6



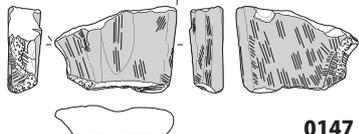
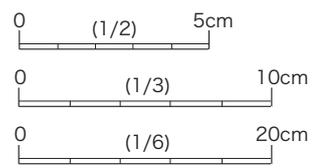
0144  
15B 1194SS  
凝灰質砂岩 1117.0g  
S=1/6



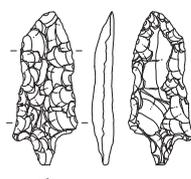
0145  
15B 1194SS  
凝灰岩 1562.1g  
S=1/6



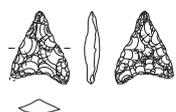
0146  
15B 1194SS  
片麻岩 1421.0g  
S=1/6



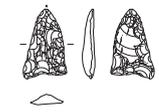
0147  
15B 1194SS  
凝灰質砂岩 25.6g  
S=1/3



0149  
15A 0059SX  
安山岩 B 3.5g  
S=1/2



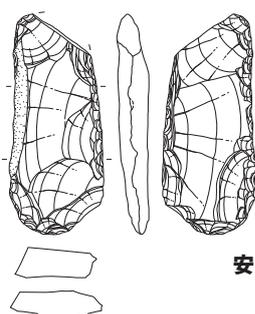
0150  
15A 0059SX  
下呂石 0.7g  
S=1/2



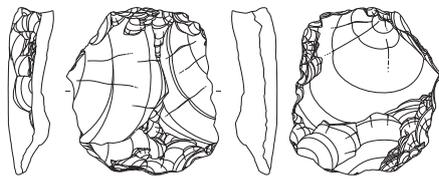
0151  
15A 0059SX  
下呂石 0.6g  
S=1/2



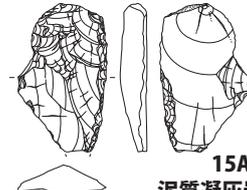
0152  
15A 0059SX  
サヌカイト 0.7g  
S=1/2



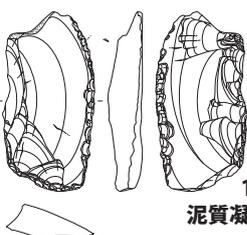
0148  
15B 1557SK  
安山岩 B 51.3g  
S=1/3



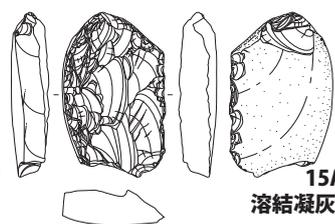
0153  
15A 0059SX  
安山岩 E 66.8g  
S=1/3



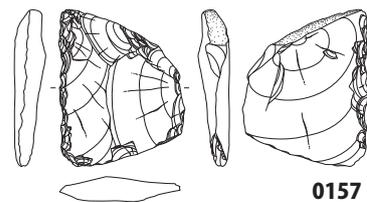
0154  
15A 0059SX  
泥質凝灰岩 19.9g  
S=1/3



0155  
15A 0059SX  
泥質凝灰岩 32.0g  
S=1/3

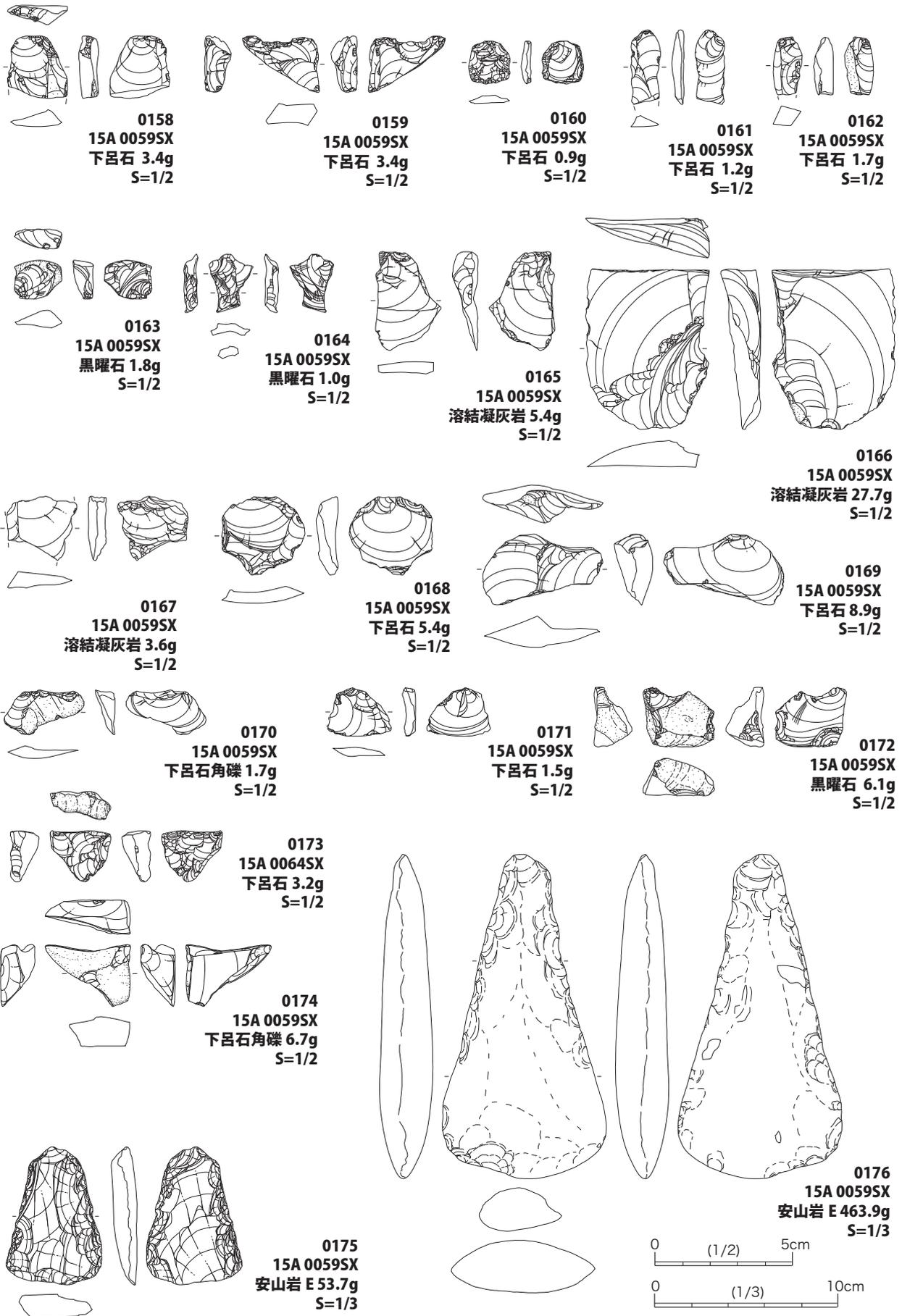


0156  
15A 0059SX  
溶結凝灰岩 49.4g  
S=1/3

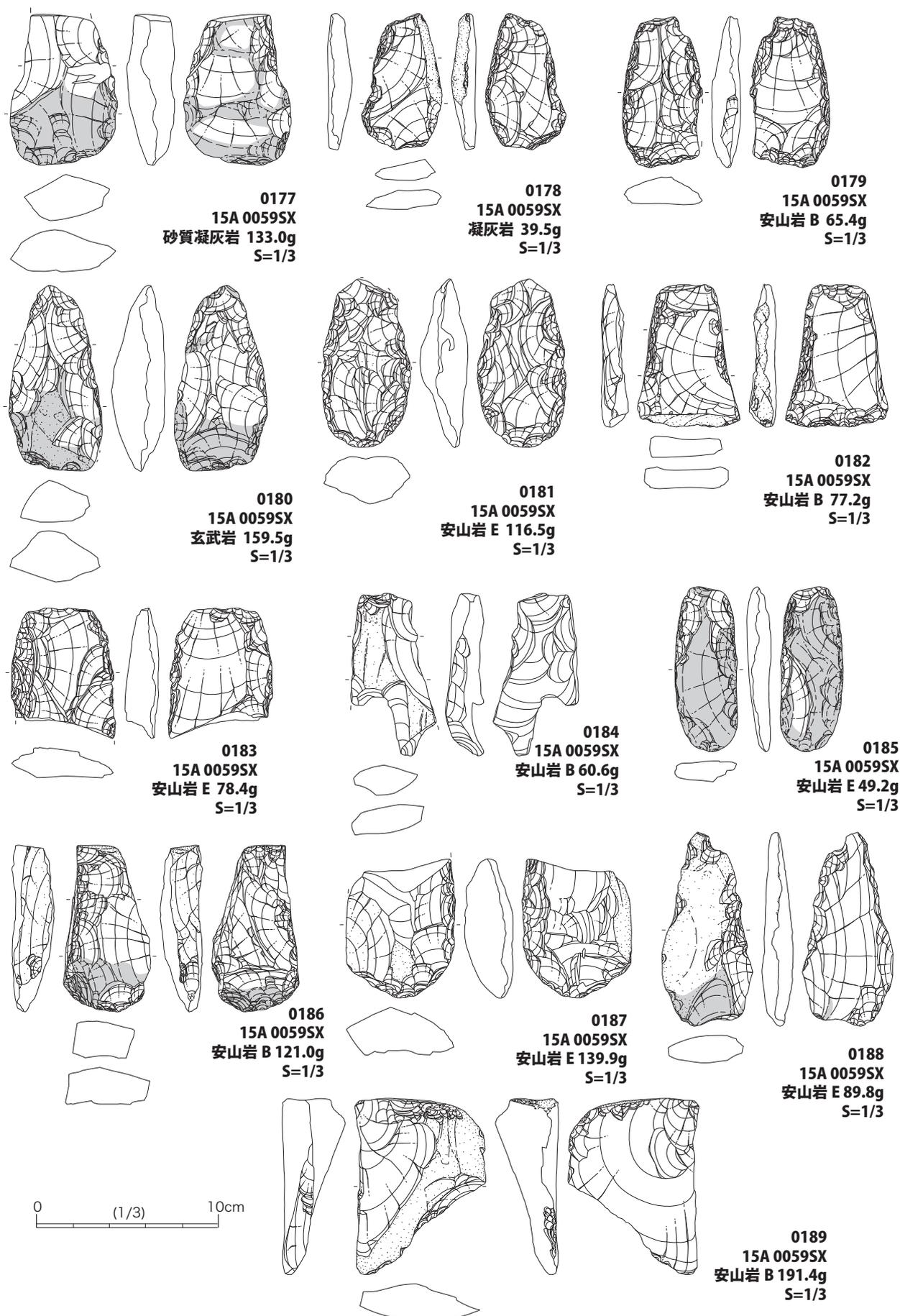


0157  
15A 0059SX  
泥質凝灰岩 38.4g  
S=1/3

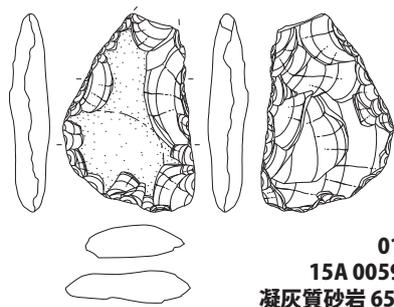
第 260 図 1194SS 出土石器 (3)



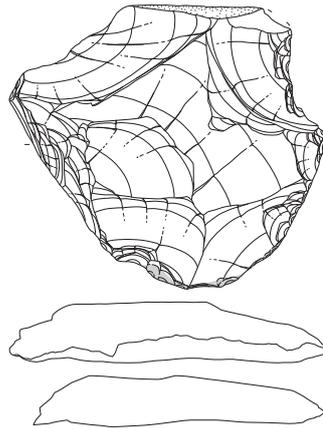
第 261 圖 059SX 出土石器 (1)



第 262 圖 059SX 出土石器 (2)

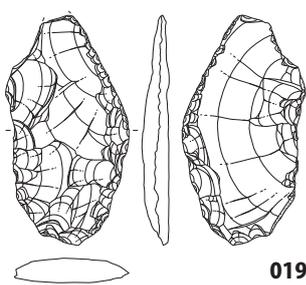


0190  
15A 0059SX  
凝灰質砂岩 65.3g  
S=1/3

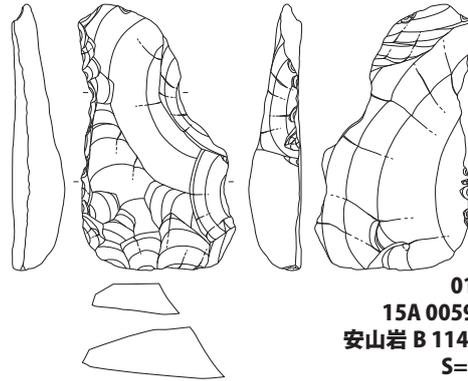


0191  
15A 0059SX  
安山岩 B 325.3g  
S=1/3

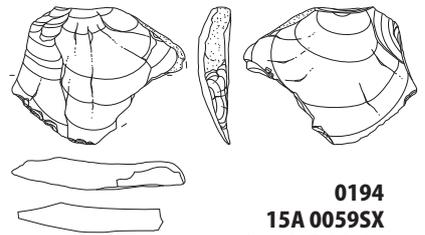
0 10cm (1/3)



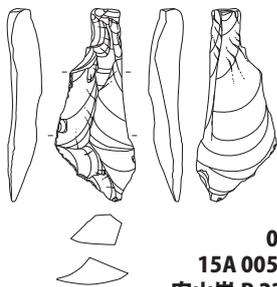
0192  
15A 0059SX  
安山岩 B 48.2g  
S=1/3



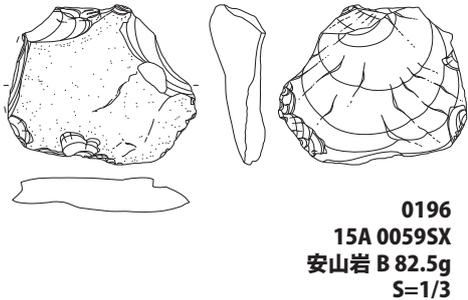
0193  
15A 0059SX  
安山岩 B 114.8g  
S=1/3



0194  
15A 0059SX  
安山岩 B 39.6g  
S=1/3



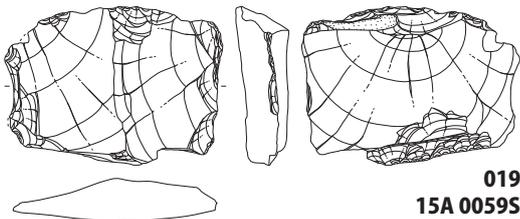
0195  
15A 0059SX  
安山岩 B 22.7g  
S=1/3



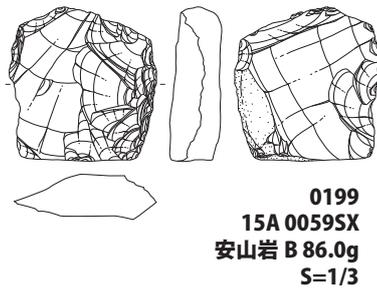
0196  
15A 0059SX  
安山岩 B 82.5g  
S=1/3



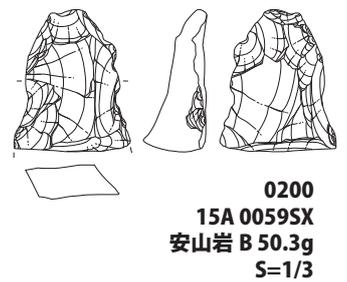
0197  
15A 0059SX  
安山岩 E 70.7g  
S=1/3



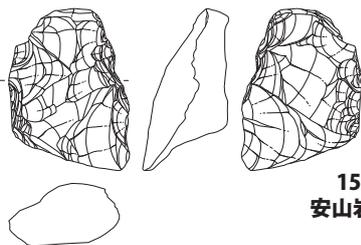
0198  
15A 0059SX  
安山岩 B 116.1g  
S=1/3



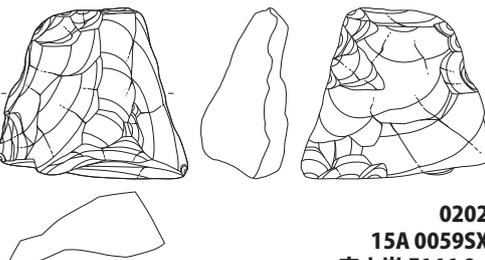
0199  
15A 0059SX  
安山岩 B 86.0g  
S=1/3



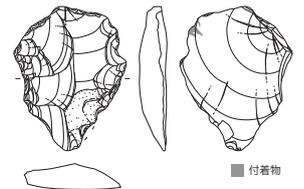
0200  
15A 0059SX  
安山岩 B 50.3g  
S=1/3



0201  
15A 0059SX  
安山岩 B 80.9g  
S=1/3



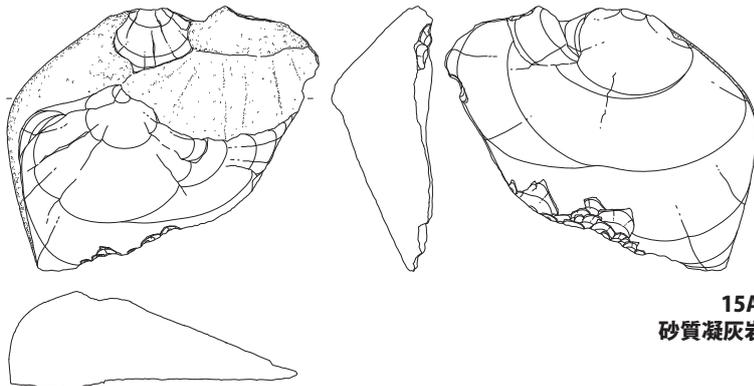
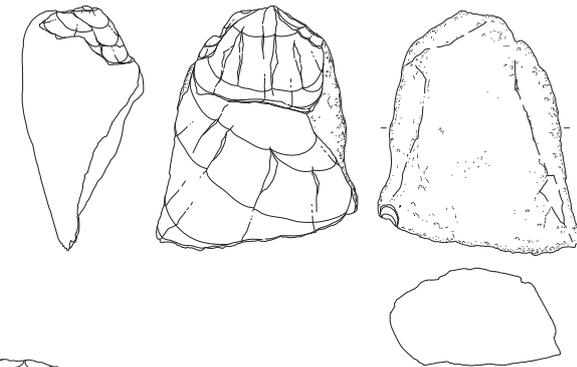
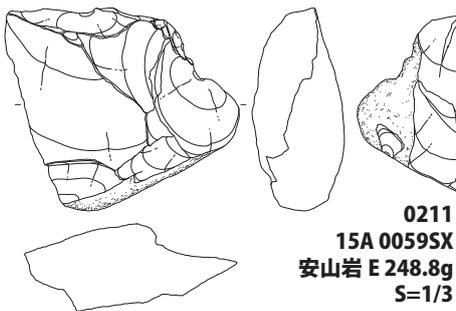
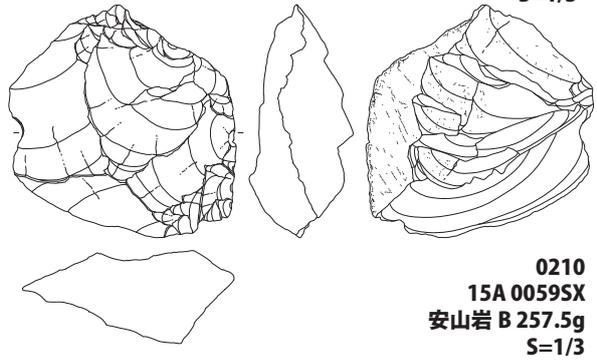
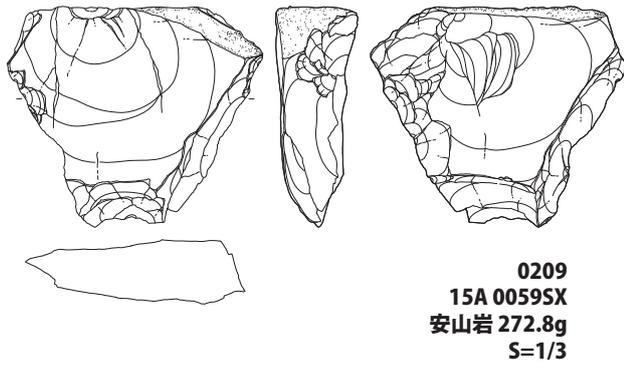
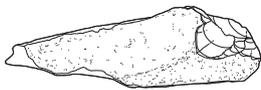
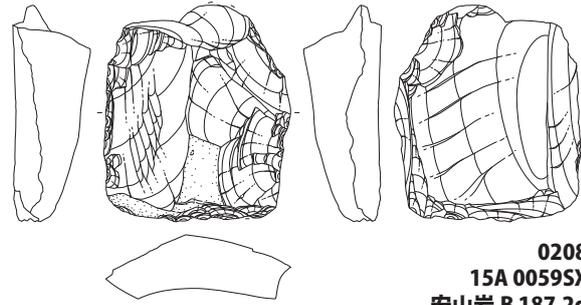
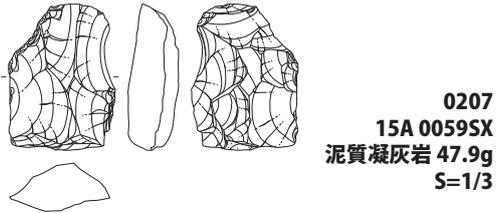
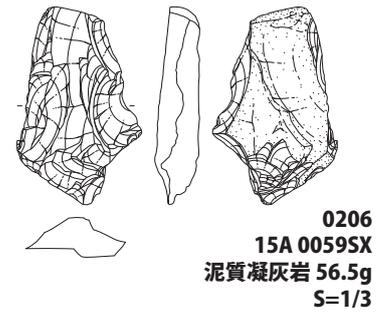
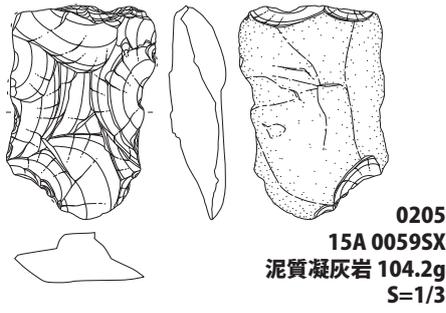
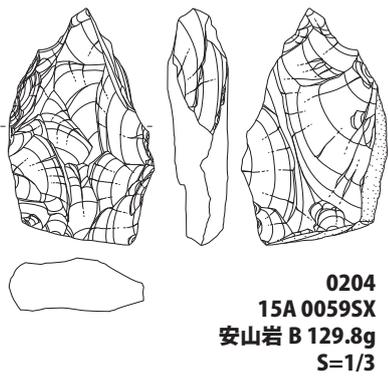
0202  
15A 0059SX  
安山岩 E146.9g  
S=1/3



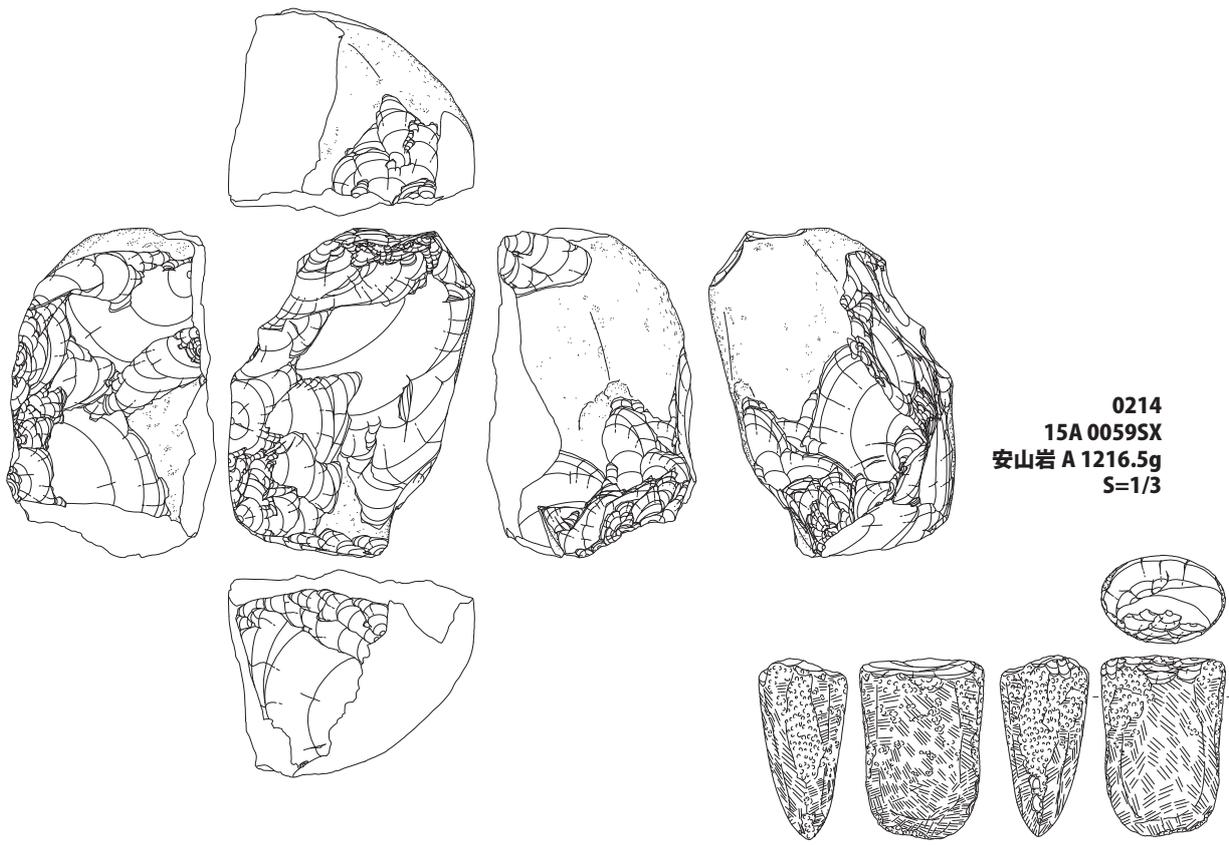
0203  
15A 0059SX  
泥質凝灰岩 23.5g  
S=1/3

■ 付着物

第 263 图 059SX 出土石器 (3)

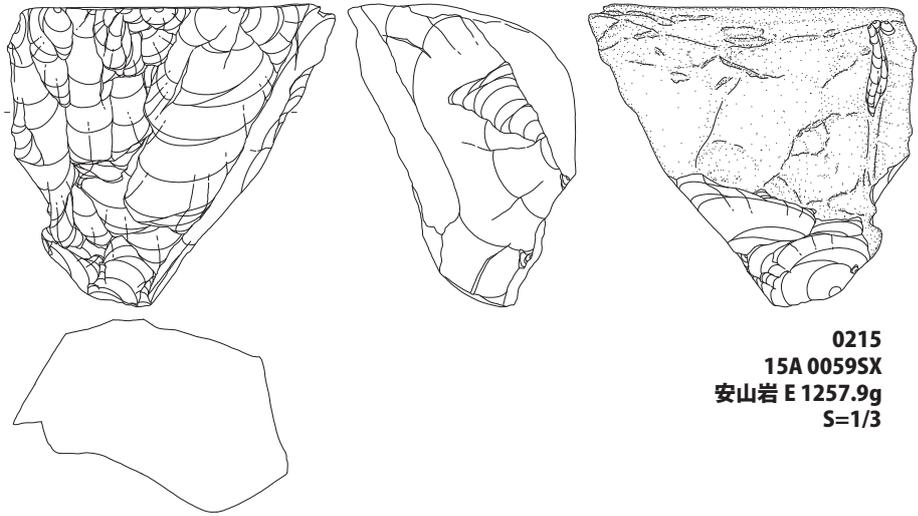


第 264 圖 059SX 出土石器 (4)

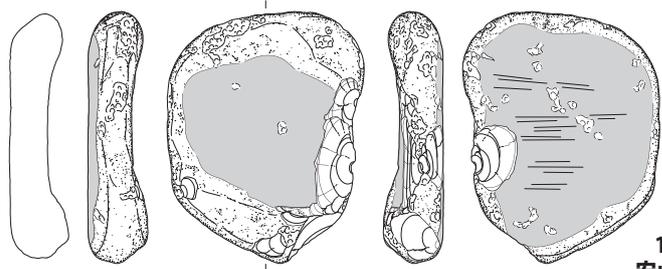


0214  
15A 0059SX  
安山岩 A 1216.5g  
S=1/3

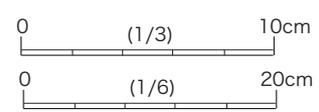
0216  
15A 0059SX  
玄武岩 190.2g  
S=1/3



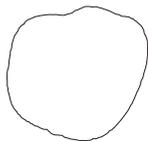
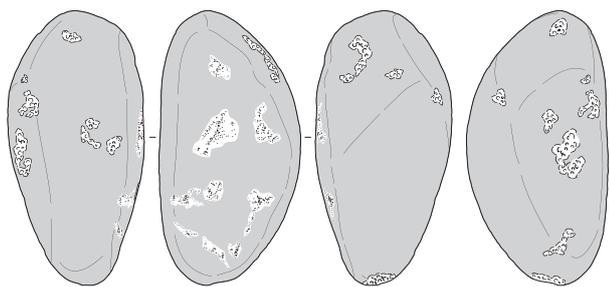
0215  
15A 0059SX  
安山岩 E 1257.9g  
S=1/3



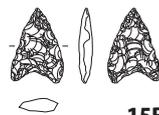
0217  
15A 0059SX  
安山岩 858.2g  
S=1/6



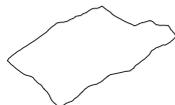
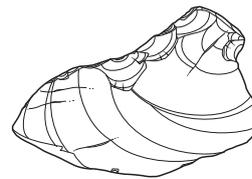
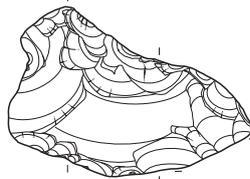
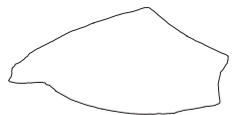
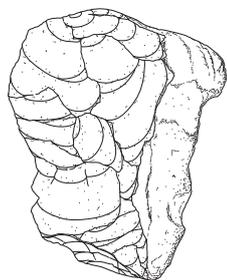
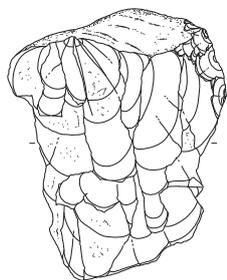
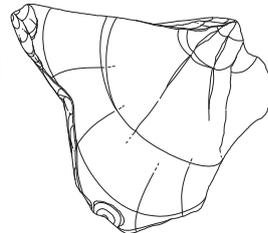
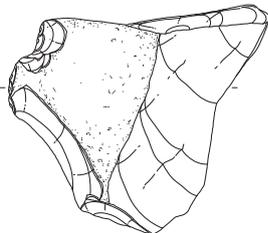
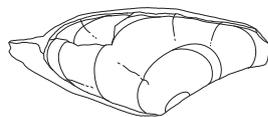
第 265 图 059SX 出土石器 (5)



0218  
15 1193SS  
凝灰岩 1002.5g  
S=1/4

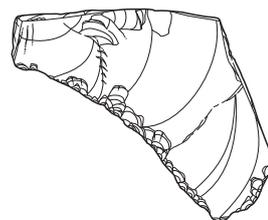
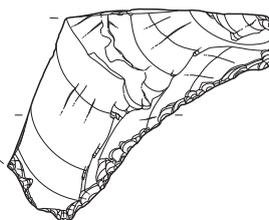
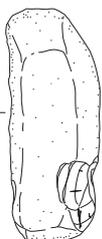


0219  
15B 0943SK  
黑曜石 0.9g  
S=1/2



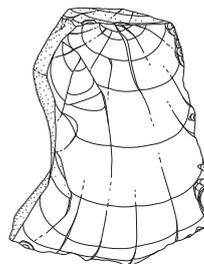
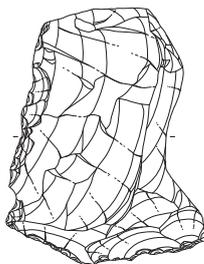
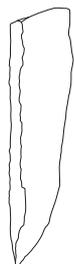
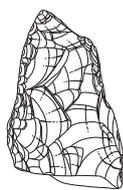
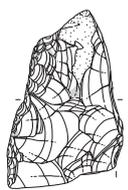
0221  
15B 0943SK  
安山岩 B 331.7g  
S=1/3

0220  
15B 0943SK  
安山岩 D 365.2g  
S=1/3



0223  
15B 0787SK  
安山岩 137.2g  
S=1/3

0222  
15B 0787SK  
安山岩 D 32.8g  
S=1/2

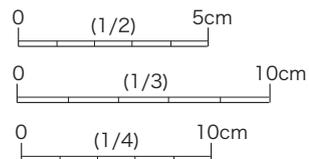


0225  
15B 0986SK  
安山岩 B 53.2g  
S=1/3

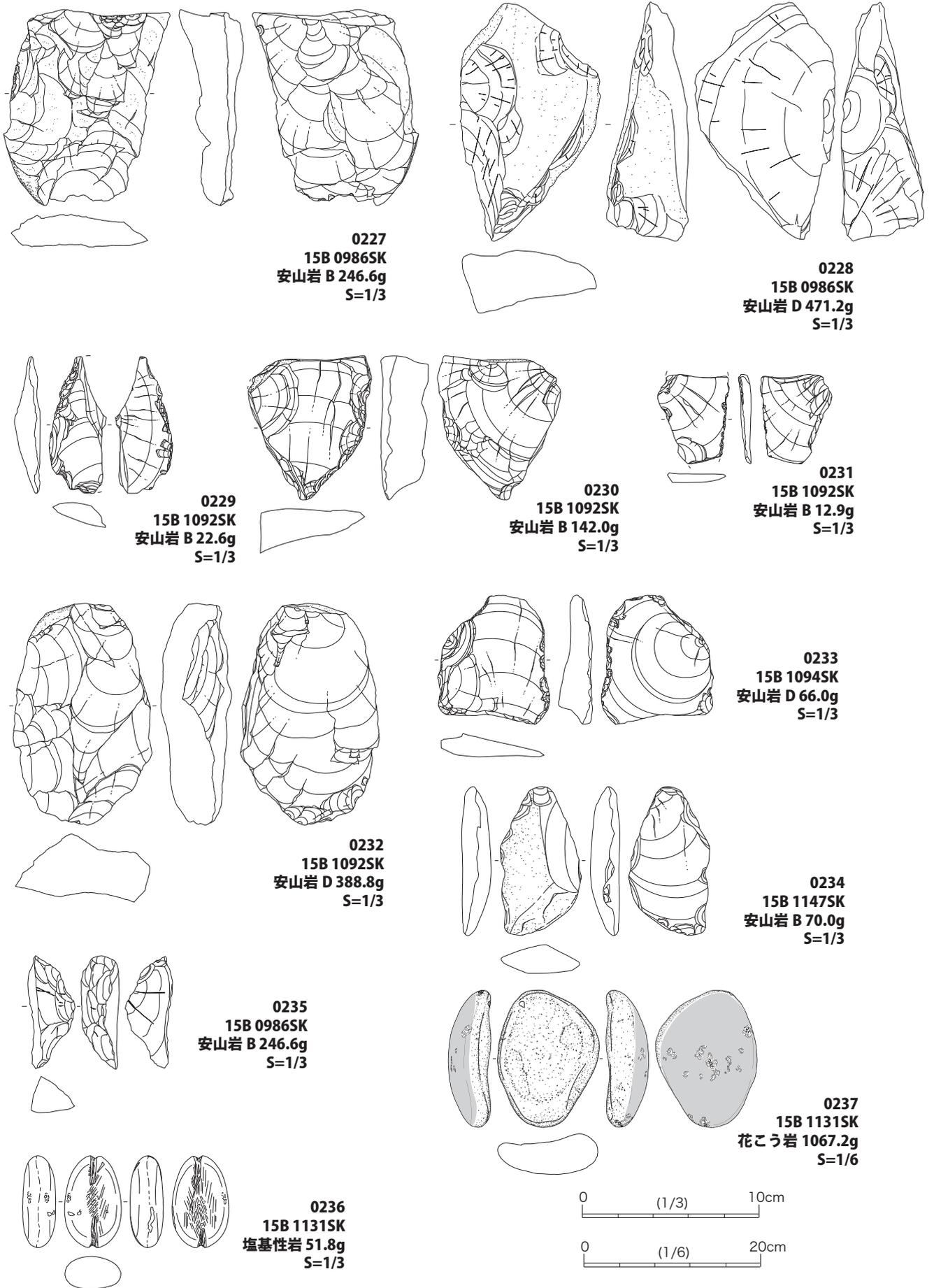
0224  
15B 0986SK  
溶結凝灰岩 22.7g  
S=1/2



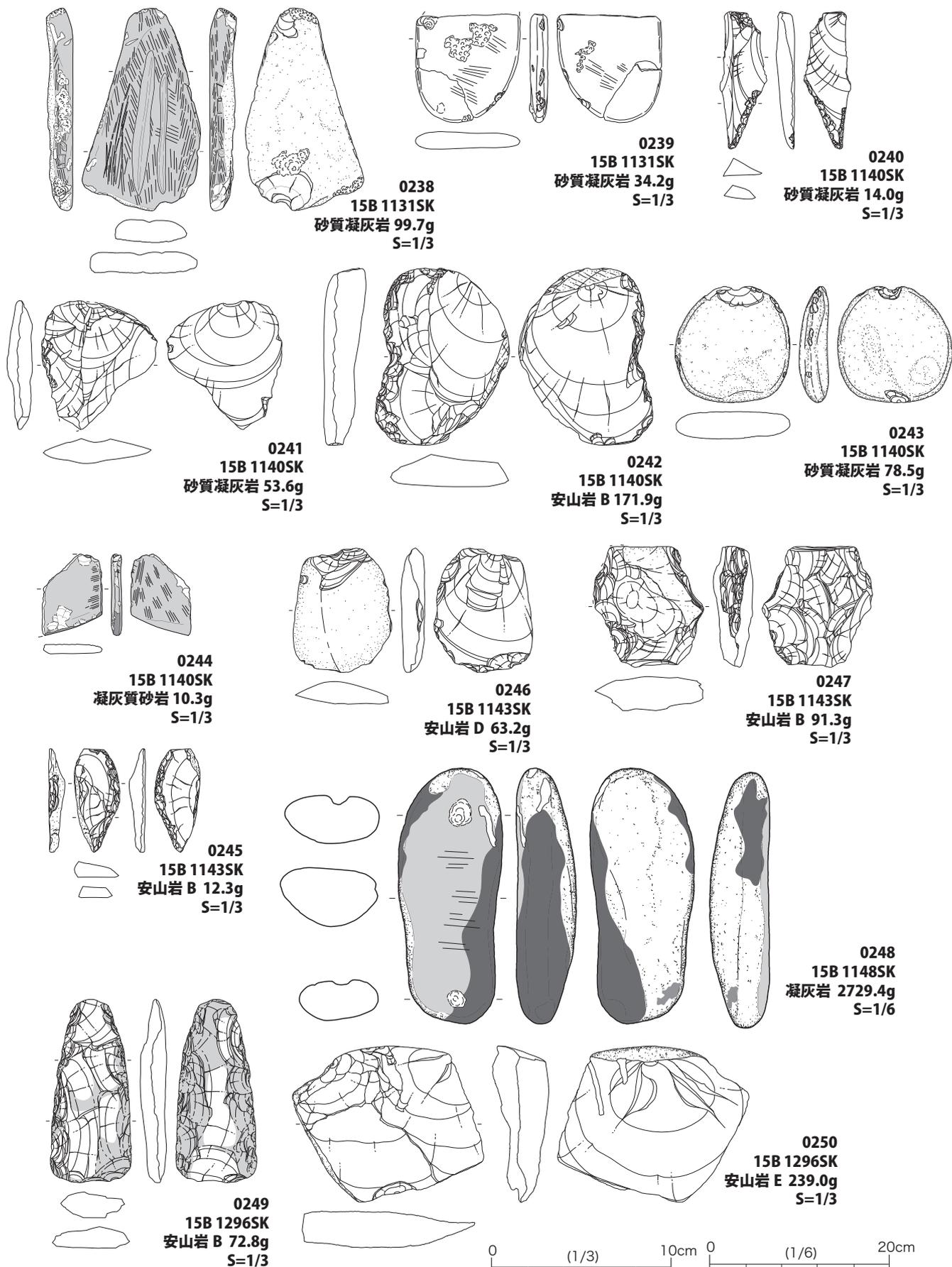
0226  
15B 0986SK  
安山岩 B 176.8g  
S=1/3



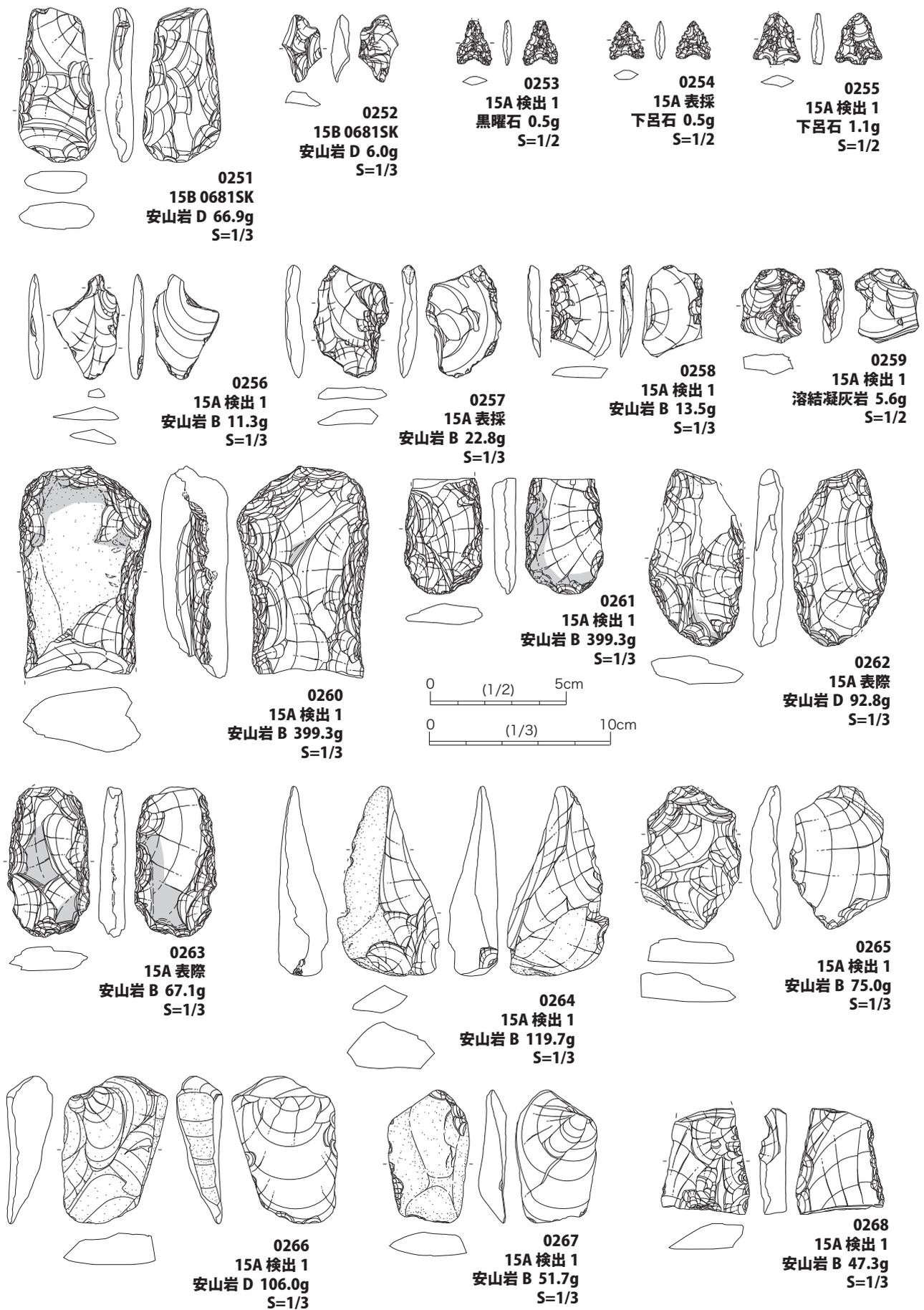
第 266 圖 986SK 他出土石器



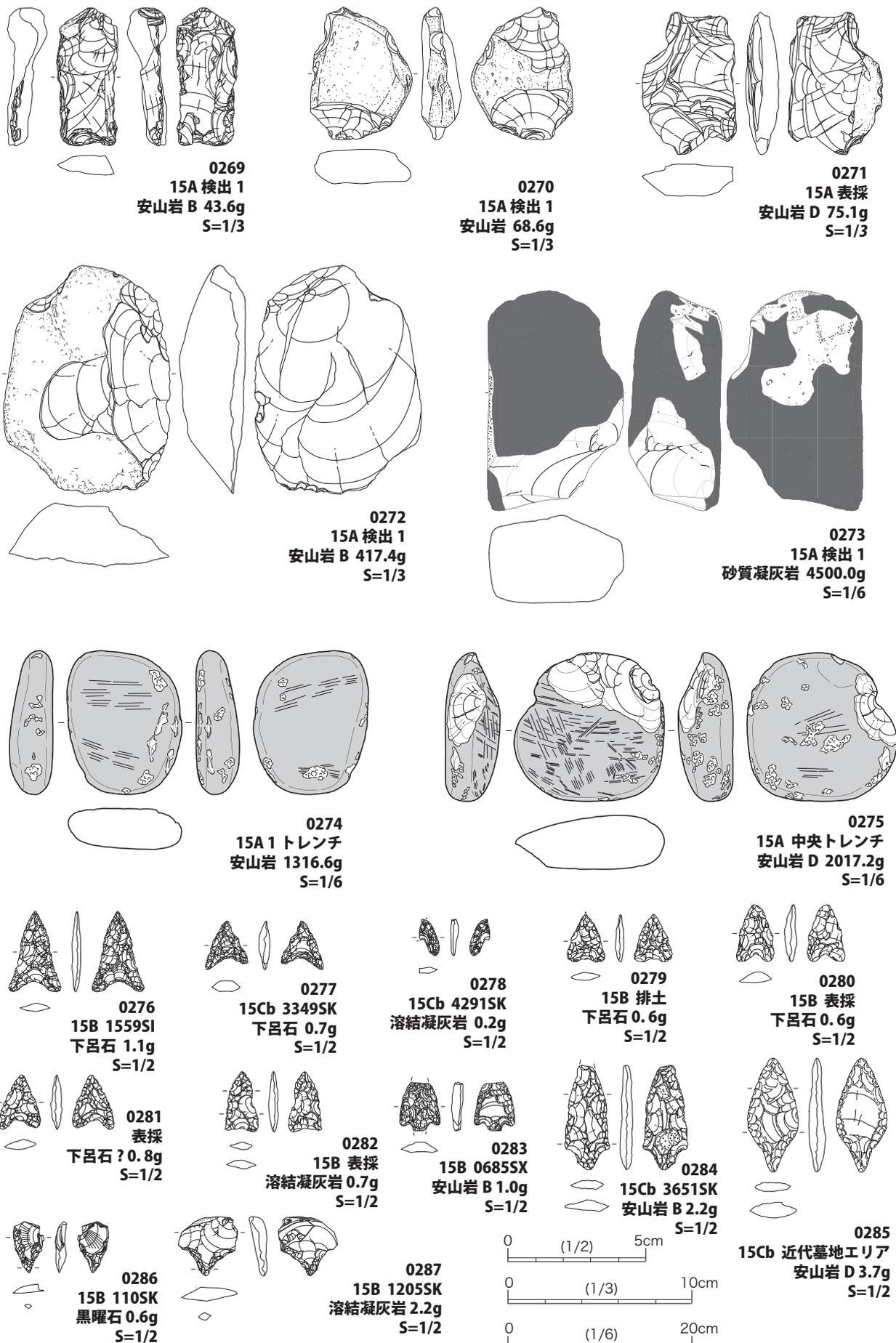
第 267 图 1092SK 他出土石器



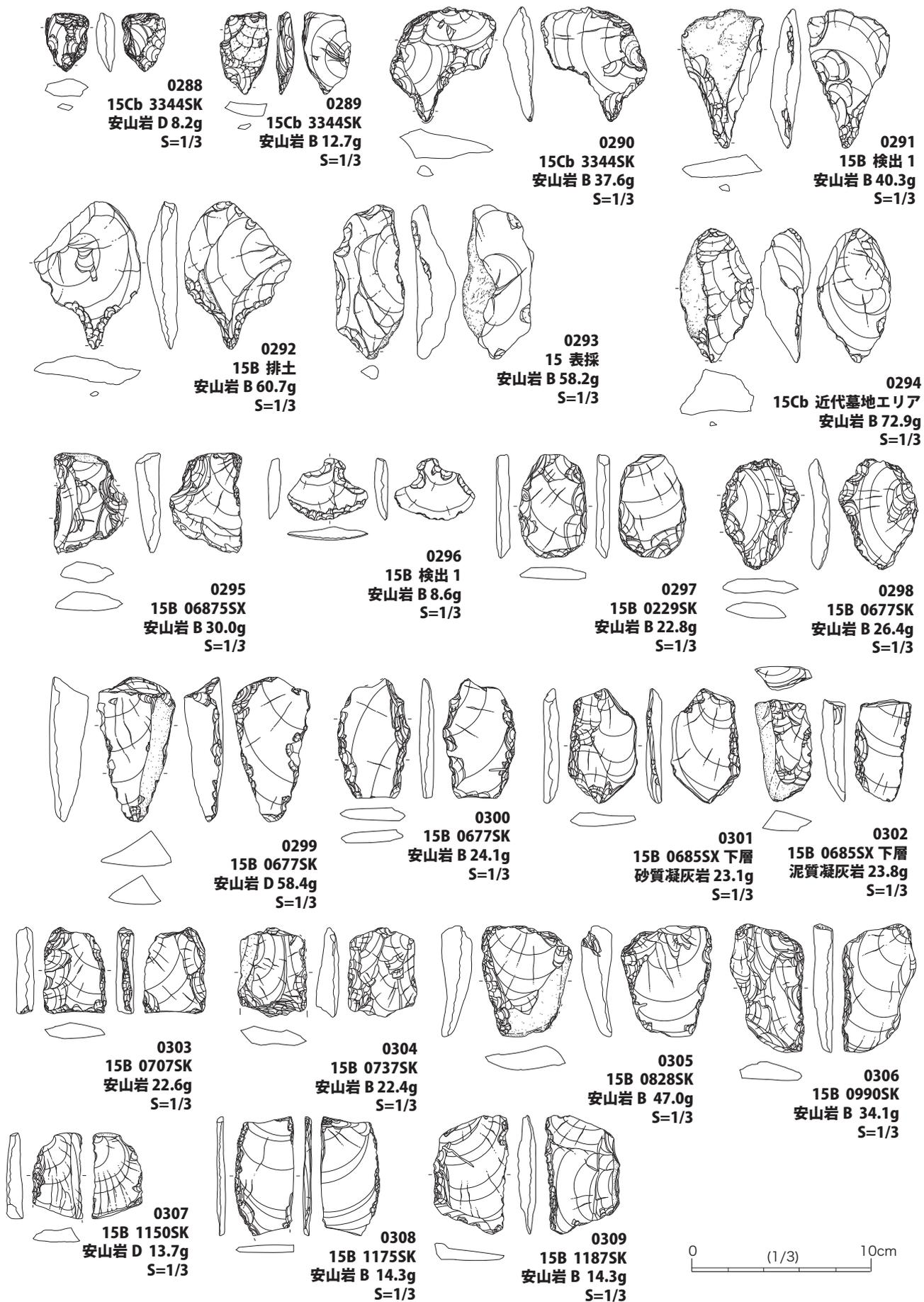
第 268 圖 1143SK 他出土石器



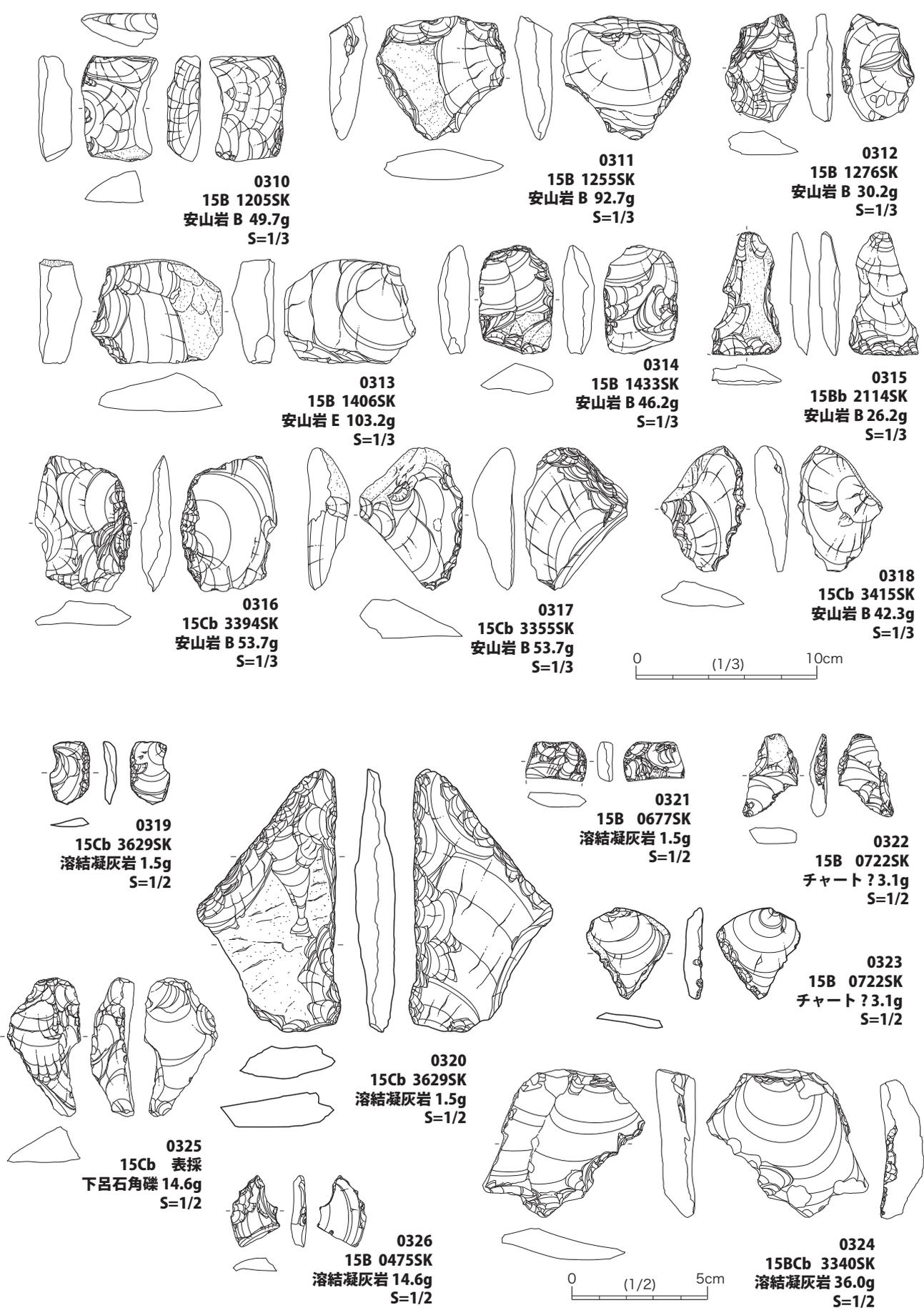
第 269 图 15A 区他出土石器



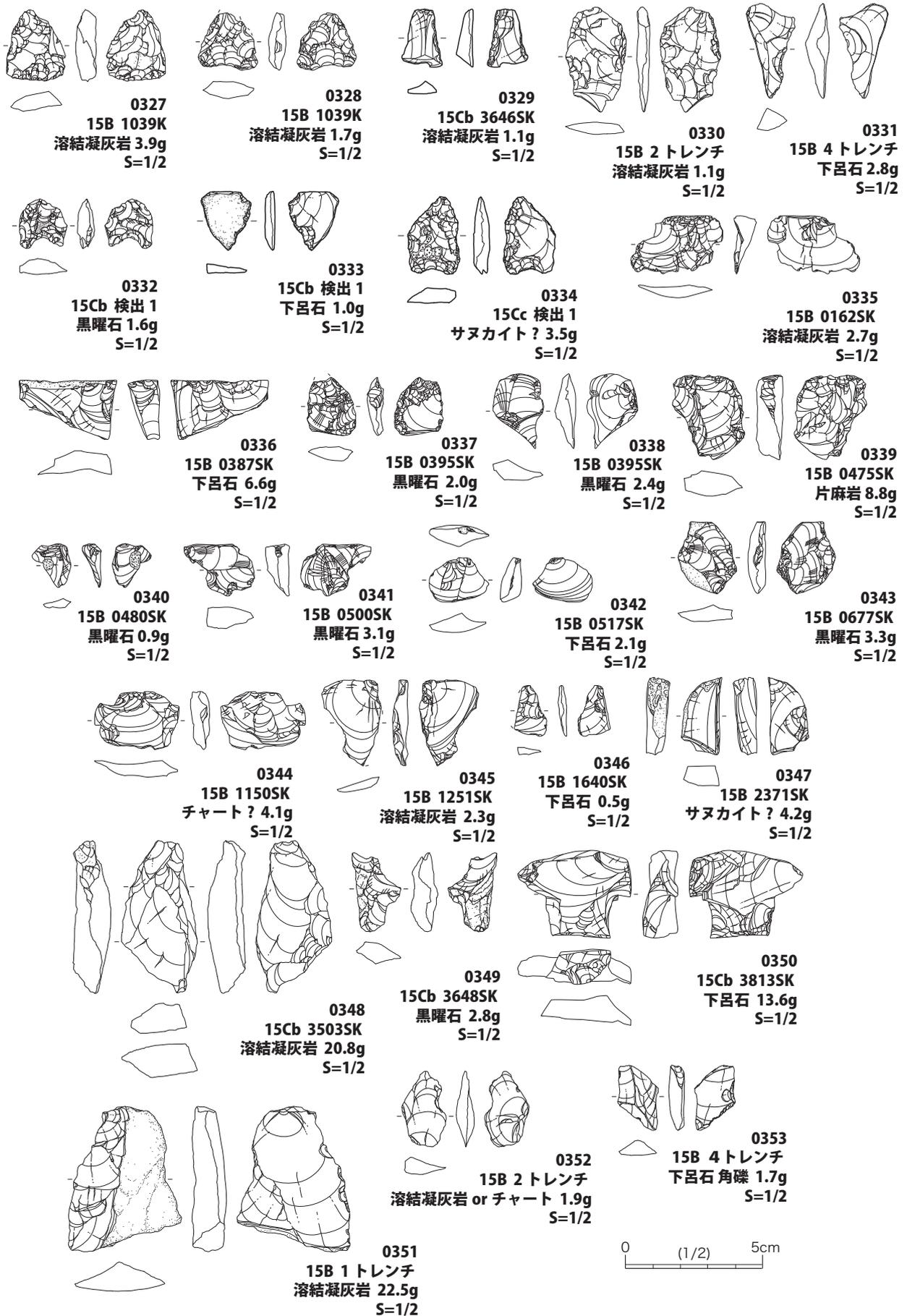
第 270 図 15A 区出土石器・石鏃・石錐



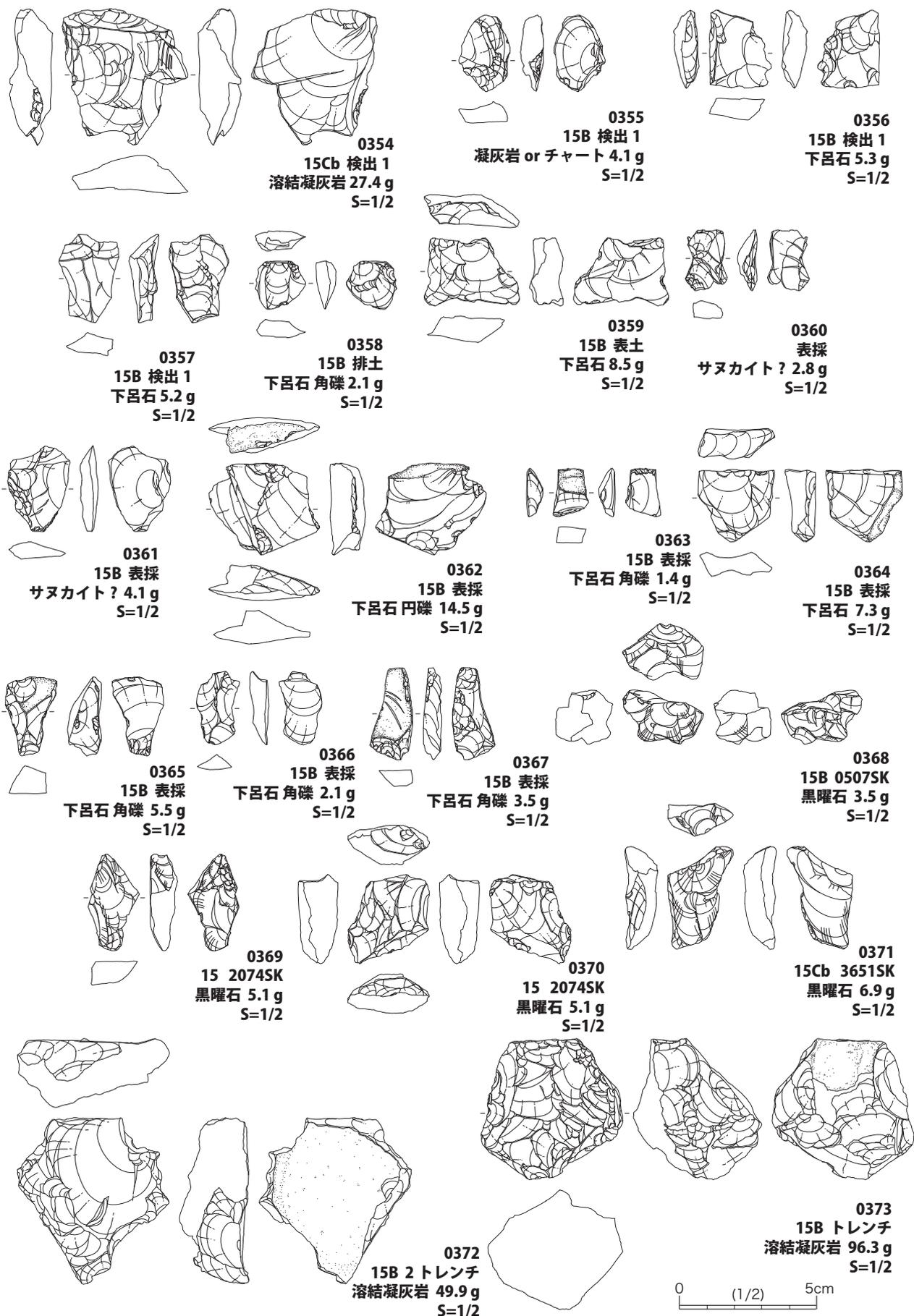
第 271 図 石錐・石匙・スクレイパー



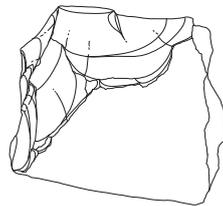
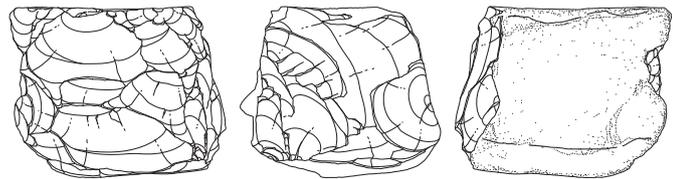
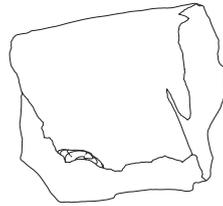
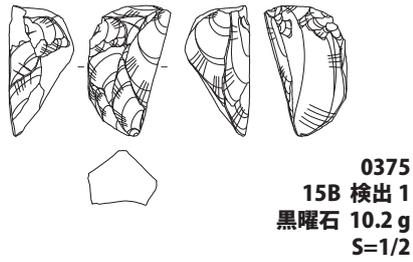
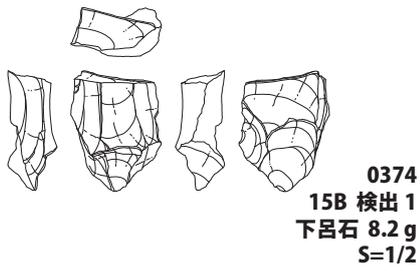
第 272 図 スクレイパー・剥片類 (小型)



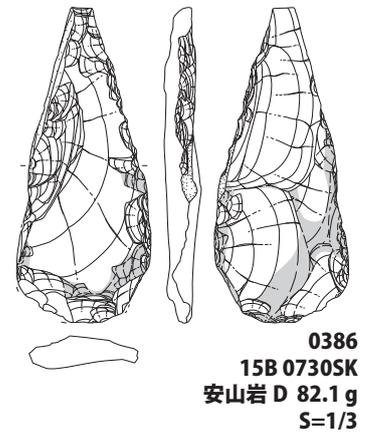
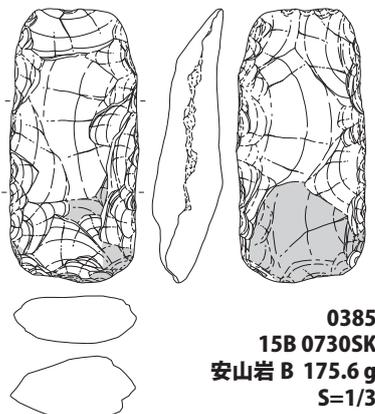
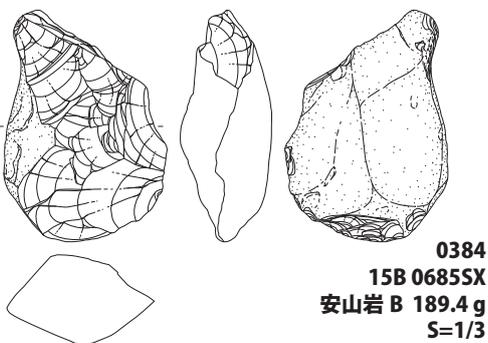
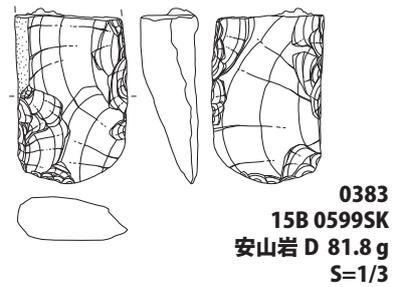
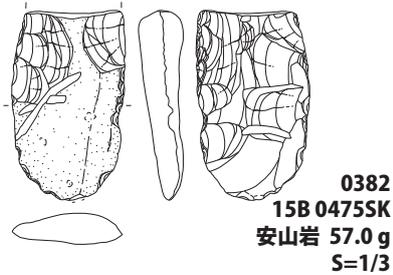
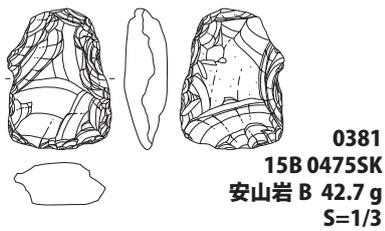
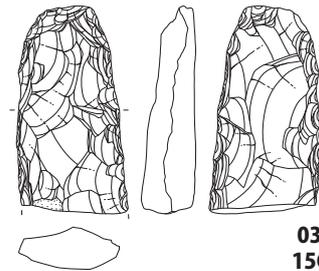
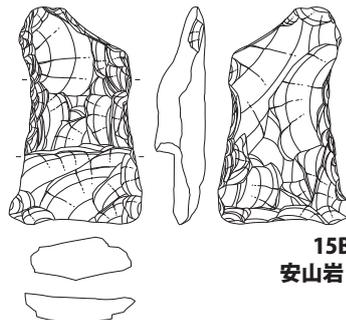
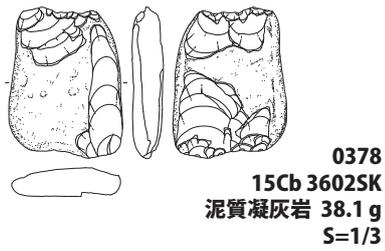
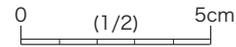
第 273 図 剥片類 (小型)



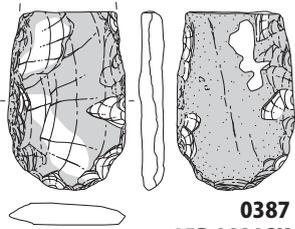
第 274 図 剥片類 (小型)・石核 (小型)



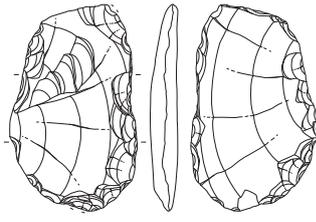
0376  
15B 検出 1  
溶結凝灰岩 174.2 g  
S=1/2



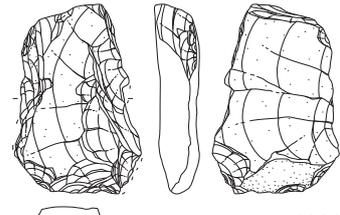
第 275 図 石核 (小型)・楔形石器・打製石斧



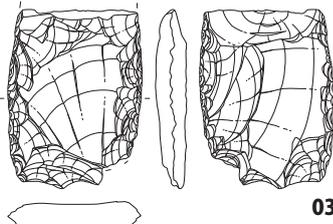
0387  
15B 0830SK  
安山岩 B 45.1g  
S=1/3



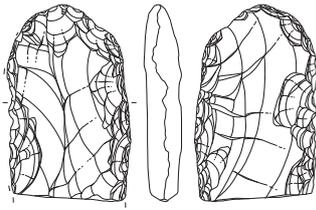
0388  
15B 1205SK  
安山岩 E 57.8g  
S=1/3



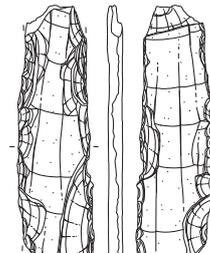
0389  
15B 1205SK  
安山岩 B 76.5g  
S=1/3



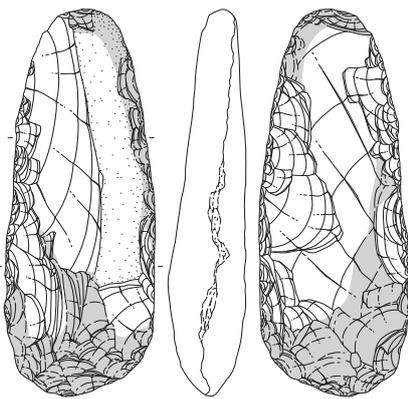
0390  
15B 1255SK  
安山岩 D 57.9g  
S=1/3



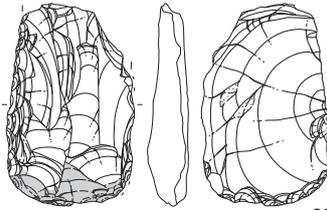
0391  
15Cb 3260SK  
安山岩 B 62.4g  
S=1/3



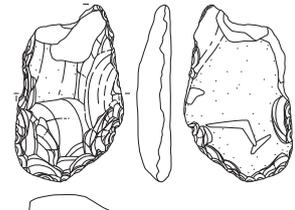
0392  
15Cb 3311SK  
結晶片岩 27.6g  
S=1/3



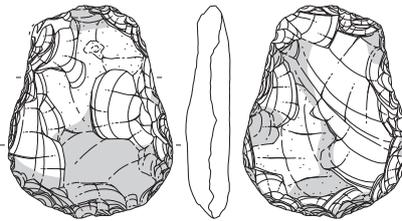
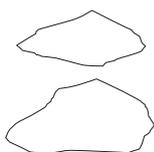
0393  
15Cb 3322SK  
安山岩 D 309.7g  
S=1/3



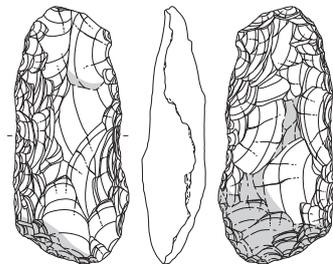
0394  
15Cb 3340SK  
砂質凝灰岩 65.4g  
S=1/3



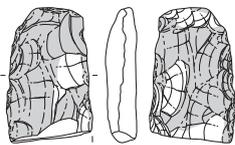
0395  
15Cb 3399SK  
泥質凝灰岩 46.0g  
S=1/3



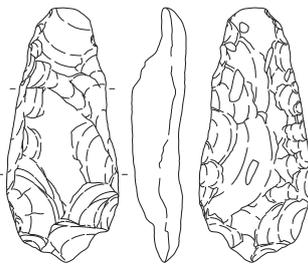
0396  
15Cb 3602SK  
泥質凝灰岩 111.3g  
S=1/3



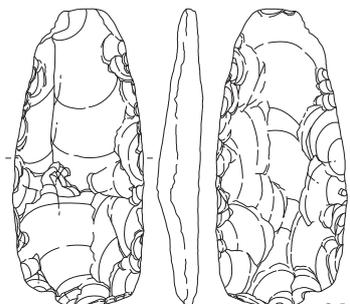
0397  
15Cb 3605SK  
泥質凝灰岩 116.6g  
S=1/3



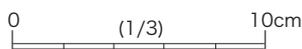
0398  
15Cb 3630SK  
安山岩 B 25.8g  
S=1/3



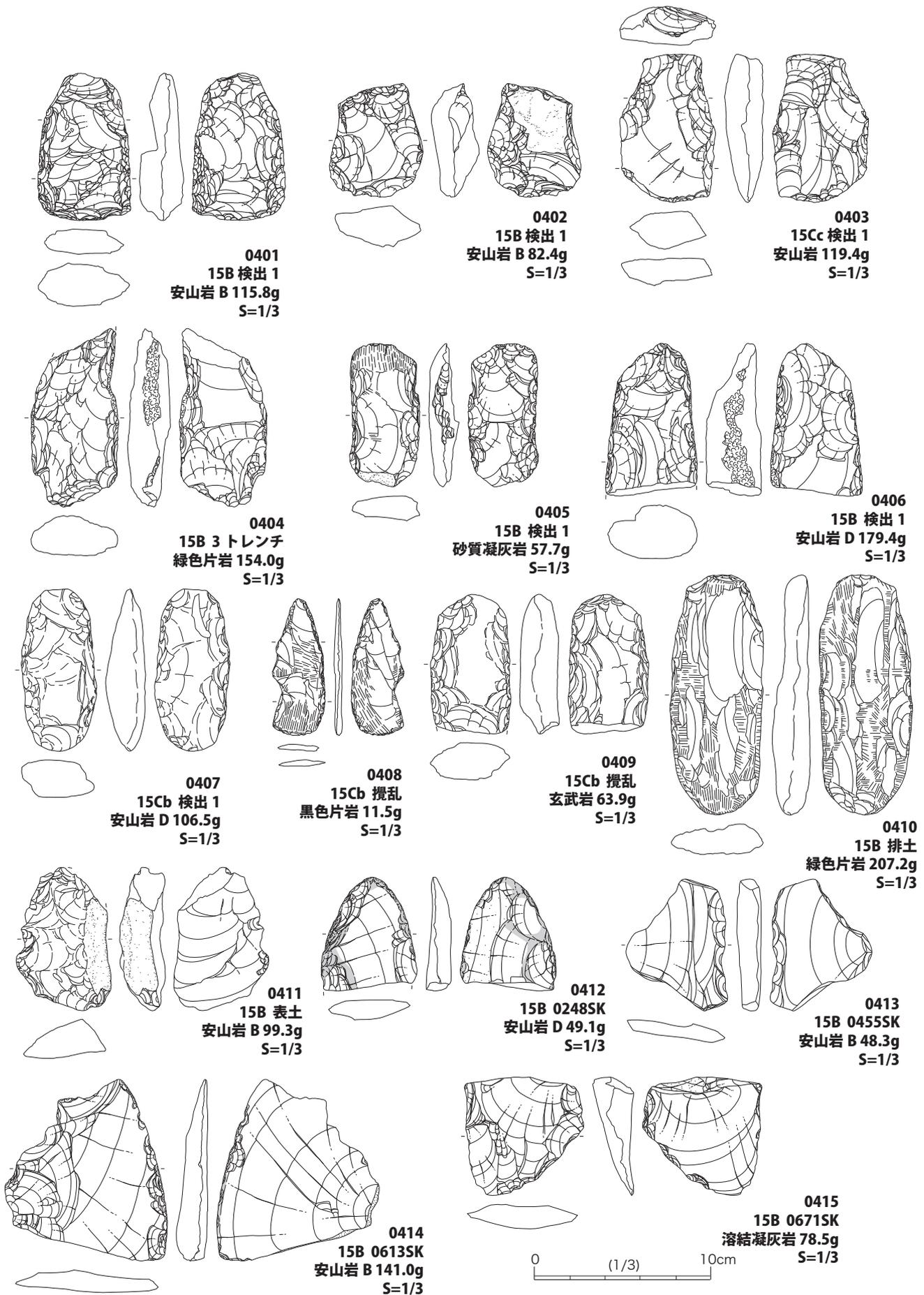
0399  
15B 3 トレンチ  
安山岩 D 102.7g  
S=1/2



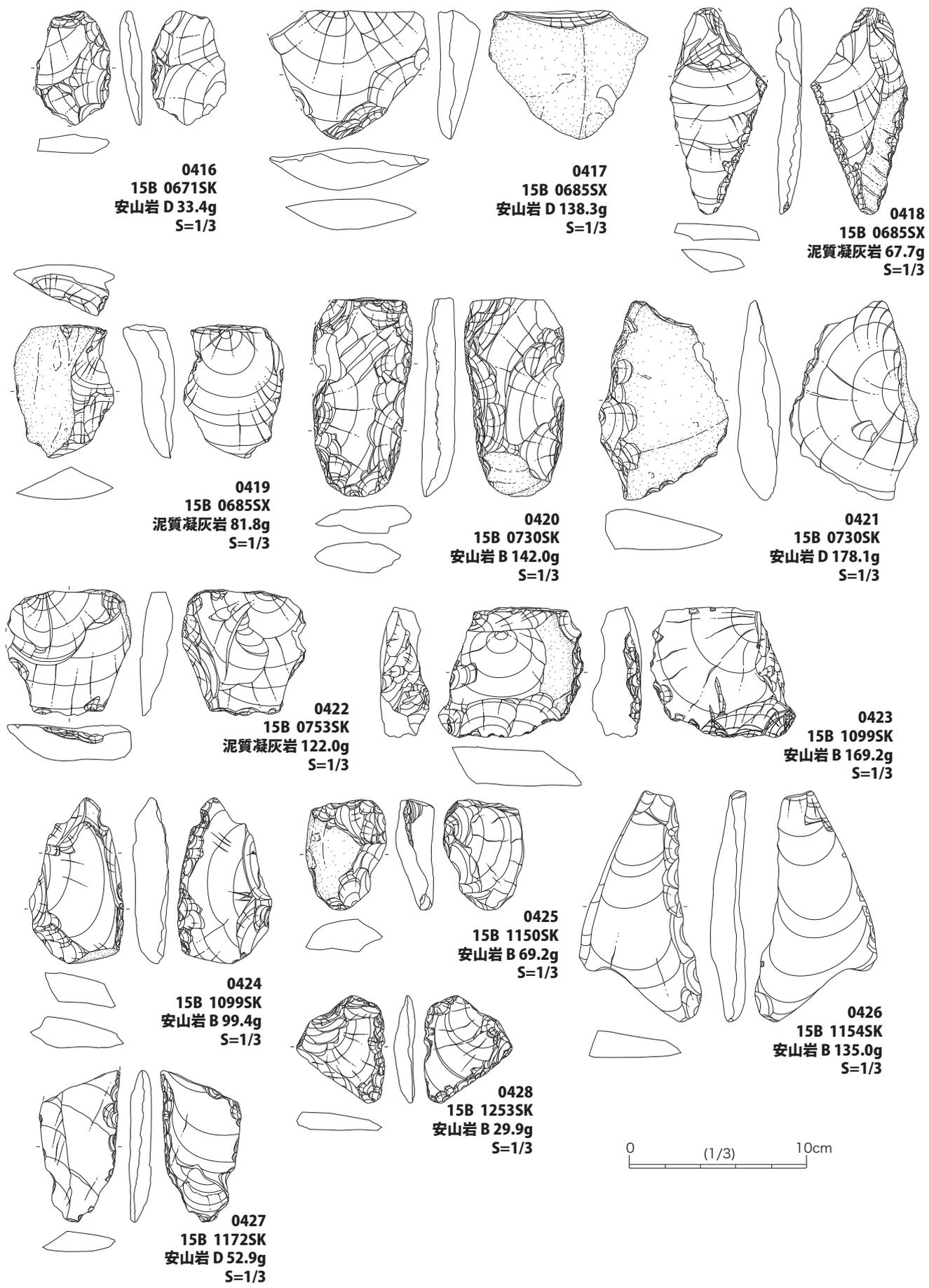
0400  
15Cb 検出 2  
安山岩 D 113.7g  
S=1/2



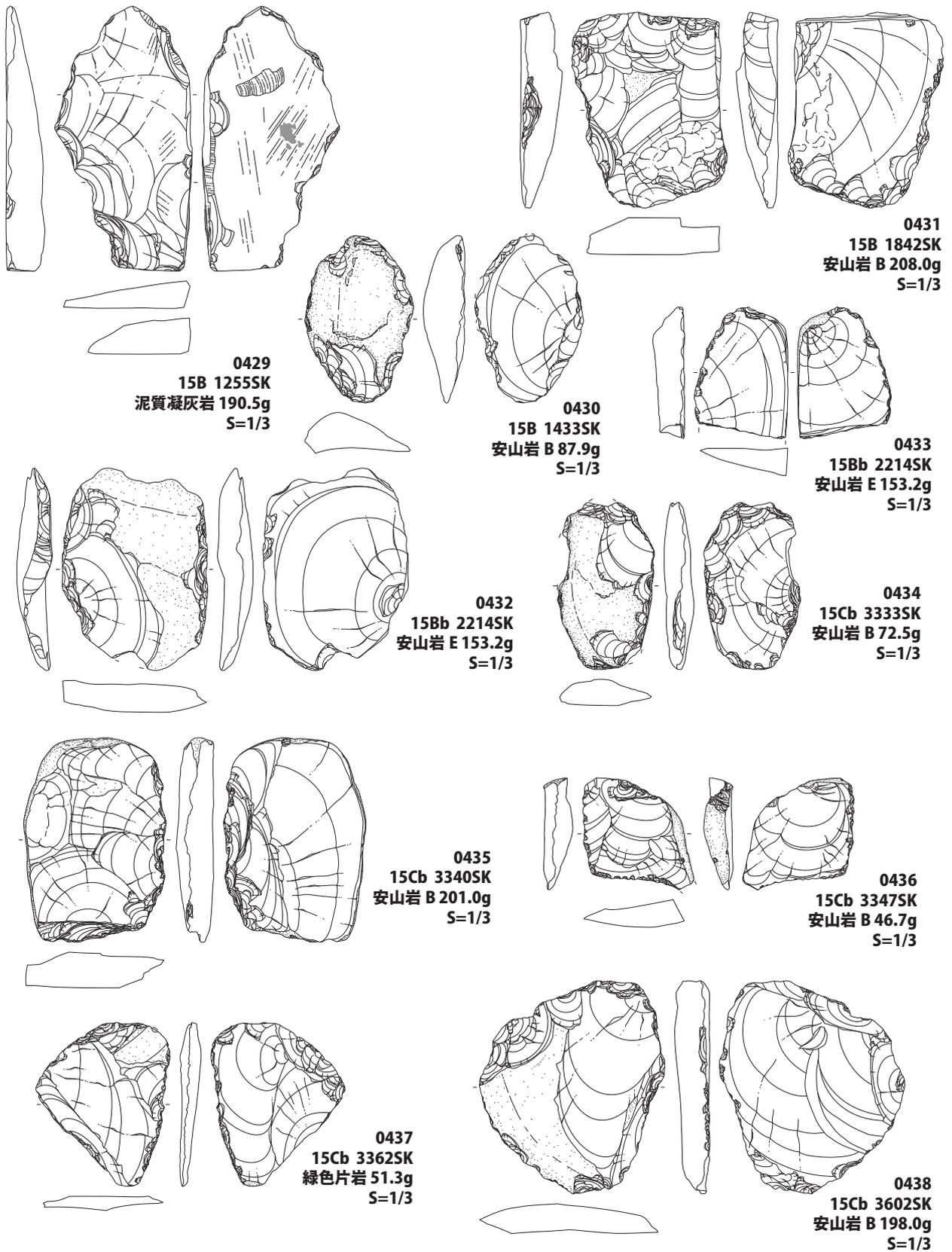
第 276 図 打製石斧



第 277 図 打製石斧・刃器

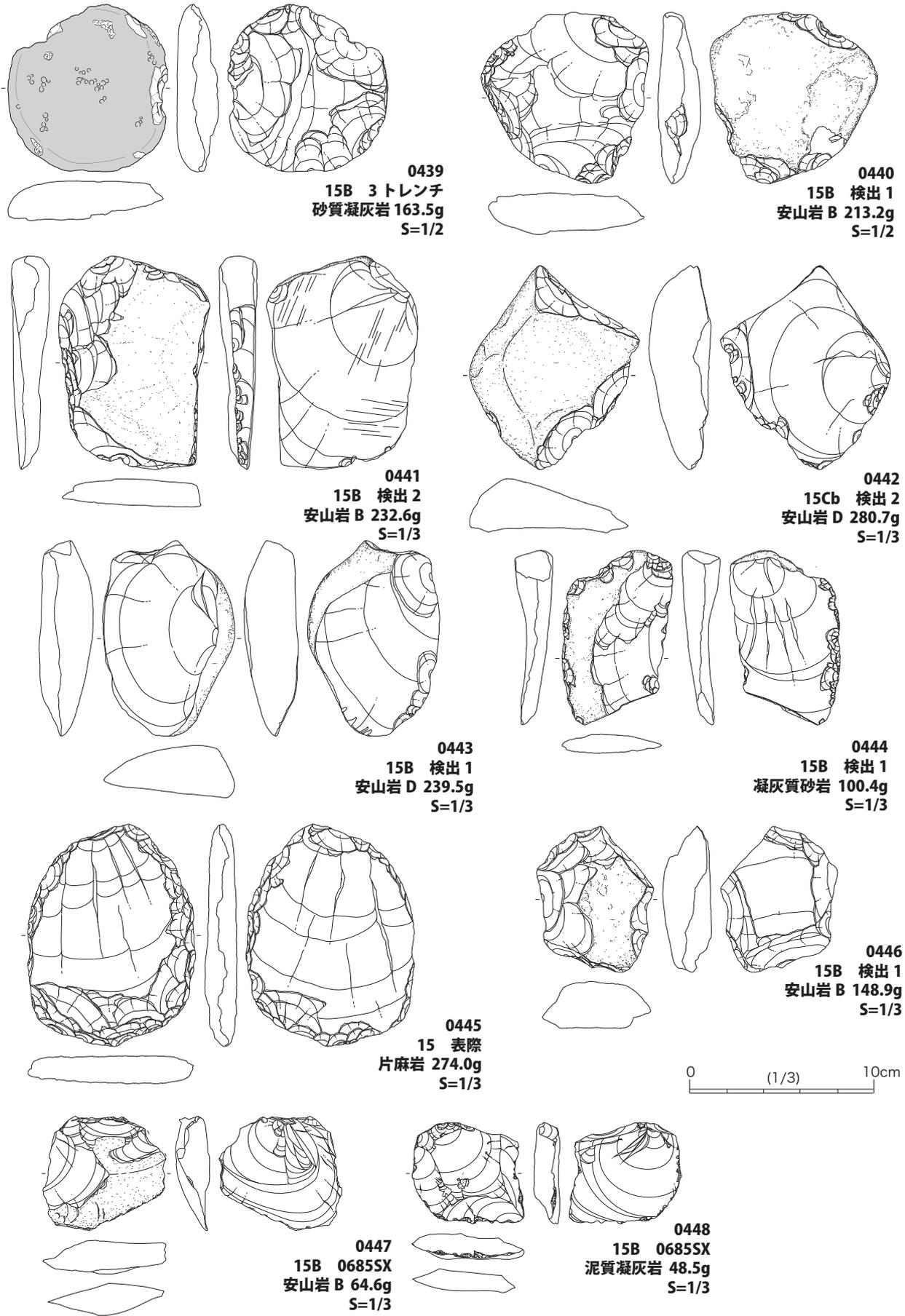


第 278 圖 刃器 (1)

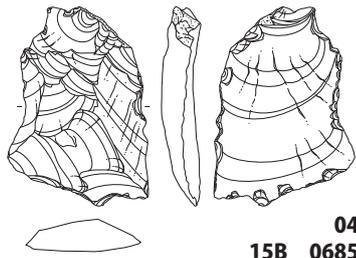


0 (1/3) 10cm

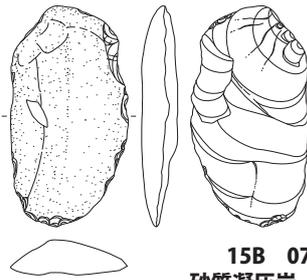
第 279 圖 刃器 (2)



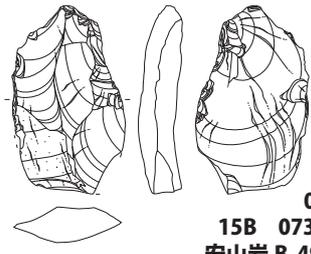
第 280 図 刃器・剥片類



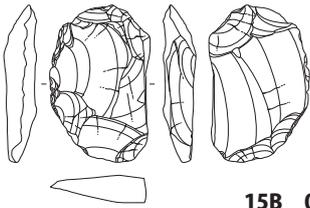
0449  
15B 0685SX  
安山岩 B 58.4g  
S=1/3



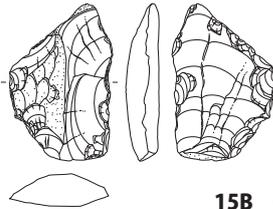
0450  
15B 0716SK  
砂質凝灰岩 55.9g  
S=1/3



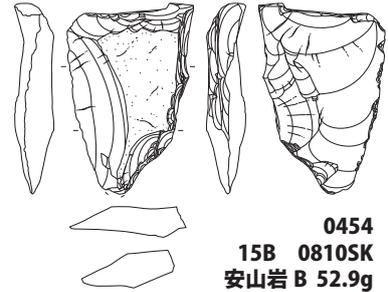
0451  
15B 0730SK  
安山岩 B 49.3g  
S=1/3



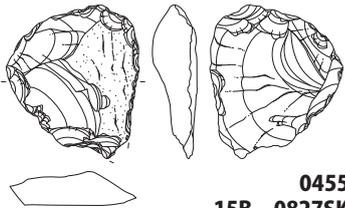
0452  
15B 0734SK  
安山岩 B 33.6g  
S=1/3



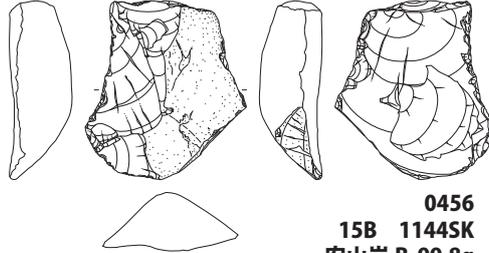
0453  
15B 0792SK  
泥質凝灰岩 31.7g  
S=1/3



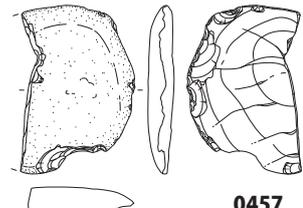
0454  
15B 0810SK  
安山岩 B 52.9g  
S=1/3



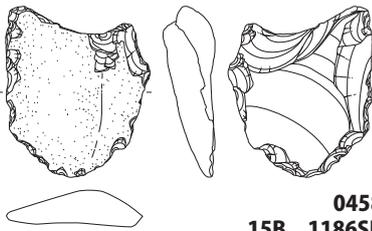
0455  
15B 0827SK  
安山岩 B 44.6g  
S=1/3



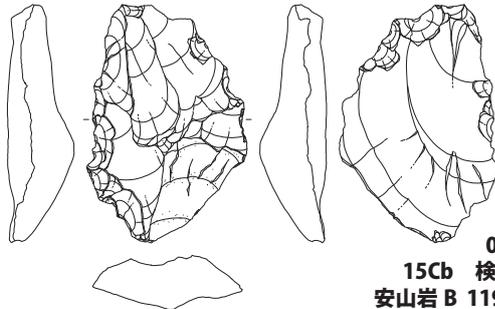
0456  
15B 1144SK  
安山岩 B 99.8g  
S=1/3



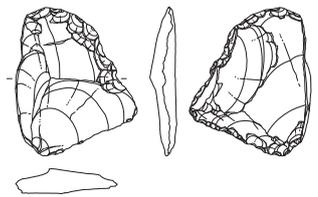
0457  
15B 1172SK  
泥質凝灰岩 31.4g  
S=1/3



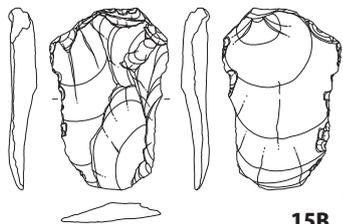
0458  
15B 1186SK  
安山岩 B 56.6g  
S=1/3



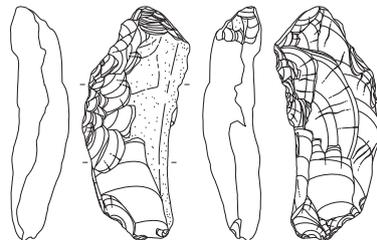
0459  
15Cb 検出 1  
安山岩 B 119.7g  
S=1/3



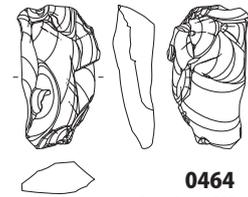
0460  
15Cb 検出 1  
安山岩 D 24.7g  
S=1/3



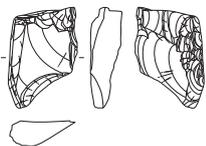
0461  
15B 表採  
安山岩 B 31.4g  
S=1/3



0462  
15B 250SK  
安山岩 B 84.4g  
S=1/3



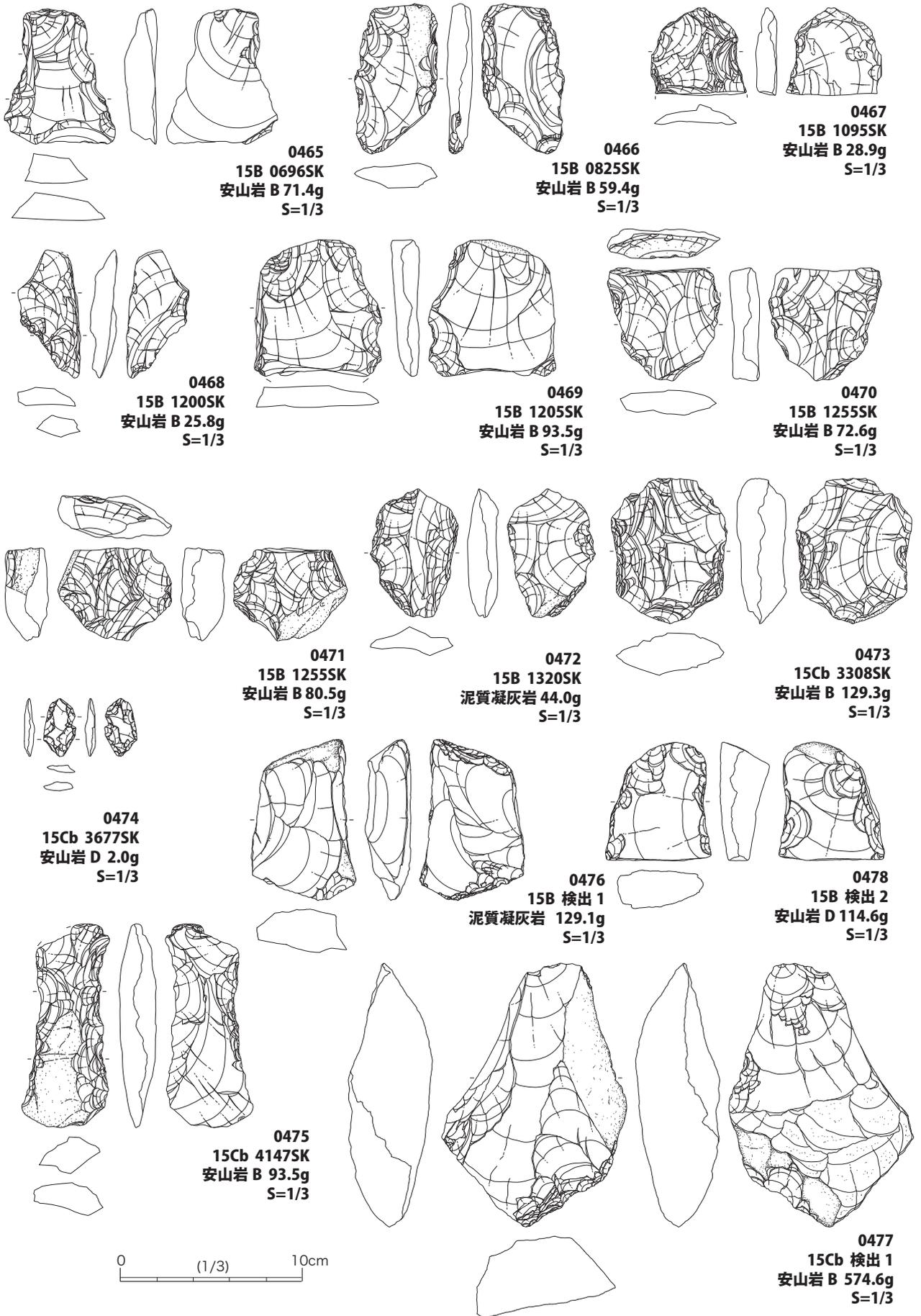
0464  
15B 250SK  
泥質凝灰岩 25.9g  
S=1/3



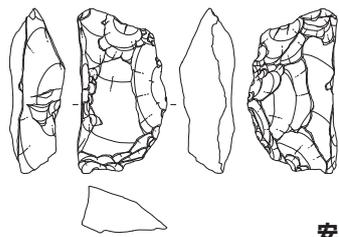
0463  
15B 250SK  
安山岩 B 13.0g  
S=1/3



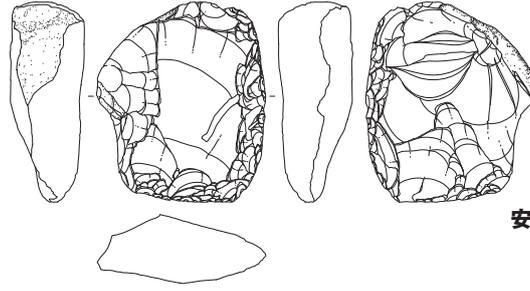
第 281 図 剥片類 (1)



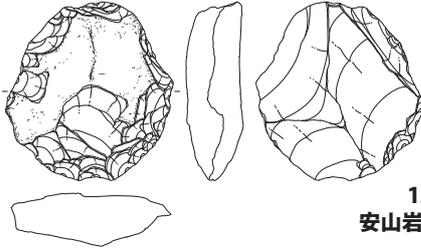
第 282 図 剥片類 (2)



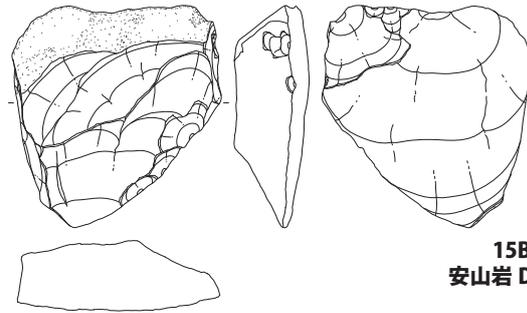
0479  
15Cb 検出 1  
安山岩 D 48.9g  
S=1/3



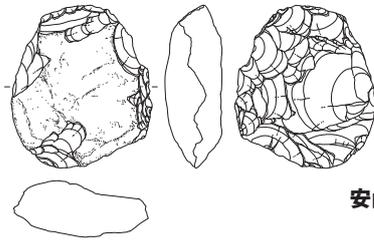
0480  
15Cb 検出 1  
安山岩 B 166.6g  
S=1/3



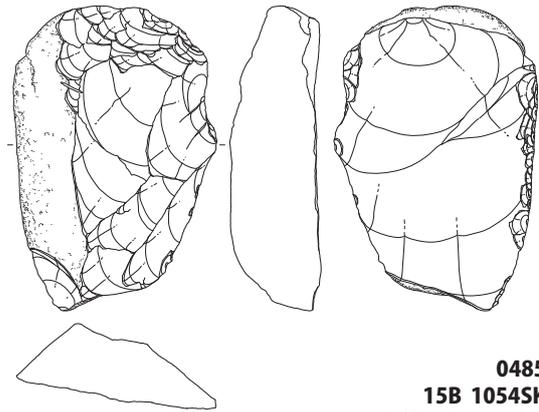
0481  
15B 検出 1  
安山岩 B 111.7g  
S=1/3



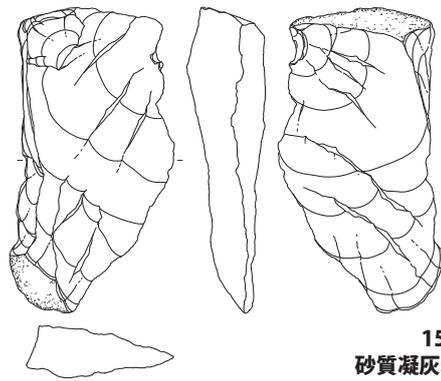
0483  
15B 0507SK  
安山岩 D 241.5g  
S=1/3



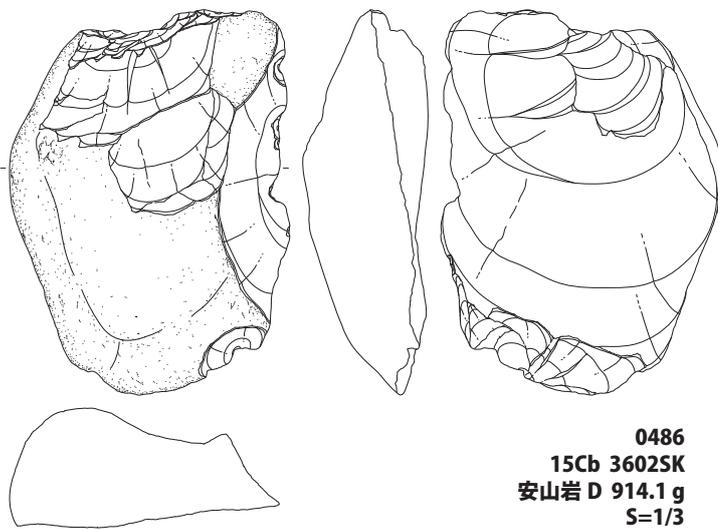
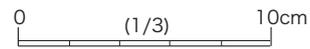
0482  
15Cb 検出 1  
安山岩 B 94.0g  
S=1/3



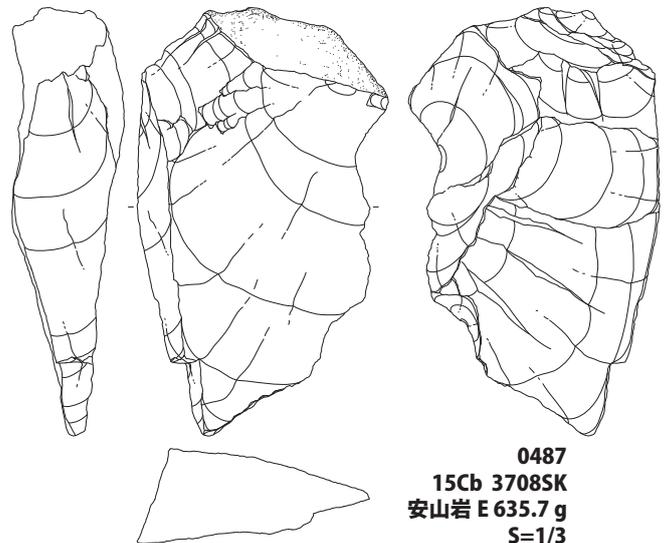
0485  
15B 1054SK  
泥質凝灰岩 346.9g  
S=1/3



0484  
15B 0717SK  
砂質凝灰岩 209.3g  
S=1/3

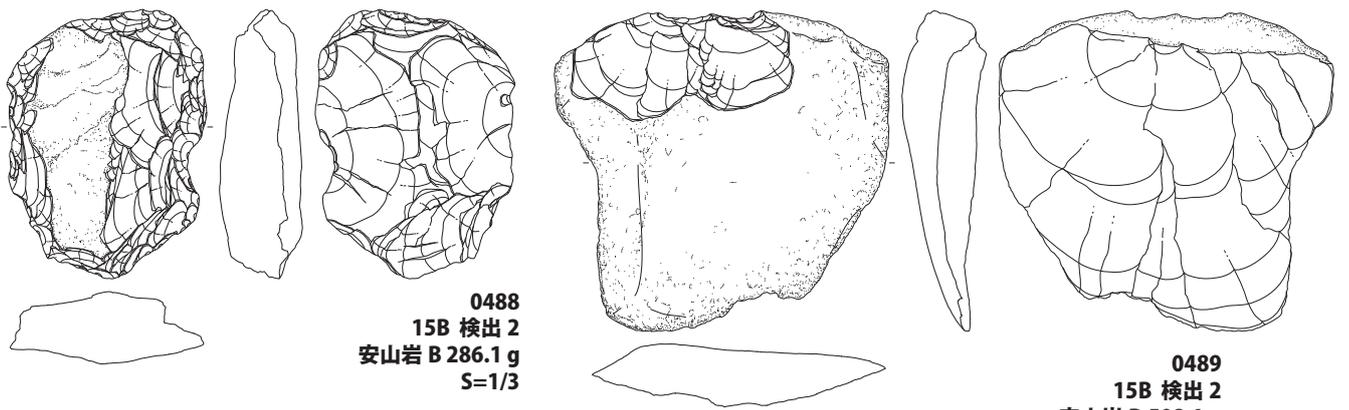


0486  
15Cb 3602SK  
安山岩 D 914.1g  
S=1/3



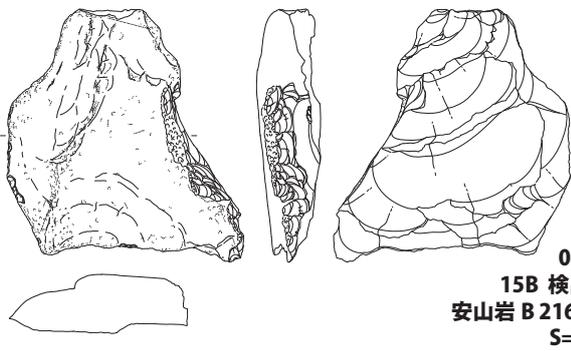
0487  
15Cb 3708SK  
安山岩 E 635.7g  
S=1/3

第 283 図 剥片類 (3)



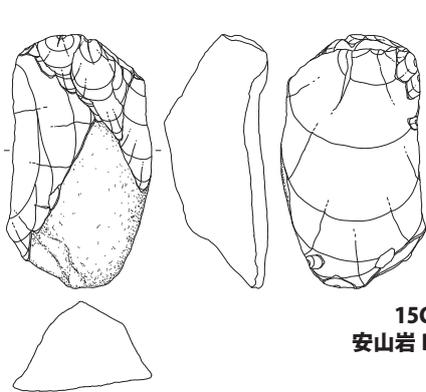
0488  
15B 検出 2  
安山岩 B 286.1 g  
S=1/3

0489  
15B 検出 2  
安山岩 D 508.1 g  
S=1/3



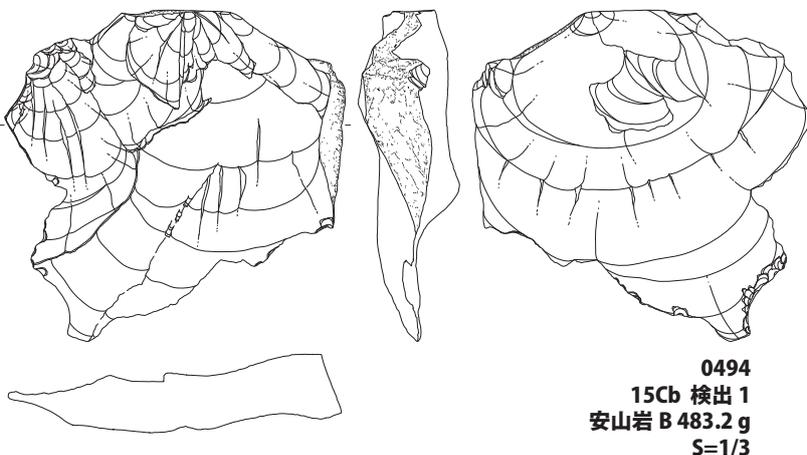
0490  
15B 検出 1  
安山岩 B 216.2g  
S=1/3

0491  
15B 検出 1  
安山岩 B 200.5 g  
S=1/3



0492  
15Cb 検出 1  
安山岩 D 229.9 g  
S=1/3

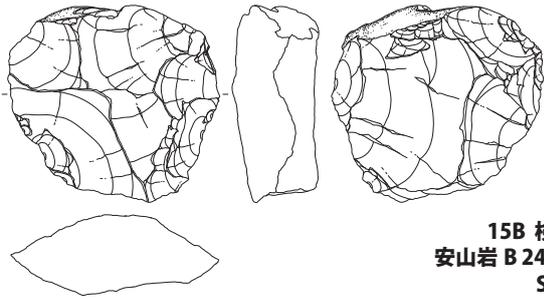
0493  
15B 検出 1  
安山岩 D 247.6 g  
S=1/3



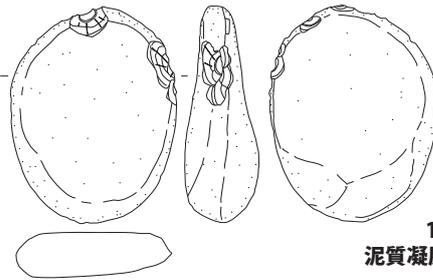
0494  
15Cb 検出 1  
安山岩 B 483.2 g  
S=1/3

0 (1/3) 10cm

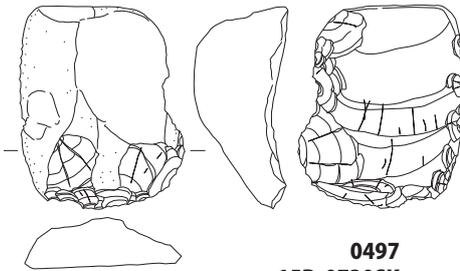
第 284 図 剥片類 (4)



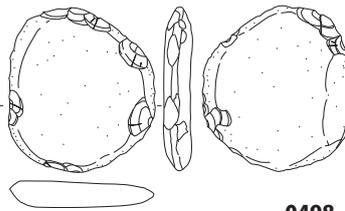
0495  
15B 検出 1  
安山岩 B 241.6 g  
S=1/3



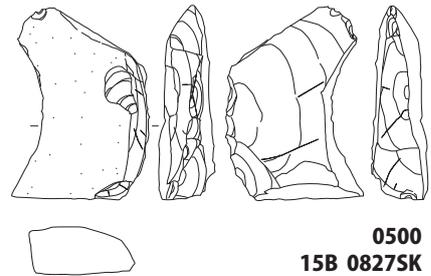
0496  
15B 0686SK  
泥質凝灰岩 155.9 g  
S=1/3



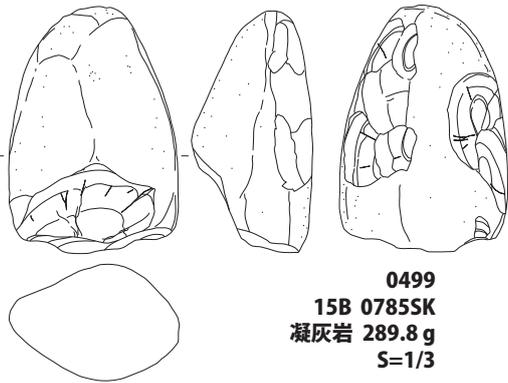
0497  
15B 0730SK  
安山岩 B 179.0g  
S=1/3



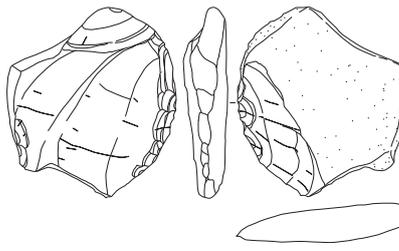
0498  
15B 0785SK  
安山岩 B 57.2 g  
S=1/3



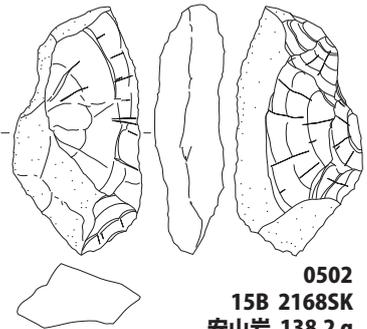
0500  
15B 0827SK  
安山岩 B 109.2 g  
S=1/3



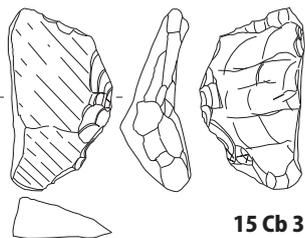
0499  
15B 0785SK  
凝灰岩 289.8 g  
S=1/3



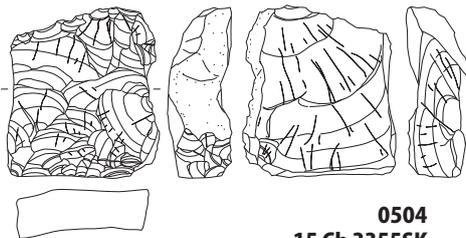
0501  
15B 2168SK  
安山岩 D 111.0 g  
S=1/3



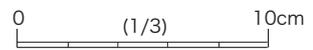
0502  
15B 2168SK  
安山岩 138.2 g  
S=1/3



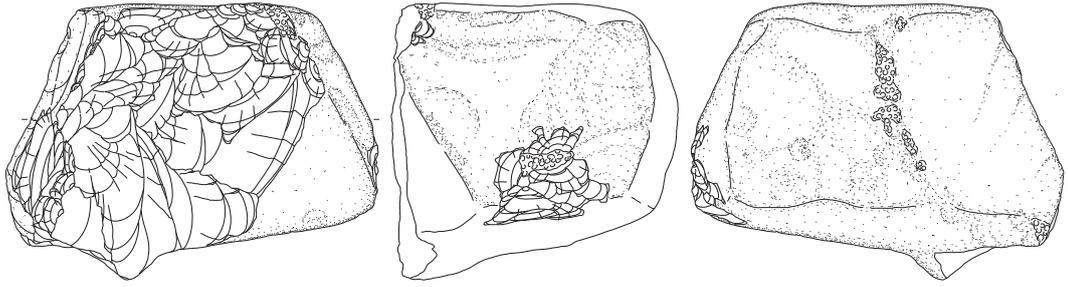
0503  
15 Cb 3344SK  
安山岩 B 70.4 g  
S=1/3



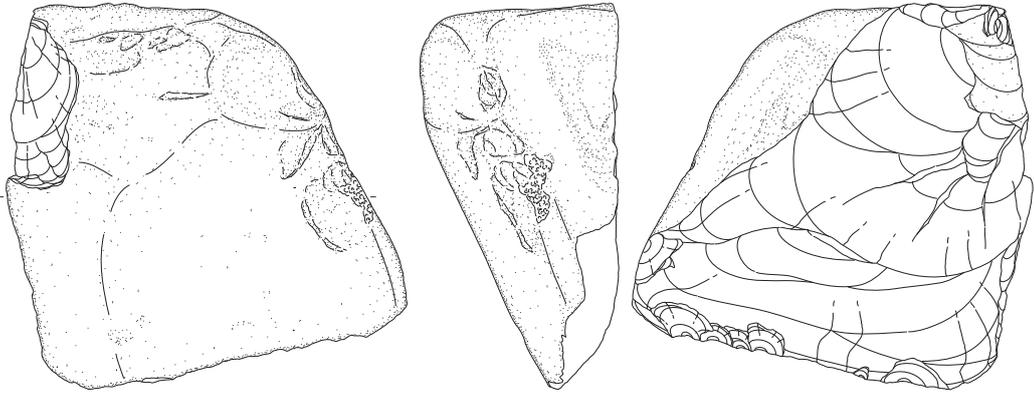
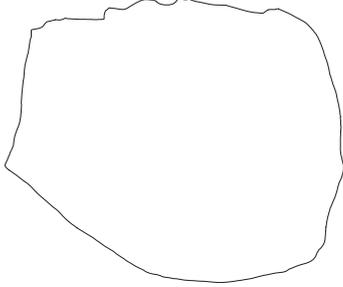
0504  
15 Cb 3355SK  
安山岩 B 141.9g  
S=1/3



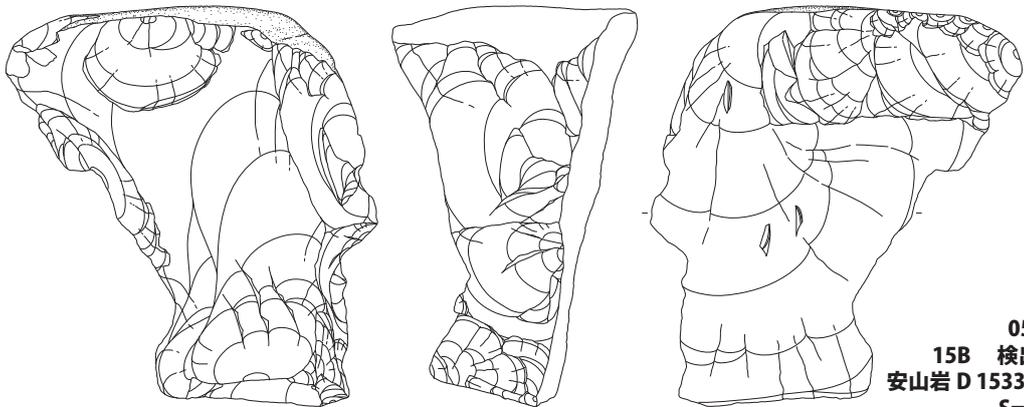
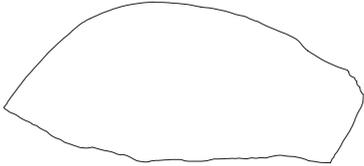
第 285 図 剥片類・礫器



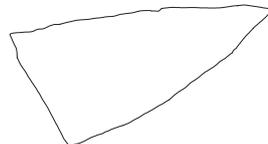
0505  
15B 1932SK  
安山岩 B 2570.9g  
S=1/3



0506  
\*\*\*\* 検出 1  
凝灰質砂岩 1941.7g  
S=1/3

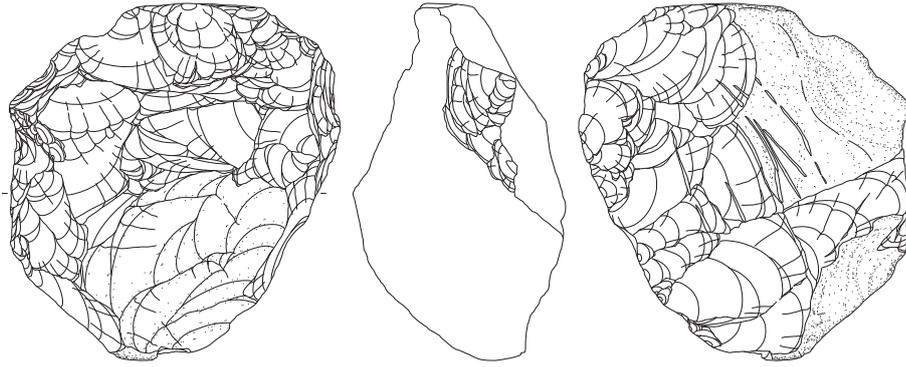


0507  
15B 検出 1  
安山岩 D 1533.1g  
S=1/3

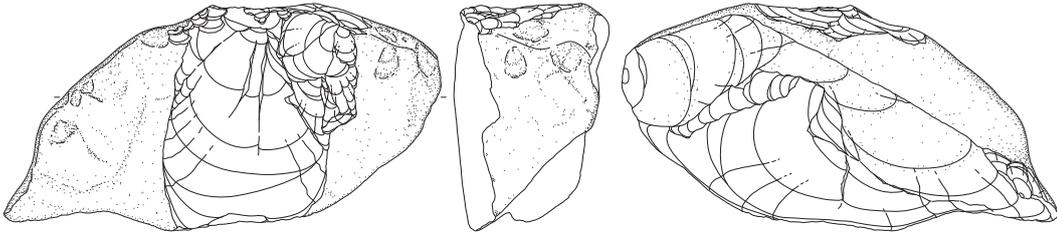
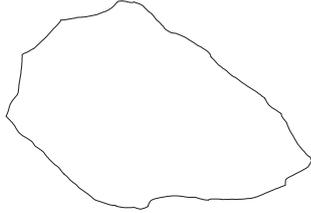


0 (1/3) 10cm

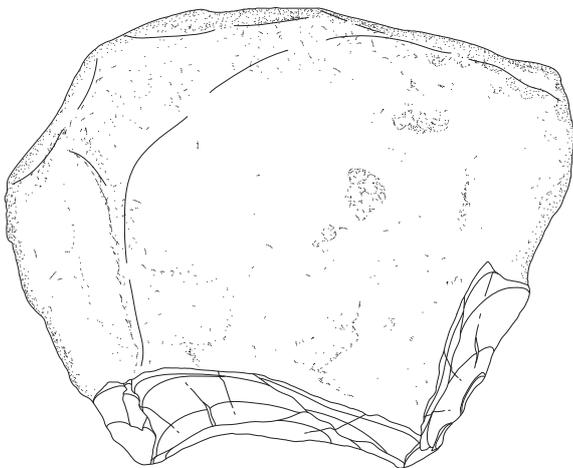
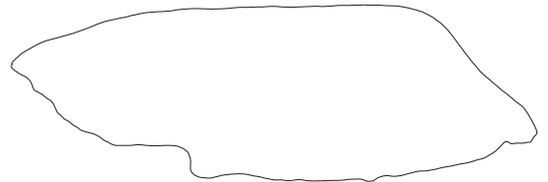
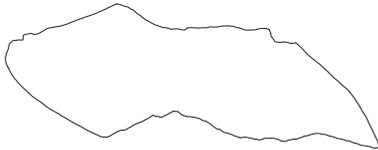
第 286 図 石核 (1)



0508  
15Cb 検出1  
安山岩 B 1404.7g  
S=1/3



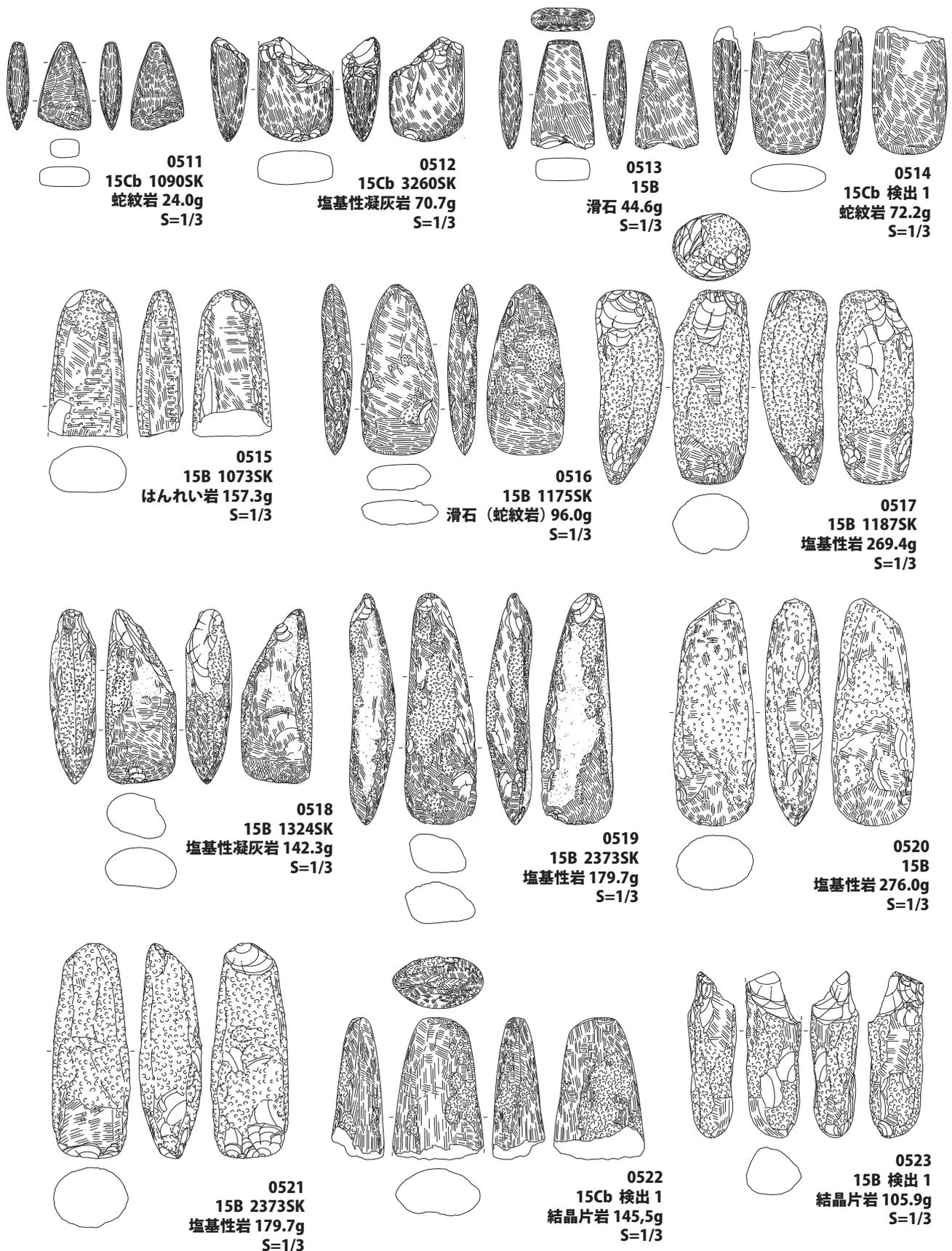
0509  
15Cb 風倒木  
凝灰質砂岩 804.9g  
S=1/3



0510  
15Cb 攪乱  
安山岩 D 3772.7g  
S=1/3

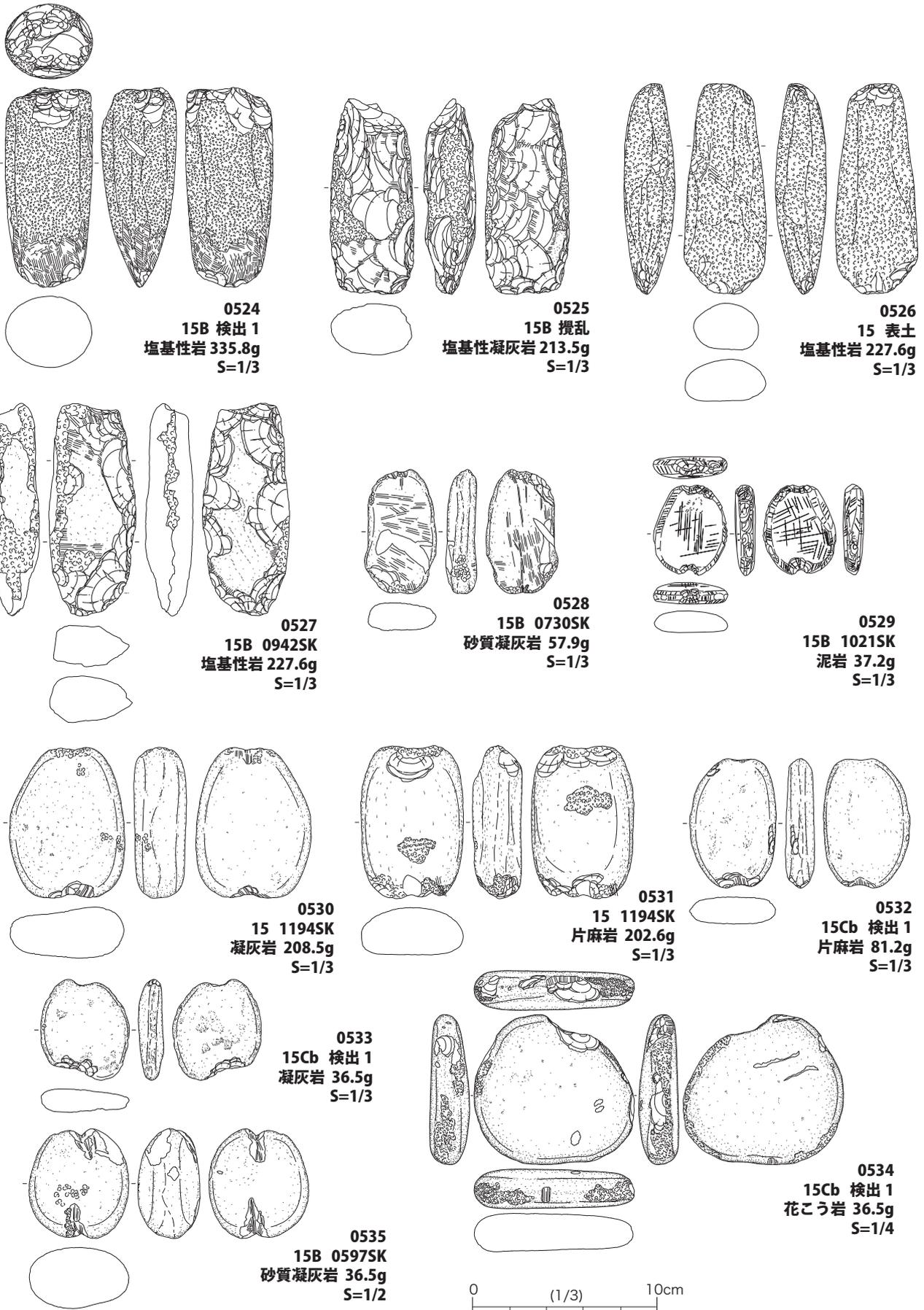
0 (1/3) 10cm

第 287 図 石核 (2)

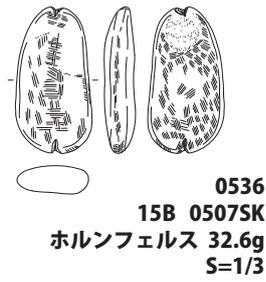


0 (1/3) 10cm

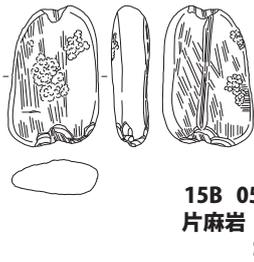
第 288 図 磨製石斧



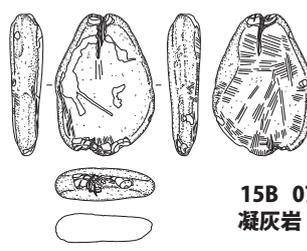
第 289 図 磨製石斧・打欠石錘



0536  
15B 0507SK  
ホルンフェルス 32.6g  
S=1/3



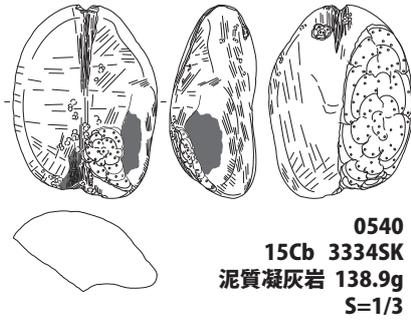
0537  
15B 0510SK  
片麻岩 43.7g  
S=1/3



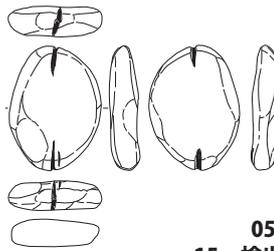
0538  
15B 0701SK  
凝灰岩 33.0g  
S=1/3



0539  
15Cb 3260SK  
泥質凝灰岩 8.1g  
S=1/3



0540  
15Cb 3334SK  
泥質凝灰岩 138.9g  
S=1/3



0541  
15 検出 1  
安山岩 32.3g  
S=1/3



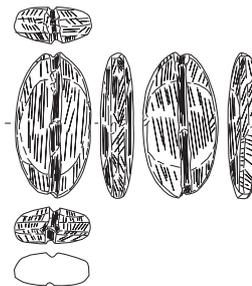
0542  
15 表採  
塩基性岩 81.6g  
S=1/3



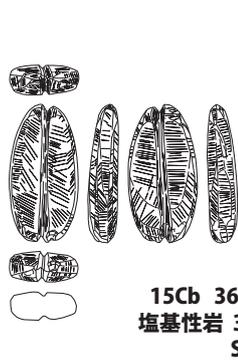
0543  
15B 1170SK  
塩基性岩 37.3g  
S=1/3



0544  
15B 3352SK  
緑色片岩 67.9g  
S=1/3



0545  
15Cb 3362SK  
塩基性岩 40.2g  
S=1/3



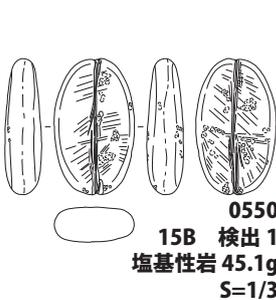
0547  
15Cb 3679SK  
塩基性岩 30.2g  
S=1/3



0548  
15B 検出 1  
塩基性凝灰岩 53.9g  
S=1/3



0549  
15Cb 検出 1  
砂質凝灰岩 14.3g  
S=1/3



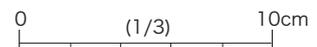
0550  
15B 検出 1  
塩基性岩 45.1g  
S=1/3



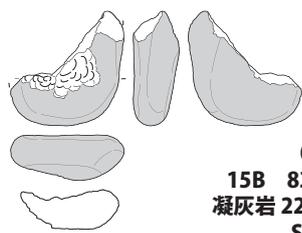
0551  
15B 表採  
砂質凝灰岩 45.1g  
S=1/3



0552  
15B 検出 1  
塩基性岩 23.8g  
S=1/3



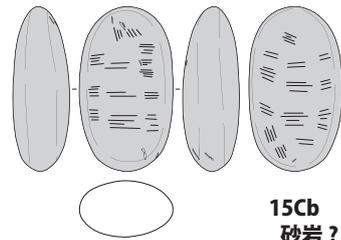
第 290 図 切目石錘・有溝石錘



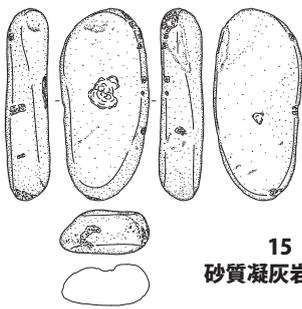
0553  
15B 830SK  
凝灰岩 225.0g  
S=1/6



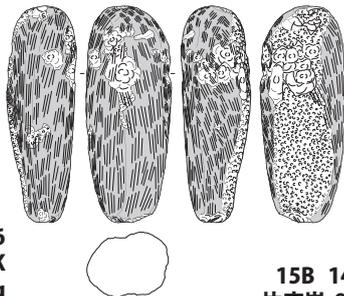
0554  
15B 1120SK  
泥質凝灰岩 239.3g  
S=1/6



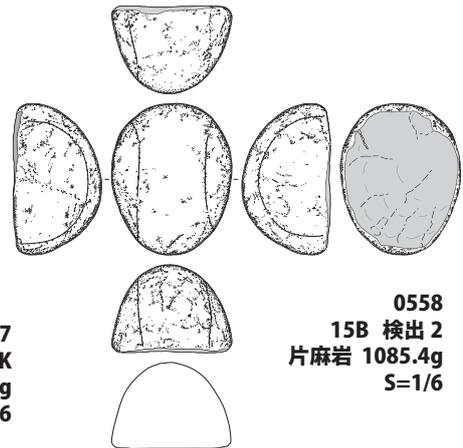
0555  
15Cb 3426SK  
砂岩? 654.0g  
S=1/6



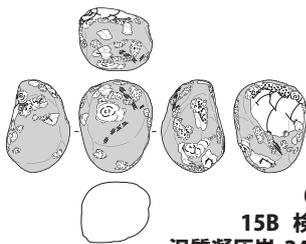
0556  
15 1194SK  
砂質凝灰岩 413.4g  
S=1/6



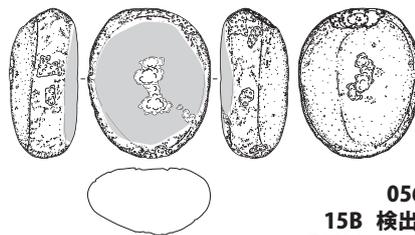
0557  
15B 1493SK  
片麻岩 930.2g  
S=1/6



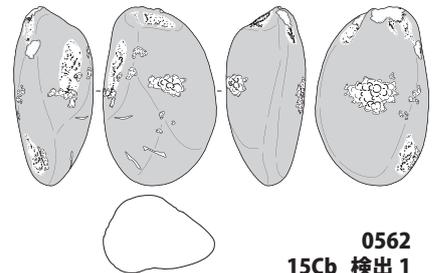
0558  
15B 検出 2  
片麻岩 1085.4g  
S=1/6



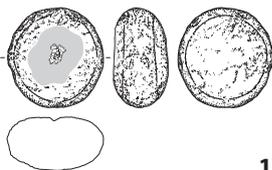
0559  
15B 検出 1  
泥質凝灰岩 241.3g  
S=1/6



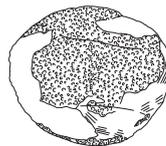
0561  
15B 検出 1  
凝灰岩 820.3g  
S=1/6



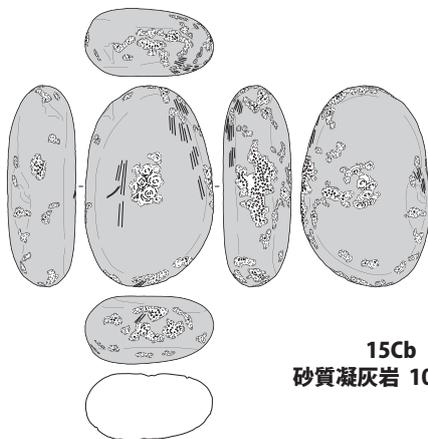
0562  
15Cb 検出 1  
安山岩 D 1012.4g  
S=1/6



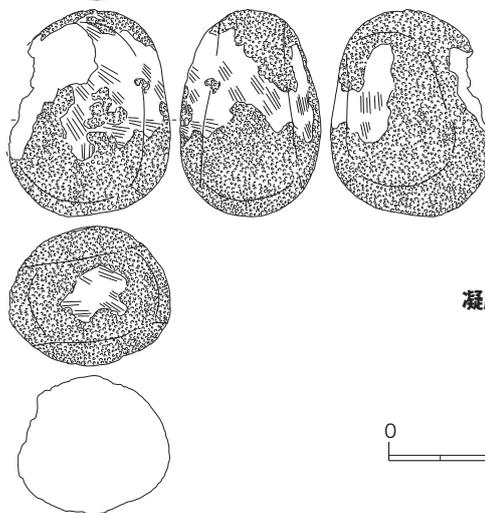
0560  
15B 検出 1  
閃綠岩 379.5g  
S=1/6



0564  
15Cb 検出 1  
凝灰岩 2743.2g  
S=1/6

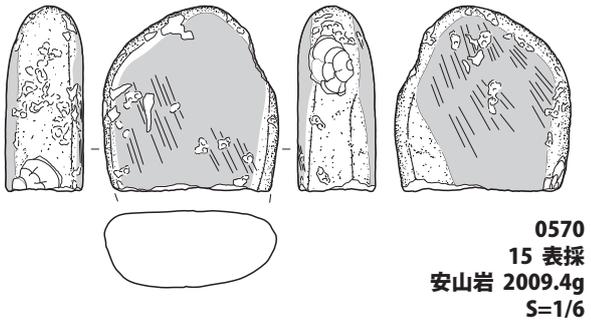
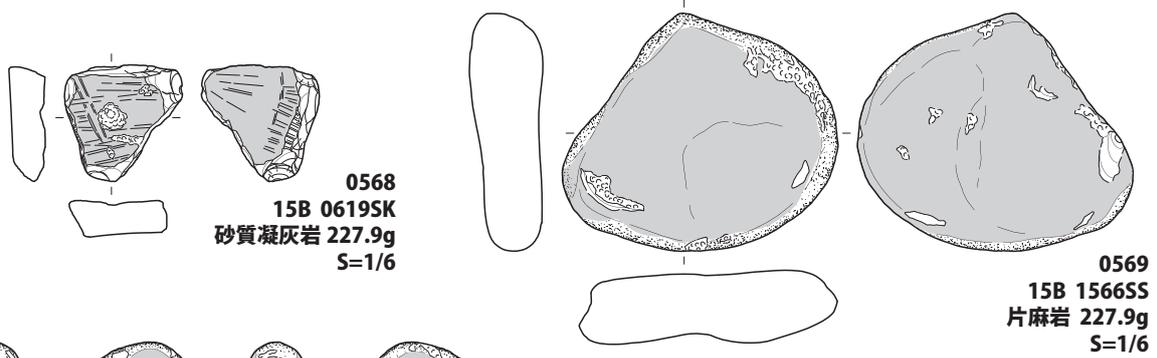


0563  
15Cb 検出 1  
砂質凝灰岩 1002.4g  
S=1/6

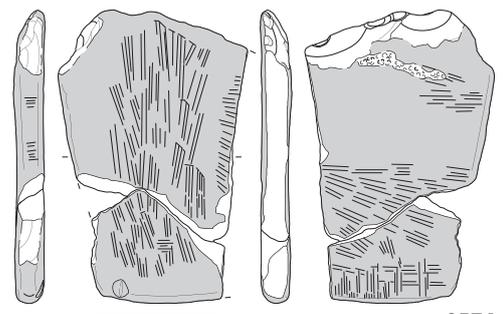
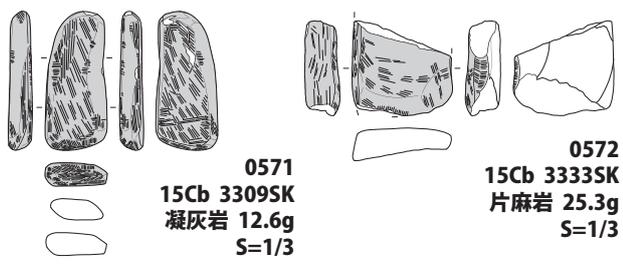


0 (1/6) 20cm

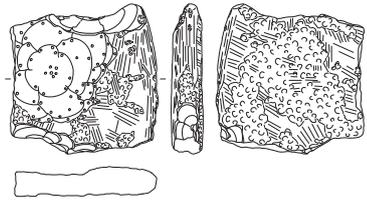
第 291 図 磨石敲石類



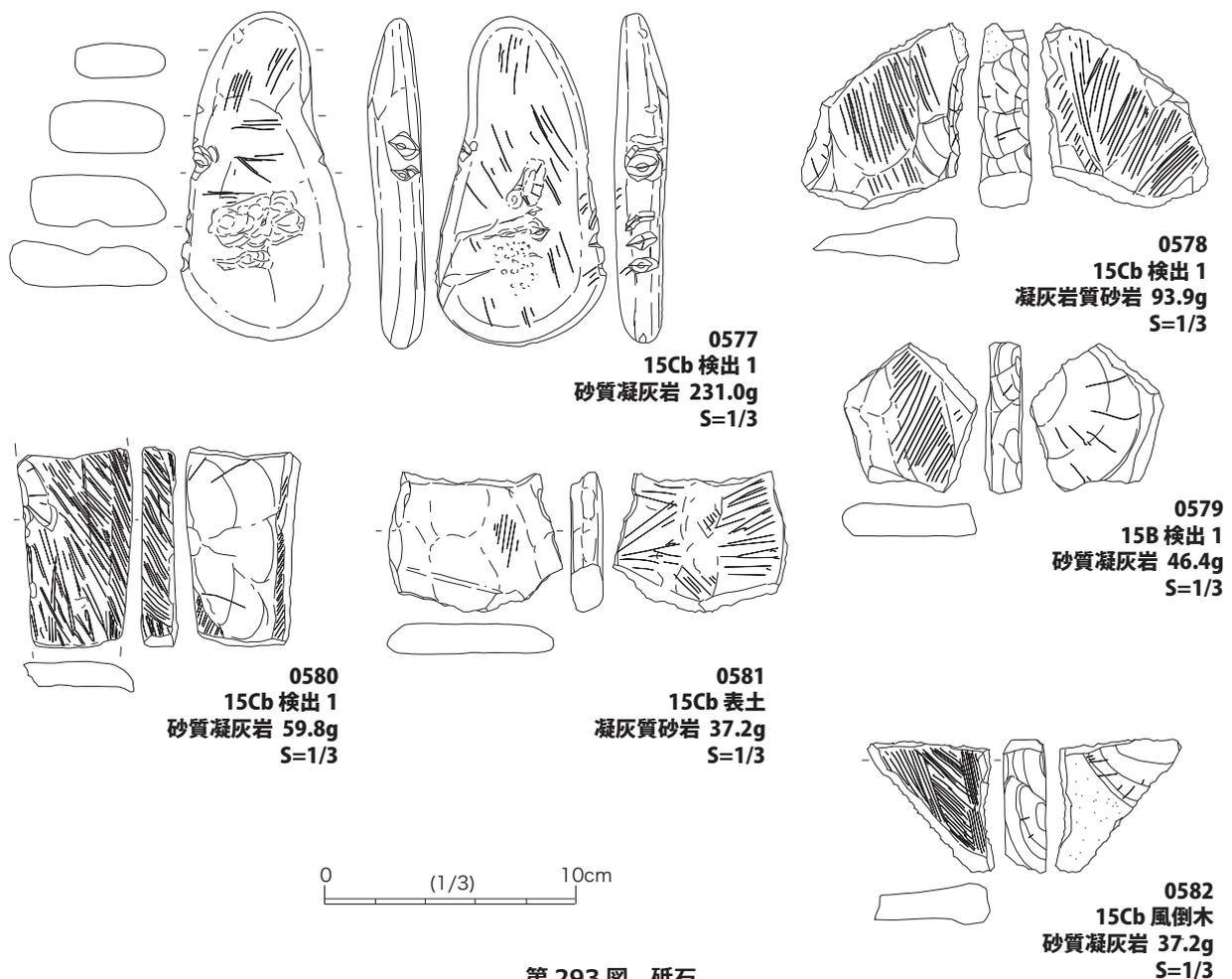
0 (1/6) 20cm



0 (1/3) 10cm



第 292 図 磨石・敲石類・石皿・台石類・砥石・擦切具



第 293 図 砥石

質凝灰岩 7 点 (計 5271.6g)、泥質凝灰岩 16 点 (計 2632.1g)、である。

#### (20) 打製石器対応原石【926】

石器素材に対応すると考えられる自然石である。遺跡内の堆積層に存在しているものが多いが、当時の境川岸で採集したものを遺跡内に集中して持ち込んだと考えられるものもある。

安山岩 A 1 点 (367.6g)、安山岩 B 207 点 (計 23090.8g)、安山岩 D 84 点 (計 40167.0g)、安山岩 E 6 点 (計 1351.1g)、その他安山岩 93 点 (計 233757.2g)、砂質凝灰岩 165 点 (計 10293.3g)、泥質凝灰岩 102 点 (計 6764.7g)、凝灰岩 203 点 (計 169111.9g)、凝灰質砂岩 32 点 (計 8282.1g)、凝灰質泥岩 7 点 (計 717.7g)、珪質岩 2 点 (計 422.1g)、泥岩 2 点 (40.9g)、玄武岩 1 点 (6.5g)、片麻岩 19 点 (計 34030.5g) 花こう岩 1 点 (5.0g)、である。

#### (21) 磨製石斧【総計 30】

【定角式 7】 84・113・511～514

【非定角 22】 132・216・515～524・526

定角式は側面に面形成の認められるものである。石材は、塩基性岩 1 点 (105.1g)、砂質凝灰岩 1 点

(19.6g)、蛇紋岩 2 点 (計 96.2g)、滑石 1 点 (44.6g)、塩基性凝灰岩 1 点 (70.7g)、変玄武岩 1 点 (320.8g) である。

非定角としたのは、側面に面形成の認められないものである。乳棒状石斧などもここに含まれる。石材は、塩基性岩 14 点 (計 2452.9g)、玄武岩 3 点 (359.2g)、塩基性凝灰岩 1 点 (142.3g)、結晶片岩 1 点 (145.5g)、滑石もしくは蛇紋岩 1 点 (96.0g)、ハンレイ岩 1 点 (157.3g)、緑色片岩 1 点 (27.7g)、である。

#### (22) 磨製石斧製作上【2】

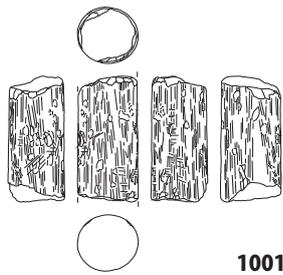
525・527

敲打によるいわゆる半製品の状態で流通したものと考えられるもので、各遺跡 (集落) で研磨調整などを行ったことが窺えられる資料である。非定角の磨製石斧に対応する。塩基性凝灰岩 1 点 (213.5g) と塩基性岩 (223.4g) である。

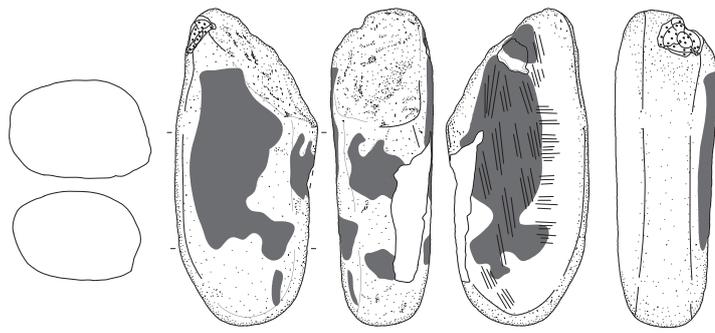
#### (23) 打欠石錘【15】

27・36・80・243・528～534

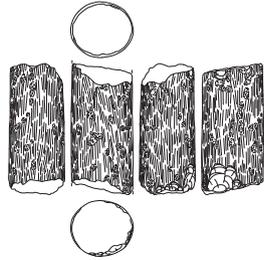
主に長軸の両端を、それぞれ剥離、あるいは両極打撃によって打ち欠きが施されたものである。使用石材は、安山岩 E1 点 (119.9g)、砂質凝灰岩 4 点 (計



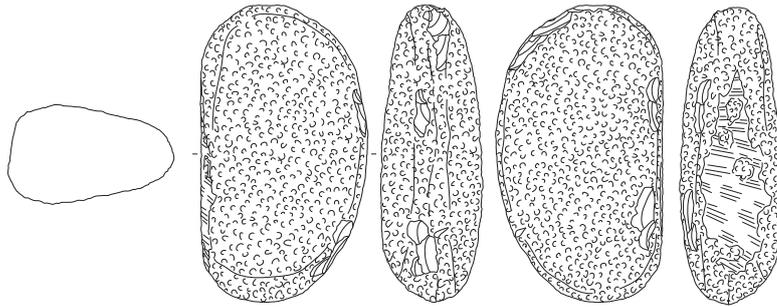
1001  
15B 0788SI  
結晶片岩 368.4g  
S=1/6



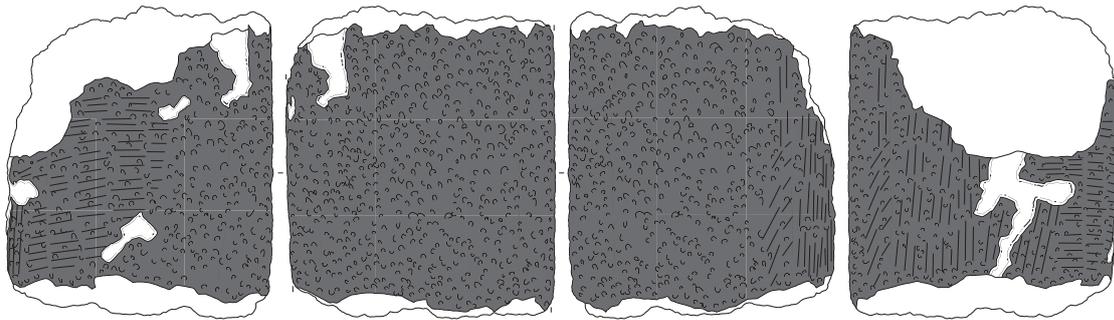
1003  
15B 0790SI  
凝灰岩 3181.0g  
S=1/6



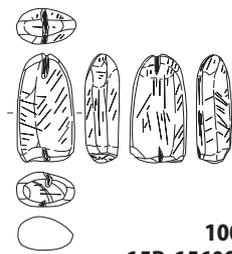
1002  
15Cb 3692SK  
結晶片岩 377.2g  
S=1/6



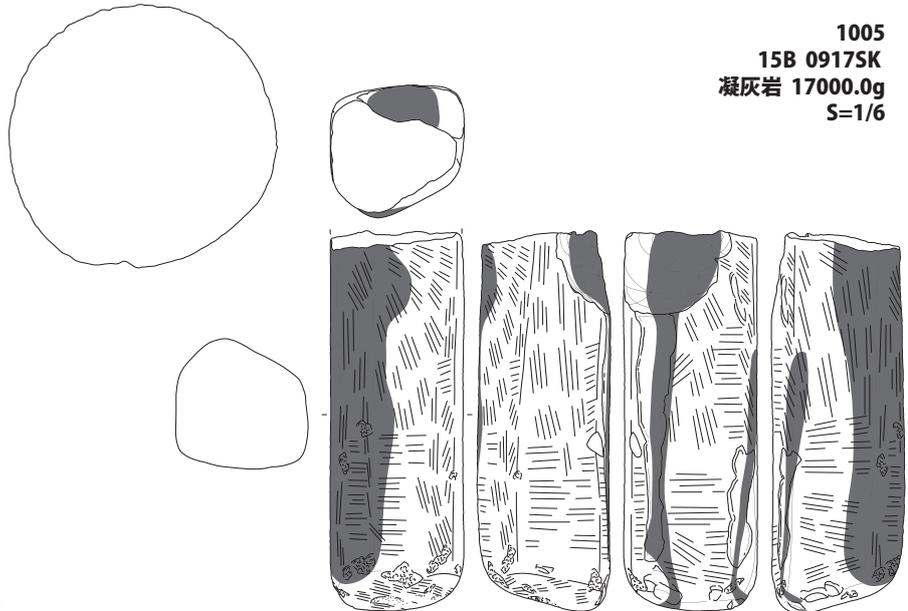
1004  
15B 0790SI  
片麻岩 460.9g  
S=1/6



1005  
15B 0917SK  
凝灰岩 17000.0g  
S=1/6



1006  
15B 1560SK  
泥質凝灰岩 10.1g  
S=1/3

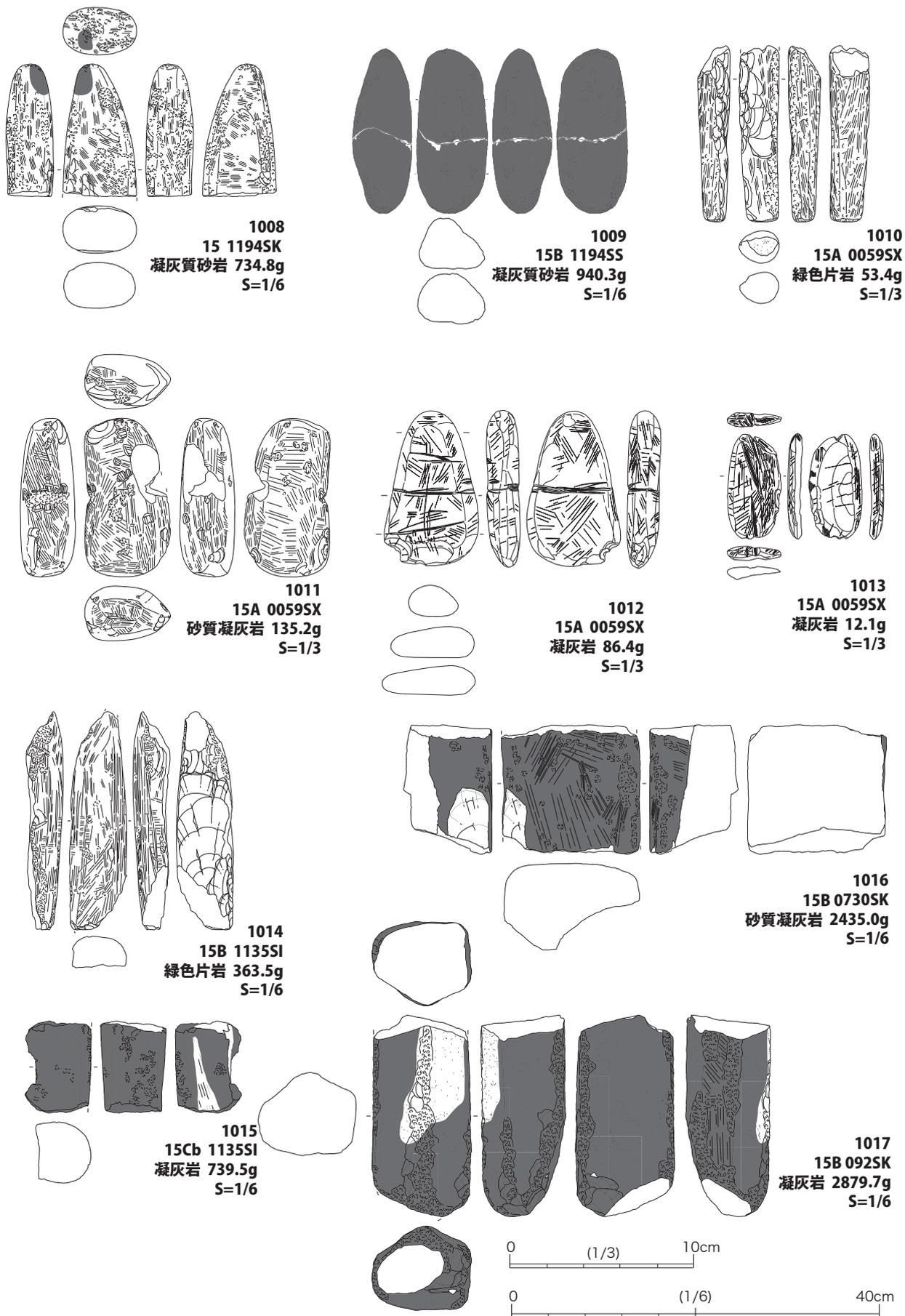


1007  
15B 1302SK  
凝灰岩 5700.0g  
S=1/6

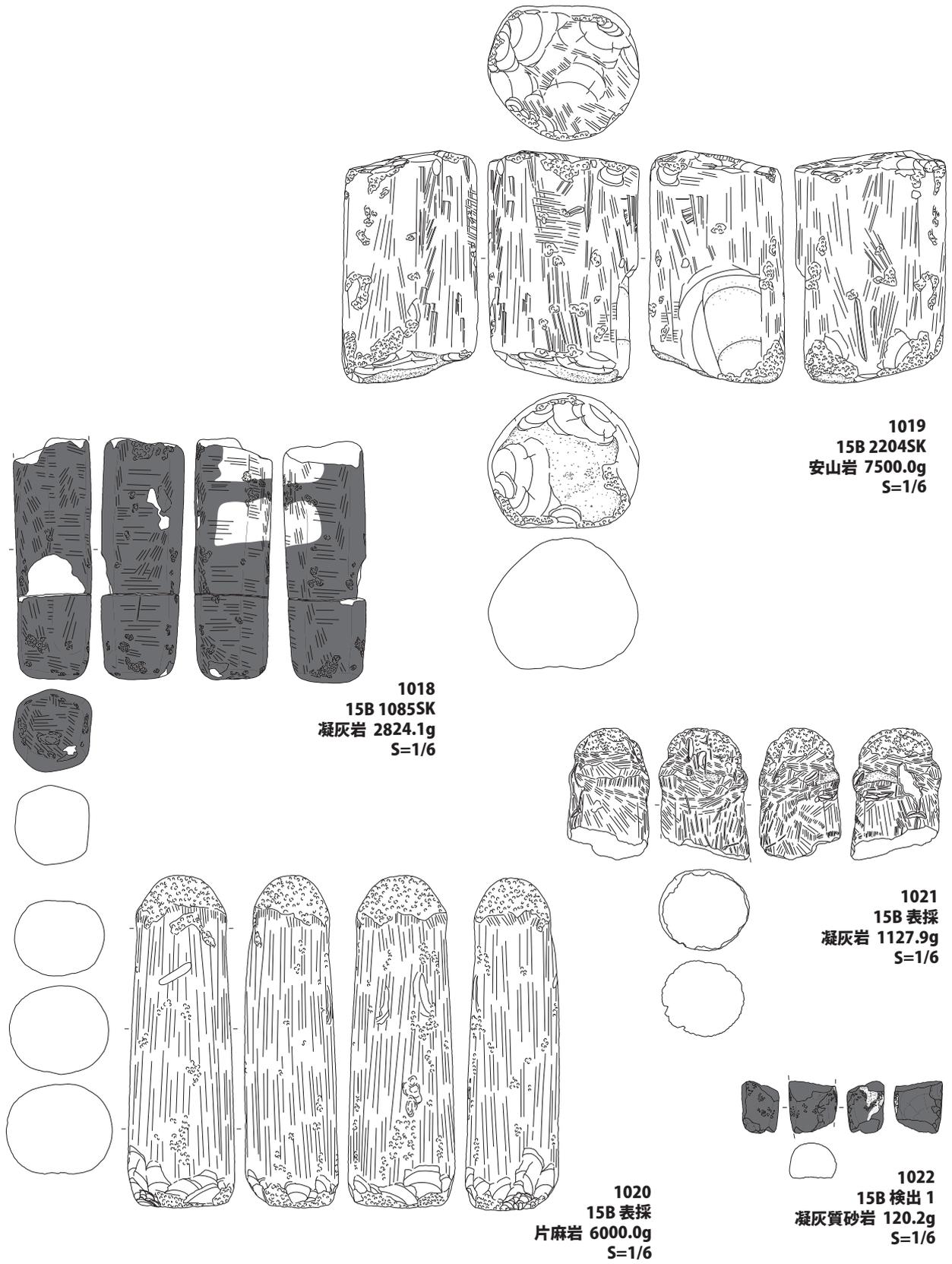
0 (1/3) 10cm

0 (1/6) 40cm

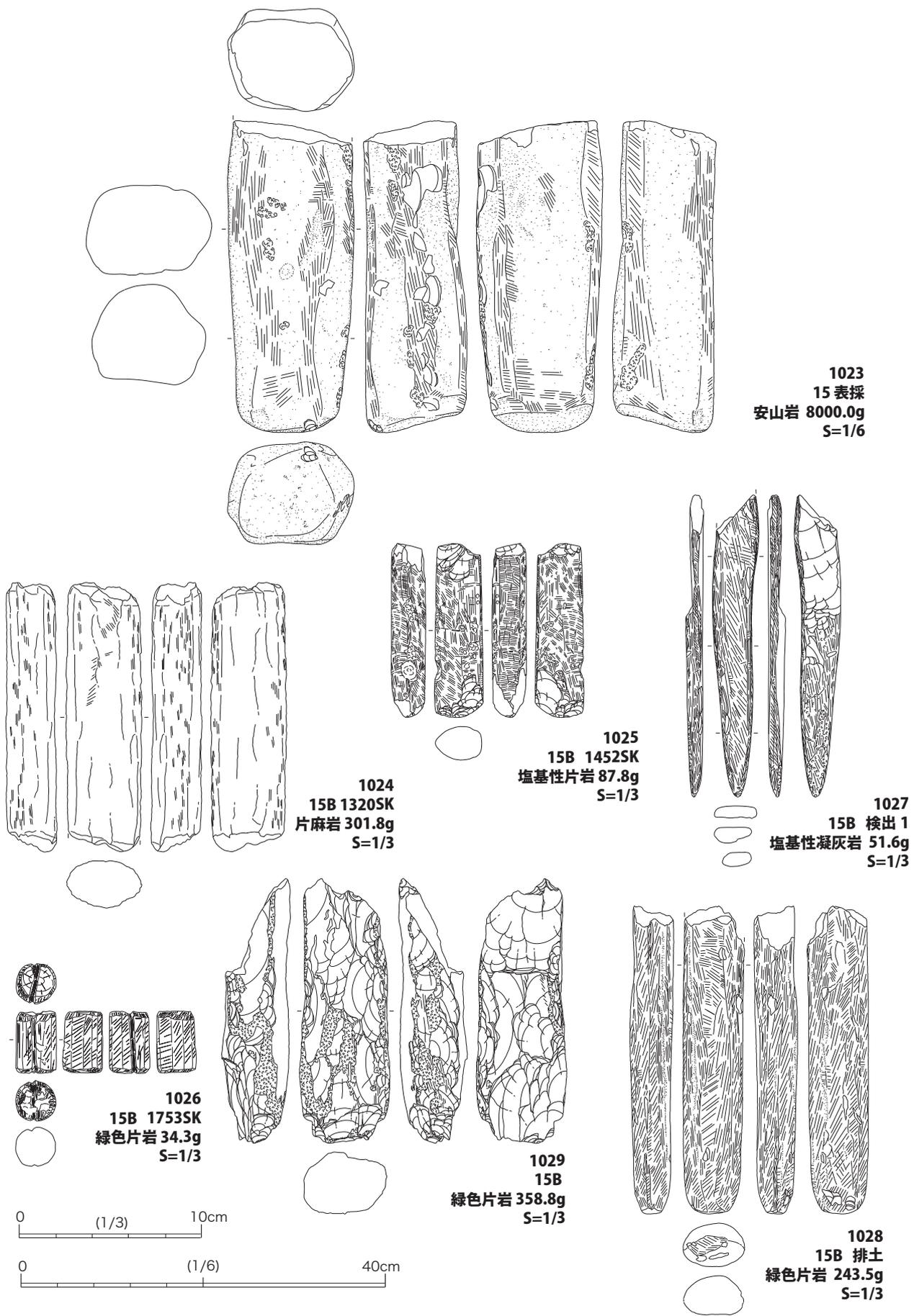
第 294 圖 大型石棒・石冠・岩偶岩版類



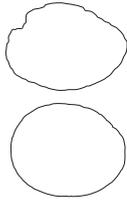
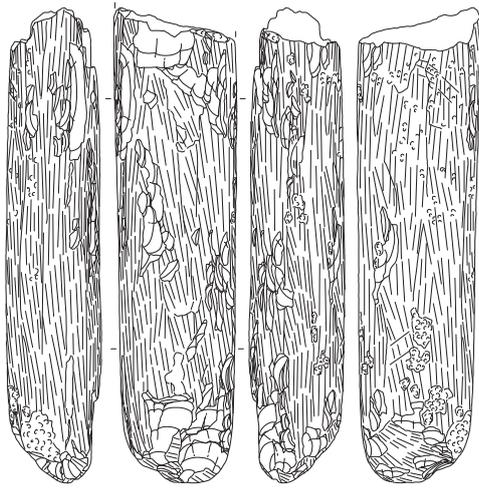
第 295 圖 大型石棒・石冠・岩偶岩版類・石棒石刀類



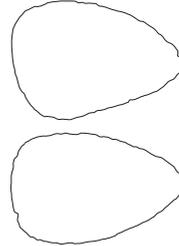
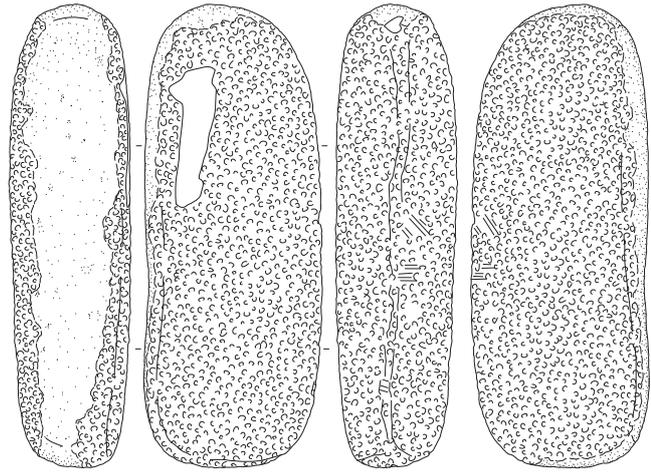
第 296 図 大型石棒



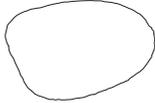
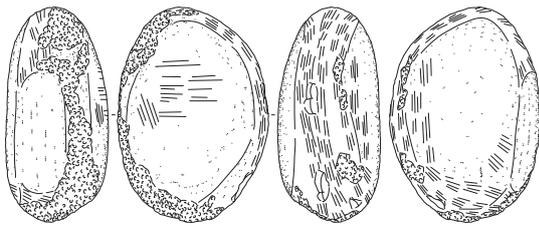
第 297 図 大型石棒・石棒石刀類



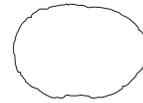
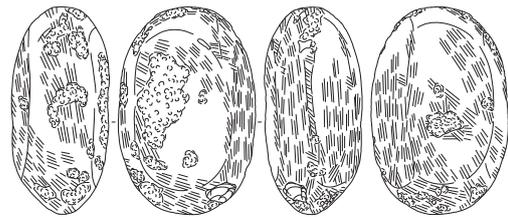
1030  
15Cb  
結晶片岩 555.2g  
S=1/3



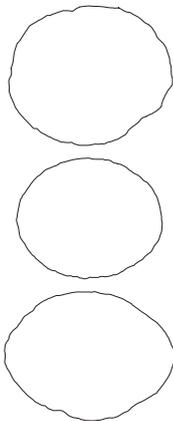
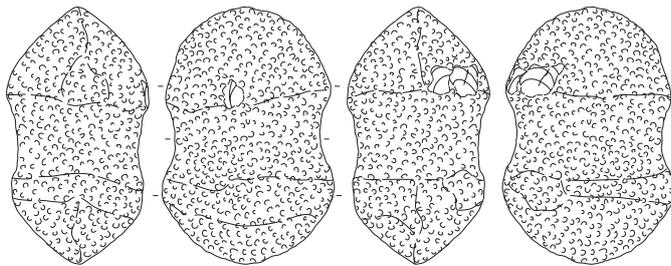
1031  
15B  
凝灰岩 896.9g  
S=1/3



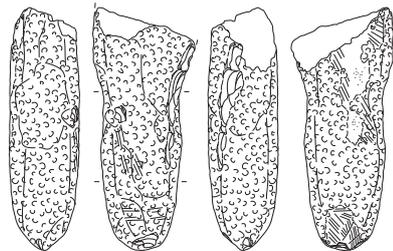
1032  
15B 1932SK  
片麻岩 676.9g  
S=1/4



1033  
15A 表採  
安山岩 472.2g  
S=1/4



1034  
15B 2338SK  
塩基性岩 553.0g  
S=1/3



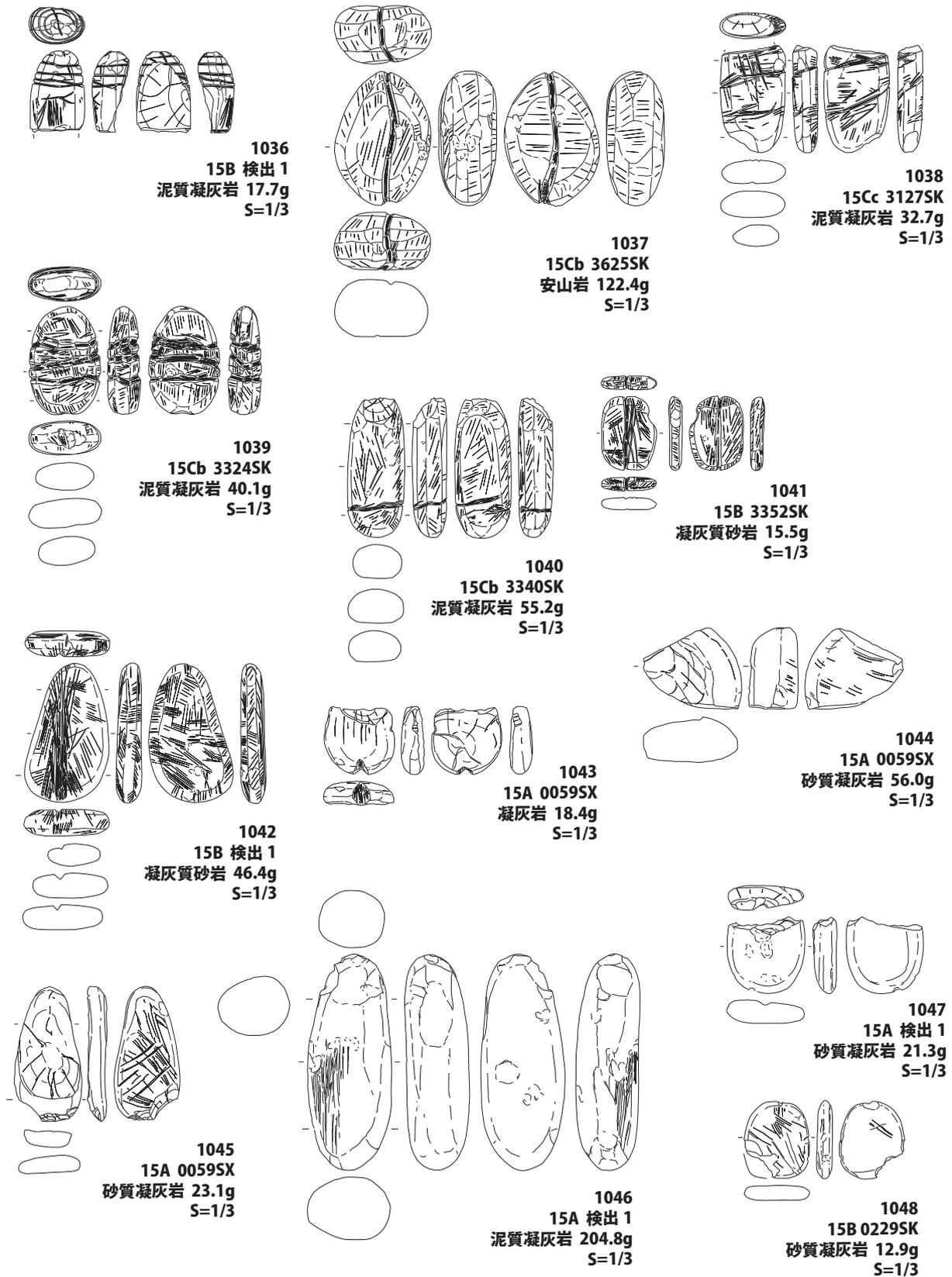
1035  
15B 表土掘削  
塩基性岩 160.9g  
S=1/3

0 (1/3) 10cm

0 (1/4) 20cm

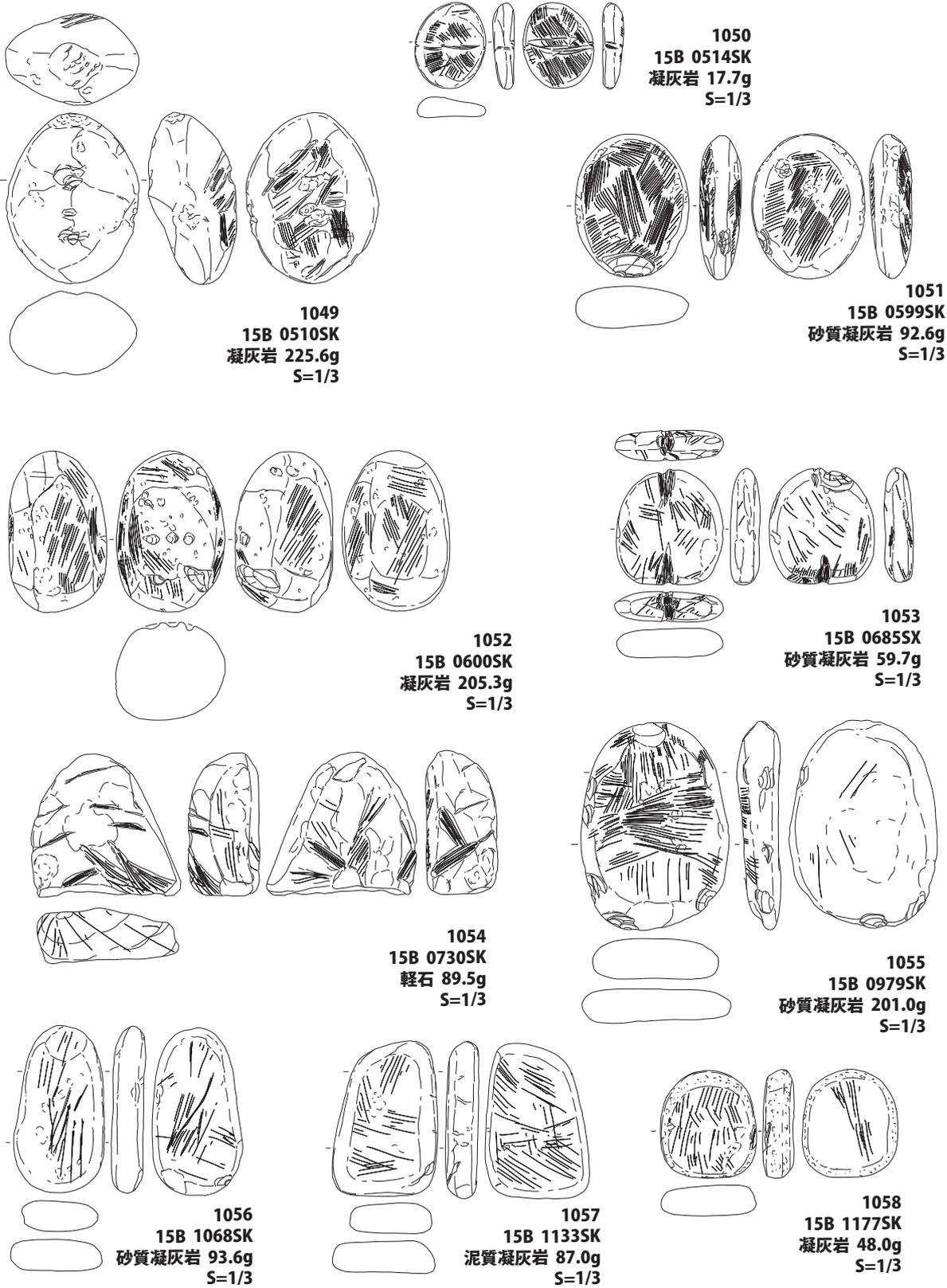
0 (1/6) 40cm

第 298 図 石棒石刀類・石冠・独鈷石



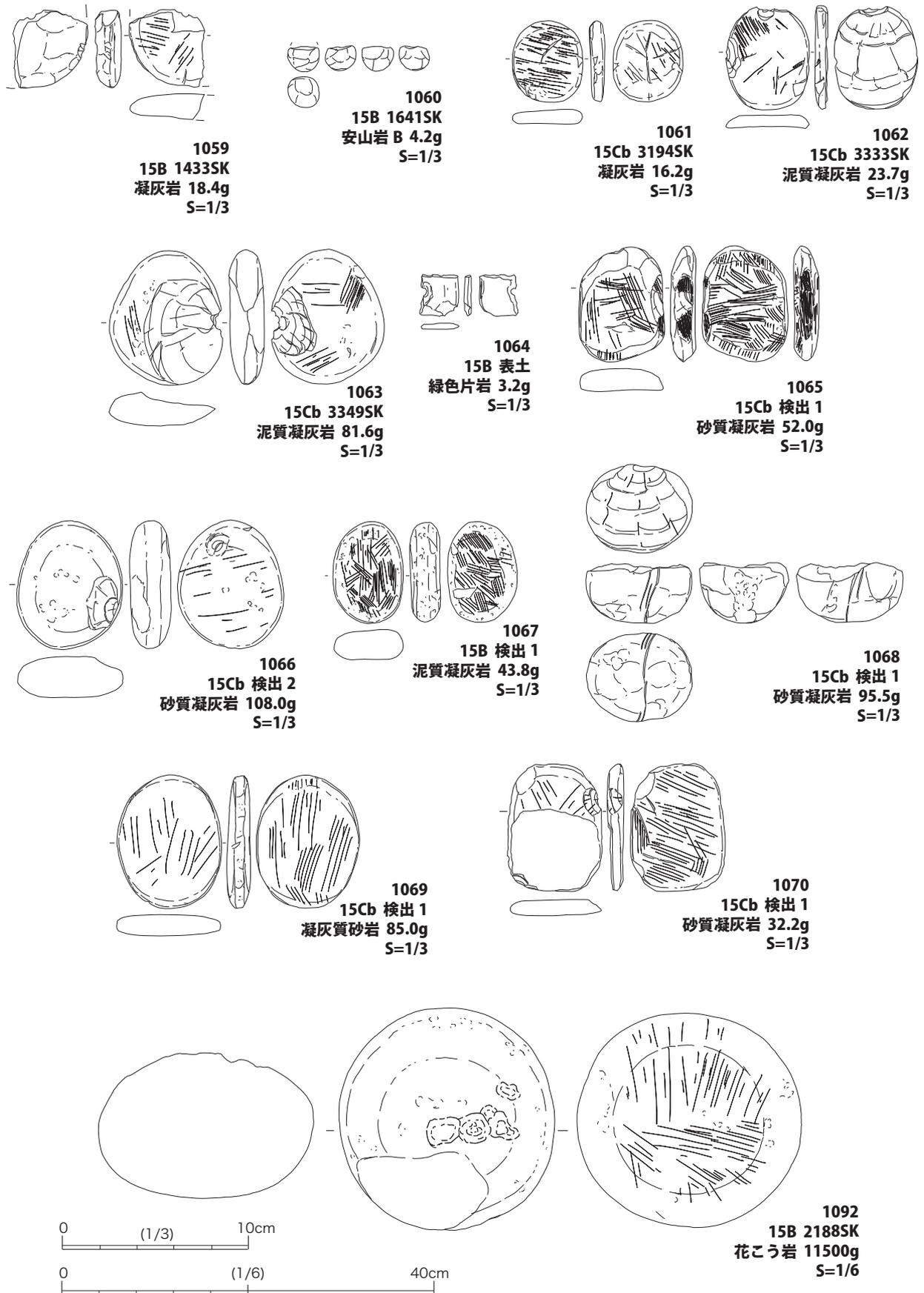
0 (1/3) 10cm

第 299 図 岩偶岩版類 (1)



0 (1/3) 10cm

第 300 圖 岩偶岩版類 (2)



第 301 図 岩偶岩版類・その他の石製品

237.8g)、凝灰岩 2 点 (計 245.0g)、泥岩 1 点 (37.2g)、泥質凝灰岩 1 点 (53.8g)、花こう岩 1 点 (1841.1g)、片麻岩 4 点 (520.8g) である。著しく重量の大きい花こう岩製を除くと、重量の平均値は 86.8g である。

**(24) 切目石錘【9】**

236・535～542

長軸両端に擦り切り状に施溝の認められるものである。使用石材別に見ると、安山岩 1 点 (32.3g)、塩基性岩 1 点 (81.6g)、塩基性片岩 1 点 (51.8g)、凝灰岩 1 点 (33.0g)、砂質凝灰岩 1 点 (111.0g)、泥質凝灰岩 2 点 (計 147.0g)、片麻岩 1 点 (43.7g)、ホルンフェルス 1 点 (32.6g) である。重量は 8.1g～138.9g まであり、平均重量は 59.2g である。

**(25) 有溝石錘【13】**

52・100・113・114・543～551

身部に施溝が巡るものである。使用石材別に見ると、砂質凝灰岩 2 点 (計 60.0g)、塩基性岩 7 点 (計 307.4g)、塩基性片岩 1 点 (13.9g)、塩基性片岩 1 点 (53.9g)、黒色片岩 1 点 (32.3g)、緑色片岩 1 点 (67.9g) である。自然礫の形状に施溝が実施されているものもあれば、表面に研磨調整を施したり、研磨による整形を施してから施溝が実施されているものもある。

北設楽地域では、552 のような有溝石錘製作上と思われる資料がいくつか知られている。後述する擦切具の存在など、当地で施溝などが実施されていたことを示す資料といえる。

**(26) 砥石【124】**

60・85・147・238・244・571～575・578～582

砥石には、砥石と対象物との関係によって、手持ち砥石と石皿台石類のような置き砥石に二分され

るが、ここに報告する砥石は、法量が大きく据え置く形でしか使用できないものでなければ、いずれにも使用可能なものようである。石材は、安山岩 B1 点 (11.2g)、安山岩 1 点 (41.7g)、凝灰岩 7 点 (計 276.4g)、凝灰質泥岩 2 点 (計 103.2g)、凝灰質砂岩 77 点 (計 2175.5g)、砂質凝灰岩 21 点 (計 2003.5g)、泥質凝灰岩 5 点 (計 203.4g)、泥岩 1 点 (1.1g)、片麻岩 9 点 (計 2943.9g) である。

**(27) 擦切具【6】**

37・118・239・576

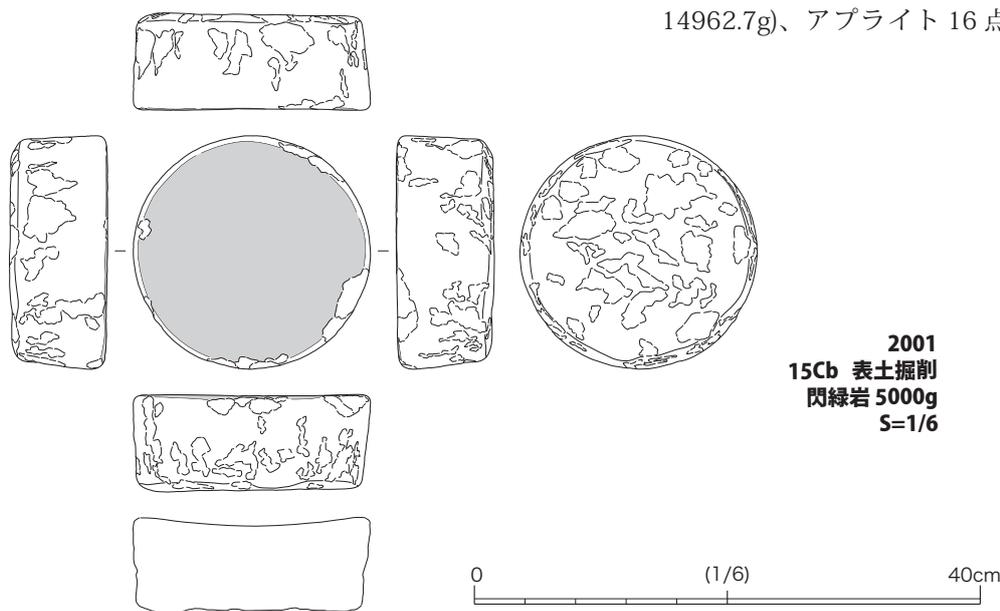
上記手持ち砥石の中でも、端部を使用するもので、石鋸などにも類似するか。三遠地域の山間部では古くからその出土が知られており、近年の設楽ダム関連の調査でも、滝瀬遺跡で出土が確認されている。使用石材は砂質凝灰岩 4 点 (計 146.7g)、凝灰質砂岩 2 点 (計 30.2g) である。

**(28) 磨石・敲石類 (いわゆる凹石も含む)【1041】**

15・53～55・115・134～142・218・237・553～567・1071

河原石の円礫で、楕円形状・棒状・扁平形状のものをもとに使用したもので、本遺跡からは多量に出土している。磨石としての使用痕と敲石としての使用痕が、一資料でそれぞれの場合もあるものの、実際には両者が混在して認められる場合が多い。また、著しい凹み部が形成されているものも計 84 点確認した (図化資料では 15・54・55・115・134～138・141・142・218・556 が該当する)。

使用石材は、安山岩 B (計 2093.5g)、安山岩 D 26 点 (計 15106.7g)、安山岩 E 3 点 (計 1247.5g)、その他安山岩 109 点 (計 42748.3g)、凝灰岩 154 点 (計 47901.3g)、砂質凝灰岩 188 点 (計 38761.5g)、凝灰質泥岩 3 点 (計 745.9g)、凝灰質砂岩 61 点 (計 14962.7g)、アプライト 16 点 (計 9111.7g)、閃緑



第 302 図 その他の石製品

岩 8 点 (計 11936.3g)、珪質岩 4 点 (計 1971.6g)、砂岩 4 点 (計 2344.9g)、泥質凝灰岩 68 点 (計 10849.9g)、砂質凝灰岩 1 点 (92.4g)、塩基性岩 1 点 (926.4g)、礫岩 1 点 (564.7g)、花こう岩 77 点 (計 53294.9g)、片麻岩 308 点 (計 147078.1g) である。

## (29) 石皿台石類【233】

56 ~ 59・71・75・76・116・117・143 ~ 146・217・248・274・275・568 ~ 570

扁平な板石を素材として、著しい加工を加えずにそのまま使用されているものである。やや小型のものになると平面ではなく側面にも使用痕が確認できるものもあり、磨石敲石類としての使用もされたと考えられるものも一定数認められる。

石材別に見ると、安山岩 D 4 点 (12915.7g)、その他安山岩 25 点 (86051.5g)、凝灰岩 43 点 (313534.8g)、凝灰質砂岩 10 点 (18816.3g)、砂質凝灰岩 13 点 (24718.2g)、アプライト 1 点 (3500.0g)、閃緑岩 1 点 (4000.0g)、花こう岩 28 点 (300403.3g)、片麻岩 108 点 (625236.5g) である。

## 2 石製品

### (1) 大型石棒【18】

1001 ~ 1003・1005・1007・1008・1015 ~ 1023

大型石棒としたものは、石棒石刀類の対比される大型のものを一括しており、法量からは径 10cm を越える一群と、10cm 未満のやや小振りのものに分けられる。1005 は径 20cm ほどと飛び抜けて大きい。また、製作・加工の観点からみると、表面に明確な研磨および頭部の作り出しなどの整形が行われているもののほかに、1019 などのように自然の棒状礫を大型石棒に見立てて使用されているものも、ここに含めている。

使用石材でみると、安山岩 2 点 (計 15500g)、凝灰岩 8 点 (計 33188.1g)、凝灰質砂岩 2 点 (855.0g)、砂質凝灰岩 3 点 (2986.1g)、結晶片岩 2 点 (計 745.6g)、片麻岩 1 点 (6000g) である。

### (2) 石棒石刀類【22】

1010・1014・1024 ~ 1030

細身の器種で、一側辺が尖り、対向する辺が背になるような刀形を呈するものが主流である。細片化されたもののみが出土している。

1026 などは、細片化されたものの長軸方向に施溝が巡らせられているもので、石棒石刀類が石錘に転用されたといわれることが多いものである。祭祀行為の結果、このような加工が加えられたとも捉えることが可能であり、このような事例については、今後も注意深く検討する必要がある。

使用石材でみると、安山岩 1 点 (106.8g)、塩基性岩 1 点 (77.2g)、塩基性凝灰岩 1 点 (51.6g)、塩基性

片岩 1 点 (87.8g)、結晶片岩 4 点 (計 652.2g)、片麻岩 3 点 (計 499.9g)、ホルンフェルス 1 点 (135.6g)、緑色片岩 10 点 (計 1310.5g)、である。

### (3) 岩偶岩版類 (線刻礫含む)【78】

577・1006・1012・1013・1036 ~ 1063・1065 ~ 1070

北設楽地域を特徴付ける石製のひとがたである。扁平なものは、平面形状が楕円形や水滴形を呈するものが多く、線刻で横線や縦線などが線刻されている。中には、楕円形状の長軸方向に施溝されているものもあり、有溝石錘とされている一群ときわめて近い形状となっているものもある (1037 など)。また、1036 のような厚みのあるものでは、端部に線刻が併行して巡るなど、石棒類に近い形状を呈するものも認められる。

石材別にみると、安山岩 D 2 点 (計 44.7g)、その他安山岩 1 点 (122.4g)、凝灰岩 16 点 (計 942.5g)、軽石 1 点 (89.5g)、砂質凝灰岩 31 点 (計 1825.9g)、泥質凝灰岩 24 点 (1522.8g)、凝灰質砂岩 2 点 (計 100.5g)、泥岩 1 点 (22.3g)、である。

また、調査では、岩偶岩版類に対応すると考えられる原石を計 858 点採取している。線刻や研磨などの人工的な可変が加わっていないものである。遺跡内の堆積層に存在していたものもある上で、境川岸で採集されたもの遺跡内に集中して持ち込まれ事情もあったものと考えられる。石材別に見ると、安山岩 B 19 点 (計 90.3g)、安山岩 D 12 点 (計 515.7g)、その他安山岩 11 点 (計 235.9g)、凝灰岩 122 点 (計 2304.3g)、砂質凝灰岩 381 点 (計 8523.5g)、泥質凝灰岩 267 点 (計 6762.0g)、凝灰質泥岩 1 点 (53.8g)、凝灰質砂岩 41 点 (計 834.1g)、片麻岩 4 点 (計 21.1g)、である。

### (4) 独鈷石【2】

1034・1035

磨製石斧同様に、敲打による粗整形の後に、研磨調整で仕上げられているものである。2 点確認され、いずれも塩基性岩を使用している。

### (5) 石冠【6】

1004・1009・1011・1031 ~ 1033

一辺が平坦で、対向する一辺が尖る形状の石製品である。今回確認された資料は、10cm 以上と長い形状のものが主体となっている。

使用石材は、安山岩 1 点 (472.2g)、凝灰岩 1 点 (896.9g)、砂質凝灰岩 1 点 (135.2g)、凝灰質砂岩 1 点 (940.3g)、片麻岩 2 点 (計 1137.8g)、である。

### (6) その他石製品

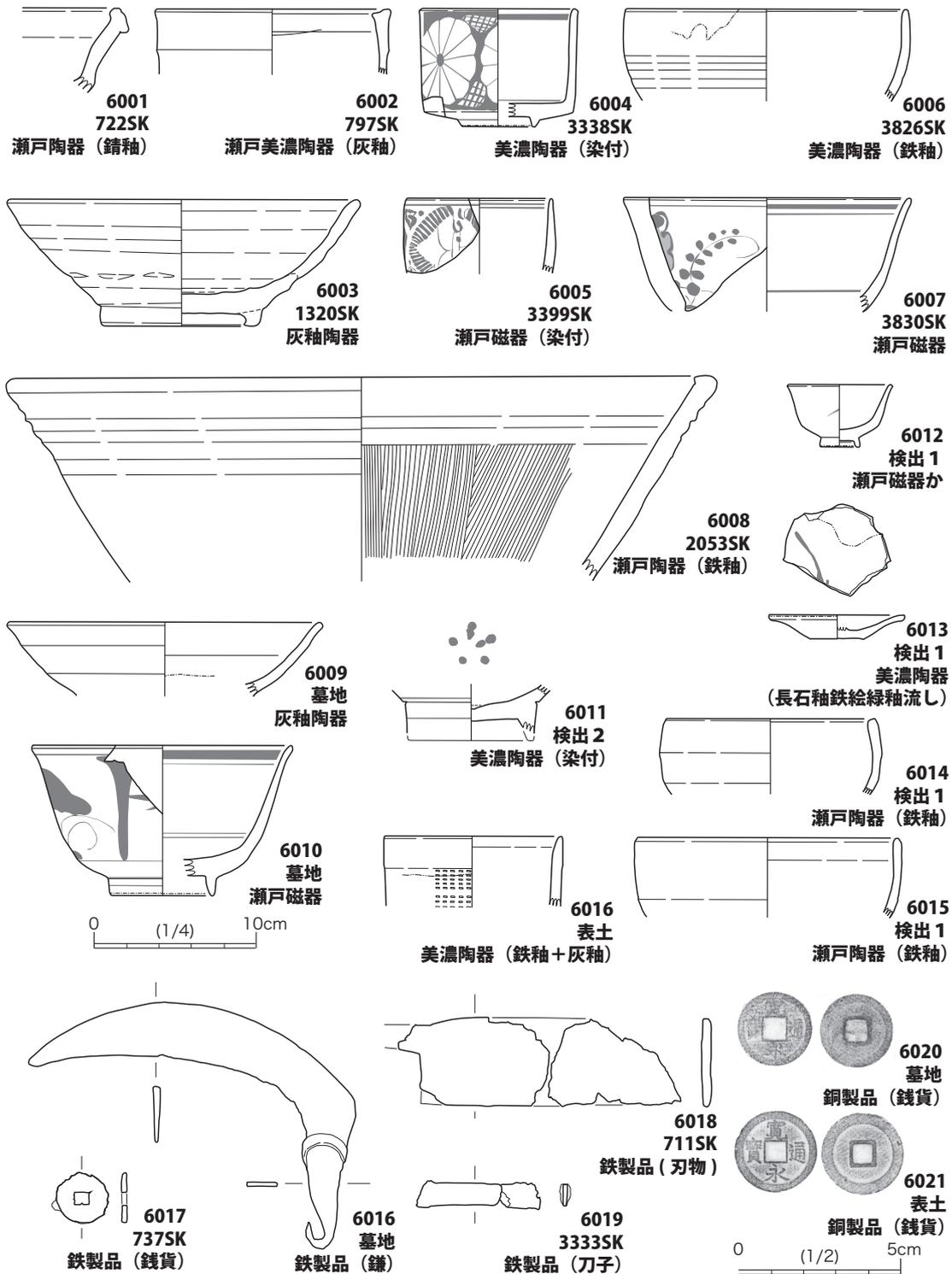
1060・1073・1076 は擦れた礫ともいべきものであるが、何か加工をするための道具である磨石とは区別される。特に 1060 は結果として小型の球状になったものと考えられる。

### 3 小結

今回の出土石器群の様相を見ると、石鏃および石鏃に対応する小型剥片石器類の出土が多くない。これまで笹平遺跡出土石器群として知られていた原田氏資料と比較すると、その差は歴然である(川添2020)。笹平遺跡の石器群全体を把握するには、両資料群を見る必要がある。(川添和暁)

### 第4節 古代以降の遺物

古代以降の遺物には平安時代の遺物(6003・6009)が若干ある他は、江戸時代以降のものが多く、大半は19世紀以降に属するものである。調査前まで墓地であった区域周辺では寛永通寶や鉄鏃など副葬品と思われる遺物が出土した。(鈴木正貴)



第303図 古代以降の遺物